

2003年度 事業報告書

自 2003年4月 1日

至 2004年3月31日

社団法人 日本建築学会

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

電話 (03)3456-2051 (代表)

2003 年度事業報告書

目 次

1. 会 議	1
1.1 総 会	
1.2 理事会	
1.3 支部長会議	
1.4 協力委員会議	
1.5 関係学協会会長懇談会	
2. 大 会	16
2.1 概 要	
2.2 学術講演会	
2.3 部門別研究集会（研究協議会・PD・研究懇談会）	
2.4 2003年日本建築学会賞（論文・業績）受賞者記念講演	
3. 表 彰	24
3.1 大 賞	
3.2 学会賞	
3.3 奨励賞	
3.4 作品選奨	
3.5 文化賞	
3.6 優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞	
4. 支部共通事業	29
4.1 講習会	
4.2 設計競技	
4.3 全国大学・高専卒業設計展示会	
5. 会 誌	33
5.1 建築雑誌	
5.2 作品選集	
5.3 総合論文誌	
6. 学術振興	35
6.1 論文集	
6.2 大会学術講演梗概集	
6.3 技術報告集	
6.4 英文論文集	
6.5 研究補助・研究助成	
7. 委員会活動	40
7.1 支援会議	
7.2 会務関係	
7.3 研究関係	
7.4 学術レビュー関係	
7.5 教育関係	
7.6 情報関係	
7.7 委員会数・開催数・委員数	
8. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等	64
8.1 司法支援建築会議	
8.2 まちづくり支援建築会議運営委員会	
8.3 建築教育認定事業運営委員会	
8.4 調査研究委員会主催	
8.5 特別調査・研究委員会主催	
8.6 情報関係委員会主催	
8.7 本会・他学協会共催	
8.8 開催数・参加者	

9 . 教育・文化事業				74
9.1 建築文化週間	9.2 講演会・展覧会	9.3 設計競技（技術部門）			
9.4 教育・文化事業参加者数					
10 . 国際交流事業				84
10.1 国際交流振興基金	10.2 渉外関係	10.3 外国人来会者			
10.4 日本現代建築 1985-1996 展					
11 . 図書館				86
11.1 運営管理	11.2 「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈				
11.3 受入図書・雑誌・研究報告	11.4 利用者数				
12 . 建築博物館				89
12.1 運営管理	12.2 事業				
13 . 建策・進言・要望・提言				90
14 . 刊行図書				91
14.1 直営出版物	14.2 委託出版物	14.3 刊行物数			
15 . 会館				94
15.1 建築会館	15.2 建築会館ホール利用状況				
15.3 建築会館会議室使用状況	15.4 建築博物館・ギャラリー利用状況				
15.5 三宅島研修所					
16 . 会員				97
16.1 会員数の移動	16.2 支部地域会員数	16.3 名誉会員			
16.4 終身正会員	16.5 会友	16.6 メールサービス			
16.7 能力開発支援制度 履修登録					
17 . その他の重要事項				100
17.1 理事の登記に関する事項	17.2 監事監査会に関する事項				
17.3 寄付に関する事項	17.4 委託研究の受託契約に関する事項				
18 . 役員等				102
18.1 民法上の役員	18.2 監事	18.3 代議員			
18.4 支所長	18.5 職員				
各支部事業報告				107

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| (1) 北海道 | (2) 東北 | (3) 関東 | (4) 東海 | (5) 北陸 |
| (6) 近畿 | (7) 中国 | (8) 四国 | (9) 九州 | |

支部・支所所在地

1. 会 議

1.1 総 会

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2003.5.30 建築会館ホール	1. 2002 年度事業報告案を承認議決 2. 2002 年度収支決算，財産目録および未処分金処分案を承認議決 3. 2002 年度支部事業報告，収支決算ならびに財産目録案を承認議決 4. 役員を選任について承認議決 5. 選挙管理委員会委員を次期留任代議員の中から 3 名の選任，正会員の中から会長指名の 2 名，理事の中から会長指名の 2 名を承認議決
2004.3.19 建築会館ホール	1. 2004 年度事業計画案を承認議決 2. 2004 年度収支予算案を承認議決 3. 11 名の新名誉会員推挙を承認議決

1.2 理事会（議事中，毎月の入・退会，委員会委員の委嘱・解嘱，終身正会員（16.4 参照）は不記）

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
4 月理事会 2003.4.16 本会会議室	1. 2003年日本建築学会大賞，日本建築学会賞，日本建築学会奨励賞，日本建築学会作品選奨，日本建築学会文化賞の表彰業績，大賞2件，学会賞論文10件，作品3件，技術1件，業績3件，奨励賞15件，作品選奨11件を承認可決した。 2. 会費長期滞納会員，正会員（個人）2,192名，準会員23名，合計2,215名を除名することについて，下記の議決条件で6月理事会の議決を経て除名することを承認可決した。 議決条件：2003年5月末日までに不納会費を納付することを約束した者については，代議員・理事・監事は除名を保留することができる 3. 建設系 C P D 協議会（仮称）への参加を承認 4. 表彰規程の一部改正案を承認可決。引き続き，大賞検討小委員会，作品賞と作品選奨検討小委員会の設置ならびに委員構成について承認可決 5. 「公共施設の設計発注システム改善提言起草委員会」，「設計者資格の社会システムに関する検討特別調査委員会」の設置ならびに委員構成について承認可決 6. 学術推進委員会運営規程の一部改正案を承認可決 7. 技術報告集応募規程の一部案を承認可決 8. 国際文化会館の保存活用に関する要望書の提出を承認 9. 総会時の役員担当について承認 10. 2004 年度大会の開催会場について石山北海道支部長から受諾の回答 11. 委託研究の受託を承認 (1) 北海道電力(株)，東北電力(株)，東京電力(株)，中部電力(株)，北陸電力(株)，関西電力(株)，中国電力(株)，四国電力(株)，九州電力(株)，日本原子力発電(株)，電源開発(株)から構造委員会へ，「原子力施設鉄筋コンクリート構造物の構造計算の高度化に関する研究のうち規格策定に向けた研究」 12. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 (1) 共 催 イ) 神戸大学，日本学術会議農村計画学研究連絡委員会から，「SSDE2003 in KOBE / 国際シンポジウム『多様性の中に循環型社会の未来を探る』」 (2) 後 援 イ) 日本学術会議社会工学研連 ヒートアイランド現象専門委員会から，「シンポジウム / 都市のヒートアイランド現象の解明とその緩和策」 ロ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から，「平成 15 年度建築設備診断技術者資格取得講習」 ハ) (社) 日本コンクリート工学協会から，「『コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針』改訂講習会」

	<p>ニ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「循環型社会構築におけるコンクリート産業の役割と廃棄物のリサイクルに関するシンポジウム」</p> <p>ホ) 昭和女子大学から、「日越交流 30 周年記念事業『ホイアン・フェスティバル』及び第 7 回国際シンポジウム『ホイアン世界遺産会議』」</p> <p>ヘ) 法政大学から、「国際環境シンポジウム/エコロジーと歴史に基づく地域デザインへの挑戦」</p> <p>(2) 協 賛</p> <p>イ) (社) 土木学会から、「第 9 回地下空間シンポジウム」</p> <p>ロ) (社) 土木学会から、「第 5 回複合構造の活用に関するシンポジウム」</p> <p>ハ) (社) 日本機械学会から、「第 11 回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2003)」</p> <p>ニ) (社) 日本アルミニウム協会、アルミニウム建築構造協議会から、「アルミニウム建築構造デザイン・コンペティション」</p> <p>ホ) (社) 日本材料学会から、「第 11 回破壊力学シンポジウム」</p> <p>ヘ) (社) 日本材料学会から、「第 33 回初心者のための有限要素法講習会」</p> <p>ト) (社) 空気調和・衛生工学会から、「平成 15 年度技術講演会/建物の環境評価とその動向」</p> <p>チ) (社) 腐食防食協会から、「第 32 回技術セミナー/腐食を理解するための電気化学入門」</p> <p>リ) (社) 腐食防食協会から、「第 141 回腐食防食シンポジウム」</p> <p>ヌ) (財) 建築環境・省エネルギー機構から、「日加住宅 R&D 第 6 回ワークショップ」</p> <p>ル) (財) 建築環境・省エネルギー機構から、「IEA-ECBCS-Annex35 ハイブリッド換気に関するシンポジウム」</p> <p>ヲ) (財) 日本建築設備・昇降機センターから、「『建築設備設計・施工上の運用指針』2003 年版講習会」</p> <p>ワ) (財) 都市緑化技術開発機構から、「第 2 回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」</p> <p>カ) (財) 日本建築センターから、「アルミニウム合金造技術基準解説及び設計・計算例講習会」</p> <p>ヨ) (財) 前田記念工学振興財団から、「設立 10 周年記念行事」</p> <p>タ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「蓄熱月間」</p> <p>レ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「平成 15 年氷蓄熱式空調システム普及促進セミナー」「蓄熱技術研修会」</p> <p>ソ) システム制御情報学会から、「第 46 回自動制御連合講演会」</p> <p>ツ) 東京大学生産技術研究所から、「NST 記念シンポジウム」</p> <p>ネ) AESE2005 組織委員会から、「第 1 回構造実験工学の高度化に関する国際会議」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「展望する建築学会の課題と戦略」について報告 2. 第 4 期代議員選挙結果について報告 3. 設計教育のあり方についての提言について報告 4. 総合論文誌応募規程について報告 5. 日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会地震工学専門委員会報告書の刊行について報告 6. 良い建築と環境をつくるための社会システム検討特別調査委員会の報告 7. 建築システム最適化特別研究委員会報告書刊行の報告 8. 子どもの心身活性化増進に寄与する環境整備特別調査委員会の中間報告 9. 2002 年度鹿島学術振興財団研究助成の援助結果の報告 10. イラクに対する都市攻撃を即時中止することを求める日本の建築家声明について報告 11. 建築学会と土木学会との共同研究の実施について提案
<p>5 月理事会 2003.5.14 本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会議案として下記議案を付議することを承認可決 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2002 年度事業報告案について (2) 2002 年度収支決算、財産目録および未処分金処分案について (3) 2002 年度各支部事業報告、収支決算ならびに財産目録案について (4) 役員を選任について (5) 選挙管理委員会委員の選出について 2. 2003 年度支部事業計画ならびに収支予算案を承認可決した。

3. 2003 年内部監査報告があり，指摘された事項については，今後関係委員会に通達し，検討方を依頼することとした。
4. 良好な建築物による社会ストック形成のための提言案を承認可決
5. 建築・住宅国際機構へ本会から推薦する同機構副会長に，和田 章次期副会長を推薦することを承認
6. 21 世紀建築都市綱領特別調査委員会の設置を承認
7. 委託研究の受託を承認
- (1) 総務省自治税務局資産評価室から建築経済委員会へ，「非木造家屋に係る再建築費評点基準表等の改正に係る基礎資料の作成について」
8. 共催・後援・協賛の名義使用を承認
 - (1) 共 催
 - イ) 日本学術会議 都市地域計画専門委員会から，「都市地域計画シンポジウム」
 - ロ) 日本学術会議 メカニクス・構造研究連絡委員会から，「構造工学シンポジウム」
 - (2) 後 援
 - イ) (社) 建築設備総合協会から，「第 86 回建築設備総合ゼミナール」
 - ロ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から，「平成 15 年度建築仕上診断技術者資格取得講習」
 - ハ) (社) 文教施設協会から，「学校施設の耐震化推進に関する講習会」
 - ニ) 日本福祉のまちづくり学会から，「日本福祉のまちづくり学会第 6 回全国大会」
 - ホ) TRANSED2004 事務局から，「第 10 回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 (TRANSED2004)」
 - ヘ) A/E/C SYSTEM JAPAN 組織委員会から，「A/E/C SYSTEMS JAPAN 2003」
 - ト) 学生建築設計優秀作品展組織委員会から，「第 26 回学生建築設計優秀作品展」，「第 9 回学生 CAAD 教育の現場展」
 - チ) 小海町高原美術館から，「パウハウス展」
 - リ) 東京ガスから，「第 17 回建築環境デザインコンペティション / 建築と設備のトータルな調和を求めて」
 - (3) 協 賛
 - イ) (社) 全国住宅宅地協会連合会から，「宅地造成技術講習会」
 - ロ) (社) 日本鋼構造協会から，「超鉄鋼で築く 21 世紀講習会」
 - ハ) (社) 日本機械学会から，「第 8 回運動と振動の制御シンポジウム (MOVIC2003)」
 - ニ) (社) 日本基礎建設協会から，「場所打ちコンクリート杭の施工と管理に関する技術講習会」
 - ホ) (社) 日本鉄鋼協会から，「異業種交流セミナー『材料と環境シリーズ』」
 - ヘ) 未来開拓学術研究推進事業研究プロジェクトシンポジウム実行委員会から，「未来開拓学術研究推進事業研究プロジェクトシンポジウム」
 - ト) 日本計算工学会から，「サマースクール『有限要素法流れ解析の基礎と応用』」
 - チ) 日本リスク研究学会から，「日本リスク研究学会第 16 回春期講演シンポジウム」

[報告・懇談事項]

1. 変革期に於ける本会の展望と戦略に関して，憲章・提言，答申，支援会議，ならびに行動計画についての説明および，次期秋山会長に引き継ぐ旨報告
2. (社) 日本工学会総会について報告
3. 賃料滞納テナントについての対応報告
4. 2002 年度刊行委員会報告
5. 技術開発と社会認知特別調査委員会の中間報告
6. 学術推進委員会における調査研究活動活性化のためのアクションプログラムの報告
7. 建築設計ブリーフ特別研究委員会の意見表明としての「良い建築とまちづくりのための建築設計ブリーフの実践に向けての提言」について報告
8. W T C 崩壊特別調査委員会の中間報告
9. 2 月に韓国・ソウル大学で開催された，JAABE ソウル会議について報告
10. 2003 年度大会の応募論文数 (発表申込数 6,133 題) の報告
11. 2003 年度上期国際交流振興基金の援助事業・援助額の報告
12. 弘前市子どもの遊び場調査研究報告書の刊行について報告
13. 新旧理事懇談会が 6 月 16 日 (月)，6 月理事会終了後開催されることについて報告

6月理事会
2003.6.16
本会会議室

1. 理事会運営について主要な事項について確認
 2. 会長職務代行者（副会長）の順序ならびに職務分担について秋山会長から以下のように指名
第1順位 研究担当 佐藤 滋君
第2順位 会務担当 小倉 善明君
第3順位 支部・学術レビュー担当 重村 力君
第4順位 情報担当 和田 章君
第5順位 教育担当 表 佑太郎君
 3. 組織機構と理事の職務分担ならびに事務局担当者について分担を確認
 4. 理事会の今期の活動方針を承認
 5. 会費長期滞納会員（正会員（個人）1,547名，準会員16名）合計1,563名の除名を承認可決
 6. 京都の都市景観の再生特別調査委員会の設置ならびに委員を承認
 7. 2003～2004年主要行事日程を承認
 8. 日本建築学会賞賞碑のレプリカ作製を承認
 9. 共催・後援・協賛の名義使用を承認
- (1) 共催
イ) 日本燃焼学会から，「第41回燃焼シンポジウム」
- (2) 後援
イ) 京都市都市計画局から，「第2回景観・まちづくりコンクール」
ロ) (社)日本コンクリート工学協会から，「コンクリート構造物のポストピーク挙動の評価と設計への応用に関する講習会」
ハ) (社)日本コンクリート工学協会から，「第36回コンクリート技術講習会 - コンクリート技術の基礎知識」
ニ) (社)地盤工学会から，「地盤・基礎設計基準の国際化と性能規定化講習会」
ホ) (社)地盤工学会から，「知っておきたい地盤の被害講習会」
ヘ) (社)地盤工学会から，「実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会」
ト) (財)神戸国際観光コンベンション協会，(財)神戸市防災安全公社から，「第8回震災対策技術展2004」
チ) (財)日本生命財団から，「第18回ニッセイ財団助成研究ワークショップ：21世紀の都市と自然 - 環境にやさしく自然豊かな都市づくり」
リ) 早稲田大学まちづくりシンポジウム2003実行委員会から，「早稲田大学まちづくりシンポジウム2003：21世紀日本のかたち - 網の目社会をデザインする」
ヌ) 全国町並み保存連盟から，「第26回全国町並みゼミ - かしはら・今井大会：再び，町並みはみんなもの - 歴史を生かしたまちづくりの課題と今日的意義」
ル) NPO外断熱推進会議から，「外断熱フォーラム in 東京」
- (3) 協賛
イ) 国際住宅・計画問題協議会から，「EAROPH長崎地域セミナー」
ロ) (社)日本材料学会から，「第6回日本材料学会方式腐食防食実験講習会」
ハ) (社)日本材料学会から，「第1回初心者のための疲労設計講習会」
ニ) (社)日本材料学会から，「第2回フラクトグラフィ講習会」
ホ) (社)日本エネルギー学会から，「第12回日本エネルギー学会大会」
ヘ) (社)計測自動制御学会から，「第4回SICEシステムインテグレーション部門講演会(SI2003)」
ト) (社)公共建築協会から，「建築工事安全施工技術指針・同解説，建築工事における副産物管理マニュアル・同解説講習会」
チ) (社)計測自動制御学会から，「SICEセミナー：ロバスト制御入門」
リ) (社)日本エネルギー学会から，「天然ガス部会資源分科会シンポジウム：アジア太平洋地域における天然ガス開発と将来展望」
ヌ) (財)建材試験センターから，「講演会：建材から放出されるホルムアルデヒド VOCsとフロン - 放散実態と測定法の最先端」
ル) 日本熱物性学会から，「第24回日本熱物性学会シンポジウム」
ヲ) システム制御情報学会から，「システム制御情報セミナー2003：生活の質を向上させる生体計測技術」
ワ) 日本睡眠環境学会から，「第19回睡眠環境シンポジウム」

	<p>カ) 関東学院大学大澤記念建築設備工学研究所から、「創設 35 周年記念公開学術シンポジウム：わが国建築界の職能・資格・教育に今何が求められているか」</p> <p>ヨ) 第 9 回高専シンポジウム実行委員会から、「第 9 回高専シンポジウム」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 会長事務引継書の概要説明</p> <p>2. 2002 年度特色ある支部活動企画報告</p>
<p>7 月理事会 2003.7.15 本会会議室</p>	<p>1. 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築100選」にリストアップされた建物の所有者等へ、リストアップされた旨を本会会長名とDOCOMOMO・Japan代表の連名で送付することを承認</p> <p>2. 2004年度大会（北海道）の大会委員会・実行委員会委員の委嘱を承認可決</p> <p>3. 日本建築家協会より共催依頼のあったUIA学生アイデアコンペについて共催名義使用を承認</p> <p>4. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 三交不動産(株), 三重交通(株)から近畿支部へ, 「『(仮称)サンマンション・アトレ尾上町計画』建設前後における風環境調査」</p> <p>(2) (株)長谷工コーポレーション, (株)長谷工設計から近畿支部へ, 「(仮称)南甲子園計画」建設前後における風洞実験および数値解析による風環境調査」</p> <p>(3) (株)長谷工コーポレーション技術研究所, (株)長谷工設計から近畿支部へ, 「付属部材から発生する音と扉に加わる風荷重に関する調査」</p> <p>(4) (株)浅沼組技術研究所, (株)浅沼組大阪本店一級建築士事務所から近畿支部へ, 「バルコニーを有する建築物の風荷重及び周辺風環境に関する研究」</p> <p>5. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) RILEM TC-ECM (環境共生材料・システムに関する技術委員会), RILEM TC-TDP (二酸化チタン材料の建設材料への応用に関する技術委員会) から, 「RILEM 持続可能な開発のための環境共生材料・システム国際会議 (ECM2004)」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) ゆきみらい 2004 in 米沢実行委員会から, 「ゆきみらい 2004 in 米沢: 上杉の城下町発 新・雪国の創造」</p> <p>ロ) (社) 建築業協会から, 「第 13 回 BCS・建築セミナー」</p> <p>ハ) (社) 鉄骨建設業協会, (社) 全国鐵構工業協会から, 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアルに関する講習会」</p> <p>ニ) (社) 日本溶接協会から, 「『ステンレス鋼溶接トラブル事例集』発刊記念講習会: 失敗事例に学ぶステンレス鋼の溶接」</p> <p>ホ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から, 「平成 15 年度建築・設備総合管理技術者資格取得講習会」</p> <p>ヘ) (財) 東京オペラシティ文化財団, サントリーミュージアムから, 「ジャン・ヌーベル展」</p> <p>ト) 東京都現代美術館から, 「ガウディ: かたちの探究展」</p> <p>チ) ふくやま美術館から, 「武田五一・田辺淳吉・藤井厚二 - 日本を意匠した近代建築家たち展」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 腐食防食協会から, 「第 33 回技術セミナー: エレクトロニクス材料・部品の腐食とその対策」</p> <p>ロ) (社) 強化プラスチック協会から, 「48th FRP CON-EX2003 講習会」</p> <p>ハ) (社) 日本材料学会から, 「第 26 回材料講習会: 各種材料データベースと CAE 利用技術の新展開」</p> <p>ニ) (社) 日本材料学会から, 「SMW 設計施工指針改訂版講習会」</p> <p>ホ) (社) 日本材料学会から, 「第 23 回疲労講座: 疲労と破壊の防止」</p> <p>ヘ) (社) 日本流体力学会から, 「第 17 回数値流体力学シンポジウム」</p> <p>ト) (社) 計測自動制御学会から, 「SICE セミナー: 現代制御理論入門」</p> <p>チ) (財) 日本建築センターから, 「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準及び同解説講習会」</p>

	<p>リ)(財)スガウェザリング技術振興財団から、「第37・38回スガウェザリング学術講演会：ウェザリング技術の最新動向」</p> <p>ヌ)東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会から、「社会人キャリアアップ講座：安全な環境の創出と化学物質・持続的な循環型環境を目指す実務者教育」</p> <p>ル)人間-生活環境系会議から、「第27回人間-生活環境系シンポジウム」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市建築の発展と制御に関する特別調査委員会の概要，基本認識，方針について説明 2. 2003年度大会（東海）における理事の役割分担を確認 3. 建築市場・建築産業の現状と将来展望特別調査委員会中間報告 4. 建築設計ブリーフ特別研究委員会報告書の刊行が報告された。 5. 建築住宅性能基準運用協議会へ改正建築基準法の防火関連告示に関する意見提出した旨の報告 6. 賃料滞納テナントについての対応報告 7. 2003年度優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞審査結果報告 8. 第42回竹中育英会建築研究助成金交付者報告 9. 建築関係訴訟委員会ならびに同委員会中間取りまとめの概要説明 10. 京都創世懇談会による「国家戦略としての京都創世の提言」ならびに「緊切な事態にある京都を保全・再生・創造し，活用・発信するための提案」の公表報告
<p>9月担当理事会 2003.9.10 本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委託研究の受託を承認 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文部科学省大臣官房文教施設部から文教施設委員会へ，「教室等の室内環境に関する調査研究」 (追認) (2) 文部科学省初等中等教育局から文教施設委員会へ，「既存学校施設の有効活用に関する調査研究」 (追認) (3) 日本原子力発電(株)から九州支部へ，「大加速度入力時の建造物の安全性評価指標に関する研究(その2)」 (追認) (4) 日本技術者教育認定機構から，「建築学および建築学関連分野における平成15年度技術者教育プログラム認定審査」 (5) 国土技術政策総合研究所からシックハウス問題の解明とヘルシーな居住環境の開発特別調査委員会へ，「室内空気汚染評価のための最新データ収集および評価方法の検討」 (6) 稚内市から北海道支部へ，「2003年稚内市歴史的建造物基礎調査業務」 2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 <ol style="list-style-type: none"> (1) 共催 <ol style="list-style-type: none"> イ) 日本学術会議 社会環境工学研究連絡委員会 環境工学専門委員会から，「第19回環境工学連合講演会：環境共生技術の最前線」 ロ)(社)日本ロボット工業会 建設ロボット研究連絡協議会から，「第10回建設ロボットシンポジウム：建設産業をリードするロボット技術(RT)&情報技術(IT)」 ハ) 日本地震工学会から，「宮城県沖の地震；アルジェリア地震の地震被害調査報告会」 ニ) 日本風工学会から，「第50回風に関するシンポジウム」 ホ) 日本国政府アンコール遺跡救済チーム，(財)日本国際協力センターから，「アンコール遺跡保存国際シンポジウム」 ヘ) 日本知能情報ファジィ学会から，「第21回ファジィ・ワークショップ」 (2) 後援 <ol style="list-style-type: none"> イ) 国土交通省大臣官房から，「シンポジウム：安全・快適な都市と地域づくり - 技術は何かができるのか」 (追認) ロ)(社)建築設備総合協会から，「第2回 環境・設備デザイン賞」 (追認) ハ) エコビルド実行委員会から，「第4回 すまい・建築・都市の環境展：エコビルド」 (追認) ニ) (株)日経サイエンスから，「ビジュアル・サイエンス・フェスタ2003」 (追認) ホ) (株)日刊建設通信新聞社から，「建設通信新聞15000号発刊記念シンポジウム：人口減少下の社会基盤，地域・まちづくり - 市民とともに築き残す豊かで美しい国土」(追認)

- へ) Architectural Institute of Korea (大韓建築学会) から, 「CTBUH 2004 Seoul conference: TALL BUILDINGS IN HISTORICAL CITIES - Culture & Technology for Sustainable Cities」
- ト) (社) 建築研究振興協会から, 「技術講習会: 既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2003 年版説明会」 (追認)
- チ) (社) 日本免震構造協会から, 「JSSI パッシブ制振構造設計・施工マニュアル講習会」
- リ) (社) 建築設備総合協会から, 「第 87 回 建築設備総合ゼミナール: PFI の最新動向と事業の実施例」
- ヌ) (社) セメント協会から, 「第 293 回 コンクリートセミナー: コンクリート構造物の診断・補強 - 実践編」
- ル) (財) 省エネルギーセンターから, 「省エネルギー住宅設計コンペティション」
- ヲ) 都市環境デザイン会議 関西ブロックから, 「第 12 回 都市環境デザインフォーラム・関西: 都市環境デザインのファッションとモード」
- ワ) 日本トイレ協会から, 「第 19 回全国トイレシンポジウム高山大会: トイレが創る住みよいまちシンポジウム」
- カ) International Symposium on Confined Concrete 実行委員会から, 「International Symposium on Confined Concrete」
- ヨ) ISCORD2004 日本 - 北海道実行委員会から, 「第 7 回 寒地開発に関する国際シンポジウム (ISCORD2004)」
- タ) 東京電力(株)から, 「第 7 回 TEPCO 快適住宅コンテスト: 人にも環境にも優しい快適住宅」
- (3) 協賛
- イ) 計測自動制御学会, 独立行政法人消防研究所から, 「アルジェリア地震, 三陸南部地震, 災害の状況と救助活動」 (追認)
- ロ) (社) 日本機械学会から, 「第 13 回設計工学・システム部門講演会: 新日本型ものづくりを目指して」 (追認)
- ハ) (社) 日本機械学会から, 「計算力学技術者 (2 級) (個体力学分野の有限要素法解析技術者) 認定試験および付帯講習会」 (追認)
- ニ) (社) 日本地域冷暖房協会から, 「第 10 回 (No.1) 地域冷暖房 (DHC) シンポジウム: 地域冷暖房の省エネルギー性・環境性・経済性検討調査」 (追認)
- ホ) (社) 公共建築協会から, 「講習会: 公共建築における ISO9001: 2000 適用工事施工管理要領 (建築・電気設備・機械設備)」 (追認)
- ヘ) (社) 日本騒音制御工学会から, 「第 52 回技術講習会: 低周波音の現状と対策, 測定方法」 (追認)
- ト) (社) 計測自動制御学会から, 「SICE セミナー: ロバスト制御入門 in 北九州」 (追認)
- チ) (社) 溶接学会から, 「溶接冶金研究委員会シンポジウム: 溶接冶金研究の進歩と今後の展望」 (追認)
- リ) 日本医療福祉設備協会, (社) 日本能率協会から, 「第 32 回日本医療福祉設備学会併設『HOSPEX JAPAN 2003』(医療・福祉施設のための設備・機器総合展)」 (追認)
- ヌ) (財) 日本建築センターから, 「平成 15 年 9 月改訂版 “冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル” 講習会」 (追認)
- ル) (財) 日本建築センターから, 「“鉄骨梁端溶接接合部の脆性的破断防止ガイドライン・同解説” 講習会」 (追認)
- ヲ) 日本プロジェクトマネジメント・フォーラムから, 「プロジェクトマネジメント・シンポジウム 2003: 新しい日本を創るプロジェクトマネジメント」 (追認)
- ワ) 日本複合材料学会から, 「第 28 回複合材料シンポジウム」 (追認)
- カ) 北海道外断熱建築協議会から, 「2003 年外断熱東京フォーラム: 温暖地の RC 造外断熱建物をどう考えるか」 (追認)
- ヨ) 日本コージェネレーションセンターから, 「コージェネレーションシンポジウム 2003 (第 19 回)」 (追認)
- タ) システム制御情報学会 事業委員会から, 「第 53 回システム制御情報講習会 (日本機械学会関西支部ウィークエンド・セミナー 2003): 暮らしを変えるロボットの最新技術 - ロボット産業の新たな展開」 (追認)
- ソ) 日本知能情報ファジィ学会から, 「SCIS & ISIS2004」 (Joint 2nd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems (International Session

	<p>of 20th SOFT Fuzzy System Symposium)and 5th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (追認)</p> <p>ツ)水俣市から、「九州新幹線開業記念“新水俣駅”シンポジウム：駅から始まるまちづくり」</p> <p>ネ)(社)溶接学会から、「溶接アーク物理研究委員会 150 回記念セミナー：アーク溶接の現象の理解とプロセスの進歩」</p> <p>ナ)(社)空調和・衛生工学会 事業計画委員会から、「平成 15 年度講演会(東京): 設計者は語る - 六本木ヒルズ(六本木六丁目地区再開発事業)」</p> <p>ラ)(社)腐食防食協会から、「第 142 回 腐食防食シンポジウム: 大気腐食促進試験法の現状と課題 - 大気環境における材料, 製品の耐食性を適正に評価するには」</p> <p>ム)(社)非破壊検査工業会,(社)日本能率協会から、「非破壊評価総合展 2003」</p> <p>ウ)(社)日本能率協会から、「Asia Builder's Week 2003」</p> <p>エ)(社)日本能率協会から、「まちと人のセキュリティシンポジウム」</p> <p>ノ)(社)可視化情報学会から、「可視化情報学会講習会: 流れの可視化入門講座」</p> <p>オ)(社)住宅産業研修財団から、「第 1 回『真の日本のすまい』提案競技」</p> <p>ク)(財)建築環境・省エネルギー機構から、「第 10 回環境・省エネルギー建築賞」</p> <p>ヤ)東京大学生産技術研究所計算科学技術連携研究センターから、「文部科学省 IT プログラム: 第 2 回『戦略的基盤ソフトウェアの開発』シンポジウム」</p> <p>マ)東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)から、「地域社会人キャリアアップ推進事業: 各国及び日本の事例に学ぶ, 新たな都市交通体系の実現方策 - 環境負荷の軽減, 高齢者等への配慮, 公共交通の活性化, 及びこれらのための都市の在り方」</p> <p>ケ)第 7 回「運動と振動の制御」国際会議実行委員会から、「第 7 回『運動と振動の制御』国際会議(MOVIC20004)」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共建築の設計者選定方法の改善についての提言について報告 2. 新潟市朱鷺メッセ連絡通路落下事故に対する建築学会としての対応報告 3. 2003 年度日本建築学会 技術部門設計競技「アイデアコンペ - 火災に強い高層木造建築システム」入選者の決定報告 4. 建設系 CPD 協議会の発足, 継続職能開発準備委員会の検討について説明
(通信) 2003.9.26	「公共建築の設計者選定方法の改善についての提言(案)」を承認可決
10 月理事会 2003.10.7 本会会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2004年度事業計画・収支予算編成上の基本方針(案)について報告 2. 「法律に対処するための枠組み造りに関する特別調査委員会」ならびに「情報化時代の建築設計のあり方に関する特別調査委員会(仮称)」の設置および委員を承認可決 3. 建築系大学における学部卒業生・大学院修了生の進路調査実施を教育委員会に付託することを承認 4. 「公印管理規程」および「業務および財務等の一般閲覧(情報公開)に関する規程」を承認可決 5. 日本建築学会大賞選考委員会委員の選任を承認可決 6. 委託研究の受託を承認 (1) 独立行政法人建築研究所から建築経済委員会へ、「多様化する建築プロジェクト運営方式を活用した公共発注者の業務モデルに関する調査研究」 (2) 三交不動産(株), ISO 設計(株)から近畿支部へ、「(仮称)サンマンション・エテルネ富田計画」建設前後における風環境調査 7. 2004 年本会・日本建築家協会・東京建築士会の三会共催による新年交際会を, 1 月 6 日(火) 14 時から建築会館ホールにおいて開催することを承認 8. 職員の退職について承認 9. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 (1) 共催 <ul style="list-style-type: none"> イ)(社)文教施設協会から、「平成 15 年度既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の耐力度測定方法<改訂版>実務講習会」 ロ)上海市制冷学会から、「第一回中日建築環境設備新技術シンポジウム」

(2) 後 援

- イ) (社) 日本工学教育協会から、「第 9 回技術者継続教育国際会議 (WCCEE : World Conference on Continuing Engineering Education)」
- ロ) 特定非営利活動法人 建築技術支援協会から、「講演会：世界貿易センタービル(WTC) 崩壊について」
- ハ) 公共建築の日及び公共建築月間実行委員会から、「公共建築の日及び公共建築月間」
- ニ) 豊橋技術科学大学から、「21 世紀 COE プログラム “ 未来社会の生態恒常性工学 ” 国際ワークショップ：都市・建築のサステナブル・デザイン」
- ホ) 毎日新聞社から、「シンポジウム：“ 51C ” は呪縛なのか。戦後集合住宅～現代集合住宅をさぐる」

(3) 協 賛

- イ) (社) 日本地域冷暖房協会から、「第 10 回 (No.2) 地域冷暖房 (DHC) シンポジウム」
- ロ) (社) 日本機械学会から、「No.03-67 講習会：PRINCIPLES OF OPTIMAL DESIGN WITH APPLICATIONS TO PRODUCT DEVELOPMENT (最適設計の原理と製品開発への応用)」
- ハ) (社) 日本非破壊検査協会から、「学術セミナー：維持基準と欠陥評価」
- ニ) (社) 日本騒音制御工学会から、「第 53 回技術講習会：騒音対策の基礎と考え方」
- ホ) (社) 腐食防食協会から、「第 29 回腐食防食入門講習会」
- ヘ) (社) 腐食防食協会から、「第 143 回腐食防食シンポジウム：住環境における表面処理鋼板の耐食性試験法」
- ト) (社) 日本材料学会から、「第 33 回 FRP シンポジウム」
- チ) (社) 日本材料学会から、「講習会：高分子系複合材料のリサイクルと環境適合設計技術」
- リ) (社) 日本材料学会から、「第 9 回機械・構造物の強度設計，安全性評価に関するシンポジウム」
- ヌ) (社) 日本材料学会から、「第 40 回 X 線材料強度に関する討論会：表面改質材における残留応力と強度評価」
- ル) (社) 色材協会から、「'03 色材分析セミナー：製品開発に役立つ分析技術 - “ におい ” を測る」
- ヲ) (財) 金属系材料研究開発センターから、「第 1 回環境調和型超微細粒鋼創製基盤技術の開発シンポジウム」
- ワ) 情報知識学会から、「第 8 回 SGML/XML 研修フォーラム：XML とデータベースを活用した新しいビジネスモデル」
- カ) 100 年先から見てみる会 (東京農工大学 21 世紀 COE プログラム) から、「サミット 2003・100 年先から見てみよう - 地域・バイオマス・新エネルギー」
- ヨ) 東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会 (TOBAC) から、「地域社会人キャリアアップ推進事業：技術者のためのコミュニケーションスキルアップ講座 - グループ演習によるプレゼンテーション能力の開発」
- タ) 東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会 (TOBAC) から、「地域社会人キャリアアップ推進事業：環境デザインの起点としてのランドスケープ - 土木・建築・農村・造園のインターアクション」

[報告・懇談事項]

1. 本会，日本都市計画学会，日本造園学会，日本不動産学会の 4 学会会長による座談会「都市建築をめぐる諸問題」の開催，建築雑誌への掲載について報告
2. 「都市建築の発展と制御」についての論文募集，審査委員会の構成について報告
3. 5 学会会長懇談会報告
4. 「美しい国づくり政策大綱」について報告
5. 京都創生百人委員会設立報告
6. 新潟朱鷺メッセ通路橋落下事故の経緯報告
7. 2003 年度日本建築学会大会 (東海) 概要報告
8. 2003 年度支部共通事業設計競技「みち」入選者報告
9. 世界貿易センタービル崩壊特別調査委員会報告書刊行報告
10. 技術開発と社会認知特別調査委員会報告書刊行報告
11. 第三世界歴史都市・住宅特別研究報告書刊行報告
12. 2003 年度大会 (東海) 「能力開発支援制度」履修登録集計結果報告

<p>11月担当理事会 2003.11.11 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 都市基盤整備公団から公団住宅ストックの再生に係る計画手法に関する委託研究委員会へ、「公団住宅ストックの再生に係る計画手法に関する研究」</p> <p>(2) (財)資産評価システム研究センターから建築経済委員会へ、「家屋の評価方法のあり方に関する調査研究」</p> <p>(3) 日本技術者教育認定機構から建築教育認定事業委員会へ、「アクレディテーション制度導入支援事業」</p> <p>(4) トステム(株)ビル建材本部, (株)長谷工設計から近畿支部へ、「横ルーバー型アルミ手摺りの風による振動実験調査」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共催</p> <p>イ) 日本学術会議 人間と工学研究連絡委員会 安全工学専門委員会から、「第34回安全工学シンポジウム」</p> <p>ロ) 独立行政法人日本学術振興会 制震(振)構造技術第157委員会から、「第3回日本制震(振)シンポジウム」</p> <p>ハ) (社)日本アイソトープ協会から、「第41回理工学における同位元素・放射線研究発表会」</p> <p>ニ) 第42回原子力総合シンポジウム運営委員会から、「第42回原子力総合シンポジウム」</p> <p>ホ) 日本地震工学会から、「2003年十勝沖地震被害調査報告会」</p> <p>(2) 後援</p> <p>イ) 国土交通省国土技術政策総合研究所から、「国際シンポジウム：自然共生型流域圏・都市再生のヴィジョン - 水と緑からの都市再生」</p> <p>ロ) 独立行政法人建築研究所から、「国際地震工学研修40周年記念講演会」</p> <p>ハ) 大阪市から、「大阪現代演劇祭“仮設劇場”デザインコンペ」</p> <p>ニ) (社)東京建築士会から、「2003第10回公開シンポジウム：住みたい！ 使いたい！ 残したい！ - 記憶をつなぐまちと建物」</p> <p>ホ) (社)日本建築美術工芸協会から、「aaca設立15周年記念事業“歴史的建造物保存”シンポジウム：日本工業倶楽部会館の保存について」</p> <p>ヘ) (財)関西情報・産業活性化センターから、「シンポジウム：ふるさとの遺産“鉱石の道”を考える」</p> <p>ト) (財)震災予防協会から、「第21回講演会：火山防災マップの現状と未来」「第22回講演会：震災を防ぐ秘訣 - 地震への恐怖から理解へ」</p> <p>チ) 2004年世界アスベスト東京会議組織委員会から、「2004年世界アスベスト東京(GAC2004: Global Asbestos Congress 2004 in Tokyo)」</p> <p>リ) レスターブラウン講演シンポジウム実行委員会から、「レスターブラウン講演シンポジウム：地球の未来とサステナブルシティ」</p> <p>ヌ) 日本ルーマニア世界遺産会議2003実行委員会から、「日本ルーマニア世界遺産会議2003：東欧の中世文化遺産とルーマニアの修道院文化」</p> <p>ル) Third International Structural Engineering and Construction Conference (ISEC-03)委員会から、「Third International Structural Engineering and Construction Conference (ISEC-03): 構造工学及び建設にかかわる第3回国際会議」</p> <p>ヲ) 日経ピーピーから、「都市再生・環境フォーラム2004」</p> <p>(3) 協賛</p> <p>イ) 建築・住宅国際機構から、「ビル自動管理制御システム(BACS)の国際規格化シンポジウム」</p> <p>ロ) (社)日本機械学会から、「ロボティクス・メカトロニクス講演会2004」</p> <p>ハ) (社)計測自動制御学会から、「SICEセミナー：実践的な制御理論」</p> <p>ニ) (社)計測自動制御学会から、「SICEセミナー：制御のためのシステム同定」</p> <p>ホ) (社)日本鉄鋼協会から、「第53・54回白石記念講座：鉄鋼材料の進歩を支えるナノテクノロジー」</p> <p>ヘ) ISO/TC146/SC6国内対策委員会, (財)建材試験センターから、講演会「シックハウス対策JISの構造と概要：建材のホルムアルデヒド・VOCに関する試験・評価法JISの最前線」</p> <p>ト) シンポジウム“CFDによる局所的風況予測システム”実行委員会から、「シンポジウム：CFDによる局所的風況予測システム - LAWEPSから始まる風車適地選定」</p>
--	---

	<p>チ) 第 38 回空気調和・冷凍連合講演会運営委員会から, 「第 38 回空気調和・冷凍連合講演会」</p> <p>リ) 日本経済新聞社から, 「建築・建材展 2004」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 2003 年度下期国際交流振興基金の援助事業・援助額報告</p> <p>2. 建築市場・建築産業の現状と将来特別調査委員会中間報告</p>
<p>12 月理事会 2003.12.16 本会会議室</p>	<p>1. 2004 年度事業計画・収支予算両案, 2003 年度事業報告・収支決算両案の編成方法と編成日程について承認</p> <p>2. 名誉会員候補として 11 名の方々を 3 月 19 日の通常総会に付議することを承認可決</p> <p>3. 「建築設計ブリーフ特別調査委員会」の設置について承認可決</p> <p>4. 近畿支部に 2005 年度大会を近畿支部地域で開催することの検討方を依頼</p> <p>5. 建築系 5 団体による「公共建築設計者選定支援協議会の設置要綱案」を承認可決</p> <p>6. 総合論文誌委員会運営規程の一部改正について承認可決</p> <p>7. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 文部科学省大臣官房文教施設部から文教施設委員会へ, 「学校施設の防犯対策に関する手引書の作成」</p> <p>8. 共催・後援・協賛の名義使用の承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本学術会議 材料工学研究連絡委員会から, 「第 48 回材料研究連合講演会」</p> <p>ロ) (社) 日本設計工学会から, 「Design Symposium 2004」</p> <p>ハ) (社) 日本伝熱学会から, 「第 41 回日本伝熱シンポジウム」</p> <p>ニ) 日本地震工学会から, 「第 1 回性能規定型耐震設計法に関する研究発表会」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社) プレストレストコンクリート技術協会から, 「第 32 回プレストレストコンクリート技術講習会: プレストレストコンクリート構造物の新たな動向」</p> <p>ロ) (社) 日本材料学会から, 「第 4 回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム」</p> <p>ハ) (社) 日本溶接協会から, 「ガス・プラズマ・レーザ切断加工 講習会」</p> <p>ニ) (社) 日本溶接協会から, 「第 11 回 “溶接の研究” 講習会」</p> <p>ホ) (社) 日本鉄鋼連盟から, 「第 9 回研究成果報告会 “建築構造用鋼材とその利用技術” 講習会」</p> <p>ヘ) (財) 日本建築防災協会から, 「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断および耐震改修指針講習会」</p> <p>ト) 板硝子協会から, 「ガラスシンポジウム 2004」</p> <p>チ) 東京工芸大学から, 「COE 国際シンポジウム: 都市・建築物へのウィンドイフェクト」</p> <p>リ) 第 7 回国際土壌・地下水環境ワークショップ実行委員会から, 「第 7 回国際土壌・地下水環境ワークショップ IWGER2004」</p> <p>ヌ) mAAJAPAN から, 「シンポジウム: アジアの都市遺産とその再生」</p> <p>ル) グリーン・サステイナブル・ケミストリー (GSC) ネットワークから, 「第 4 回 GSC シンポジウム」</p> <p>ヲ) 宇都宮美術館から, 「リートフェルト展 - 職人であり続けたオランダ人デザイナーリートフェルトのイスと家」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 空気調和・衛生工学会から, 「第 34 回セミナー: 生活環境と健康」</p> <p>ロ) (社) 建築設備技術者協会, (社) 日本能率協会から, 「第 36 回 2004 建築設備技術会議」</p> <p>ハ) (社) 日本工学教育協会から, 「平成 16 年度工学・工業教育研究講演会」</p> <p>ニ) (社) ステンレス構造建築協会から, 「ステンレス建築構造材の利用技術講習会」</p> <p>ホ) (社) 自動車技術会から, 「シンポジウム: CAE は開発プロセスをここまで変えた! ?」</p> <p>ヘ) (社) 腐食防食協会から, 「第 34 回技術セミナー: 非鉄金属材料の防食技術の現状」</p> <p>ト) (社) 日本空気清浄協会から, 「第 22 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会」</p> <p>チ) (社) 可視化情報学会から, 「第 32 回可視化情報シンポジウム」</p>

	<p>リ)(社)日本非破壊検査協会から、「表面探傷技術による健全性診断に関するシンポジウム」</p> <p>ヌ)(社)日本非破壊検査協会から、「第35回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」</p> <p>ル)(財)建築保全センターから、「建築保全業務共通仕様書・同積算基準の解説(平成15年版)」講習会</p> <p>ヲ)(財)地域開発研究所, 建築施工管理技術研究会から、「平成16年度1級・2級建築施工管理技術検定試験受験準備講習会」</p> <p>ワ)日本知能情報ファジィ学会から、「第3回産業界技術交流会“ファジィ・誘・サロン”」</p> <p>カ)日本接着学会から、「創立40周年記念日本接着学会第42回年次大会」</p> <p>ヨ)第3回日中韓構造及び機械システムの最適化シンポジウム日本側組織委員会から、「第3回日中韓構造及び機械システムの最適化シンポジウム」</p> <p>タ)エコ・グリーンテック実行委員会から、「エコ・グリーンテック2004」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本地震工学会からの「阪神淡路大震災10周年記念行事」の共同開催申し入れを承認 2. 巨大地震等災害対応についてさらに関係委員で検討することとした 3. 通常総会の議事と役員分担について承認 4. キャリア登録システムの拡充について報告 5. 日本建築学会図書館と土木学会附属土木図書館との相互利用を認める覚書の締結報告 6. JABEE 建築学および建築学関連分野の認定課程修了者の技術士第一次試験免除について報告 7. 2003年度大会(東海)会計報告 8. 日本建築士会連合会「専攻建築士認定評議会」の委員として八木事業理事の派遣報告 9. 建築文化週間2003事業報告 10. 2004年度支部共通事業日本建築学会設計競技ならびに技術部門設計競技課題決定報告 11. 2003年度鹿島学術財団助成候補推薦報告 12. 「建築倫理用教材」刊行報告 13. 朱鷺メッセ通路橋落下事故の対応について, 会長談話発表予定である旨報告 14. 2004年新年交礼会開催報告
<p>1月担当理事会 2004.1.13 本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の退職ならびに後任職員補充を承認 2. 後援・協賛の名義使用を承認 <p>(1) 後援</p> <p>イ)(社)日本建築美術工芸協会から、「15周年記念展覧会“わざ”」</p> <p>(2) 協賛</p> <p>イ)(社)日本機械学会から、「講習会: 発電用原子力設備規格 コンクリート製原子炉格納容器規格」</p> <p>ロ)(社)日本機械学会から、「第14回環境工学総合シンポジウム2004」</p> <p>ハ)(社)日本非破壊検査協会から、「第11回超音波による非破壊評価シンポジウム」</p> <p>ニ)(社)日本非破壊検査協会から、「第4回放射線による非破壊評価シンポジウム」</p> <p>ホ)(社)日本鉄鋼協会から、「第180・181回西山記念技術講座」</p> <p>ヘ)複合材料界面科学研究会から、「第12回複合材料界面シンポジウム」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「朱鷺メッセ連絡デッキ崩壊メカニズム要旨」についての秋山会長談話公表の報告 2. 「わたしの同潤会アパート展」開催結果報告
<p>(通信) 2004.1.16</p>	<p>「景観緑三法に関する見解および提言(案)」を承認可決</p>
<p>2月担当理事会 2004.2.17 本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委託研究の受託を承認 <p>(1) 広島県から中国支部へ, 「平成15年広島県住宅需要実態調査業務」</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 2004年日本建築学会作品選奨12件の表彰業績を承認可決 3. 職員の採用を承認 4. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 <p>(1) 共催</p>

	<p>イ)日本学術会議 メカニクス・構造研究連絡委員会から、「第 54 回理論応用力学講演会」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ)(社)土木学会から、「第 3 回木橋技術に関するシンポジウム」</p> <p>ロ)(社)日本都市計画学会から、「都市計画シンポジウム：条例によるまちづくり」</p> <p>ハ)(社)建築研究振興協会から、「建築技術研究フォーラム 2004」</p> <p>ニ)(社)建築・設備維持保全推進協会から、「セミナー：過渡期にある“建物性能・サービス評価” - 建物評価・管理手法の新たなる展開」</p> <p>ホ)(社)建築設備総合協会から、「第 88 回建築設備総合ゼミナール：環境に配慮した最新の省エネルギー技術動向とその実績・評価」</p> <p>ヘ)(社)日本建築積算協会から、「プロジェクトマネジメントに関する実例研究セミナー」</p> <p>ト)(社)地盤工学会から、「第 1 回実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会」</p> <p>チ)日本地震工学会, NPO 法人リアルタイム地震情報利用協議会から、「第 3 回国土セイフティネットシンポジウム：広域・高密度リアルタイム地震ネット構築へ向けて」</p> <p>リ)昭和女子大学から、「第 1 回ベトナム建設省住宅セミナー：高層住宅の開発と管理およびアジアの住宅政策」</p> <p>ヌ)環境都市再生推進会議から、「シンポジウム：地球環境共生型の都市構築に向けて」</p> <p>ル)特定非営利活動法人 建設環境情報センターから、「第 4 回建設環境倫理セミナー：今、なぜ技術者倫理がもとめられているか」</p> <p>ヲ)シンポジウム「オフィス新世紀」実行委員会から、「シンポジウム：オフィス新世紀」</p> <p>ワ)土木・建築書協会から、「第 4 回土木・建築図書特別展示即売会：人と自然にやさしい環境を考える」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ)(社)空気調和・衛生工学会から、「平成 16 年度初級技術者のための研修会」</p> <p>ロ)(社)日本地域冷暖房協会から、「第 10 回 (No.3) 地域冷暖房 (DHC) シンポジウム」</p> <p>ハ)(社)日本防錆技術協会から、「第 24 回防錆防食技術発表大会」</p> <p>ニ)(社)日本材料学会から、「第 39 回 X 線材料強度に関するシンポジウム」</p> <p>ホ)(社)日本鋼構造協会から、「第 12 回鋼構造シンポジウム」</p> <p>ヘ)日本複合材料学会から、「2004 年度研究発表講演会」</p> <p>ト)システム制御情報学会から、「システム制御情報チュートリアル講座 2004：状態空間表現に基づく制御 現代制御からロバスト制御まで」</p> <p>チ)オーシャンズ/テクノオーシャン'04 実行委員会から、「オーシャンズ/テクノオーシャン'04」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 東海支部長辞任による補欠選挙報告</p> <p>2. 5 団体会長会議報告</p> <p>3. 土木学会の提案による「土木学会・日本建築学会, 巨大地震災害への対応共同研究」についての説明</p> <p>4. 2004 年度特色ある支部活動企画の選考経過報告</p>
<p>3 月理事会 2004.3.10 本会会議室</p>	<p>1. 3 月の通常総会に付議する議案および報告・懇談事項について承認可決</p> <p>(1) 2004 年度事業計画案について</p> <p>(2) 2004 年度収支予算案について</p> <p>(3) 新名誉会員の推挙について</p> <p>(4) 報告・懇談事項の確認について</p> <p>2. 大災害調査復興支援本部運営規程(案)を承認可決</p> <p>3. 特別調査委員会の設置ならびに委員を承認可決</p> <p>(1) 東海地震等巨大災害への対応特別調査委員会</p> <p>(2) 阪神・淡路大震災 10 周年事業「史料編纂委員会」ならびに「10 周年事業委員会」</p> <p>(3) 室内化学物質空気汚染の解明と健康・衛生居住環境の開発に関する特別調査委員会</p> <p>4. 本会規程の一部改正について承認可決</p> <p>(1) 専務理事の報酬等に関する内規</p> <p>(2) 旅費内規</p> <p>(3) まちづくり支援建築会議運営委員会規程</p>

5. 2004 年度日本建築学会大会（北海道）の参加費，収支予算書，行事概要を承認
6. 2004 年度支部研究補助費を承認
7. 職員の退職ならびに採用について承認
8. 共催・後援・協賛の名義使用を承認
- (1) 共 催
- イ) 西安建築科技大学から，「第3回“住宅建築のエネルギーと環境”国際ワークショップ」
- (2) 後 援
- イ) (社) 日本コンクリート工学協会から，「フレッシュコンクリートの単位水量迅速測定及び管理システム調査研究委員会報告会 - 単位水量の迅速測定の現状と展望」
- ロ) (社) 日本コンクリート工学協会から，「近年の被害地震におけるコンクリート構造物の耐震性能評価に関する研究委員会報告会」
- ハ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から，
「平成 16 年度建築設備診断技術者（ビルディングドクター：建築設備）」資格取得講習
- ニ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から，
「平成 16 年度建築仕上診断技術者（ビルディングドクター：非構造）」資格取得講習
- ホ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から，
「平成 16 年度建築・設備総合管理技術者資格取得講習」
- ヘ) (社) 地盤工学会から，「液状化地盤中の杭の挙動と設計法に関するシンポジウム」
- ト) (財) 建築環境・省エネルギー機構から，「自立循環型住宅開発委員会 中間成果報告会」
- チ) こども環境学会設立発起人会から，「こども環境学会設立記念・国際シンポジウム」
- リ) 学生建築設計優秀作品展実行委員会から，「第 27 回学生設計優秀作品展 - 建築・都市・環境」
- ヌ) アルミニウム建築構造協議会から，「アルミ建築フォーラム：アルミが建築を変える - アルミ建築イノベーション」
- ル) フラオンホーファー建築物理研究所日本セミナー講演会実行委員会から，「フラオンホーファー建築物理研究所日本セミナー講演会」
- (3) 協 賛
- イ) (独) 物質・材料研究機構超鉄鋼研究センターから，「第 8 回超鉄鋼ワークショップ」
- ロ) (社) 日本機械学会から，「Dynamics and Design Conference 2004：自由闊達，縦横無尽，そして新たな未来へ」
- ハ) (社) 日本機械学会から，「第 47 回自動制御連合講演会」
- ニ) (社) 日本非破壊検査協会から，「第 3 回保守検査シンポジウム：メンテナンスと非破壊検査」
- ホ) (社) 腐食防食協会から，「第 144 回腐食防食シンポジウム：大気腐食評価法の現状と問題点」
- ヘ) (社) 可視化情報学会から，「講習会：可視化フロンティア 第 1 回 流れの可視化計測」
- ト) (社) 可視化情報学会から，「全国講演会：愛媛 2004」
- チ) (社) 溶接学会から，「平成 16 年度溶接技術基礎講座」
- リ) (社) 溶接学会から，「溶接構造シンポジウム 2004：インフラを支える構造化技術」
- ヌ) (社) 日本流体力学会から，「日本流体力学会年会 2004」
- ル) (社) 日本鉄鋼協会から，「第 55 回白石記念講座：鉄鋼の飛躍をリードする評価・分析技術の最前線」
- ヲ) (社) 日本鉄鋼協会から，「第 182・183 回西山記念技術講座：介在物制御と高純度鋼製造技術」
- ワ) (社) 日本材料学会から，「第 27 回疲労シンポジウム」
- カ) (社) 日本材料学会から，「第 24 回疲労講座：疲労と破壊の基礎と応用」
- ヨ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから，「第 1 回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」
- タ) 日本材料強度学会から，「第 49 回材料強度と破壊総合シンポジウム」
- レ) 日本ウォータージェット学会から，「平成 16 年度講演会：環境・リフォーム・ジェット」
- ソ) 日本知能情報ファジィ学会から，「第 20 回ファジィシステムシンポジウム：知能，情報とファジィの進化と融合の 40 年」

	<p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 2004 年内部監査項目について報告</p> <p>2. 会員のキャリア登録システムの整備報告，ならびに会員の個人情報の保護に関する基本原則の中間報告</p> <p>3. 「都市建築の発展と制御に関する論文」の応募状況ならびに資料集発行の報告</p> <p>4. 学会の対外的意見表明の方法ならびにその内容に対する意見</p>
--	--

1.3 支部長会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2003.4.16 本会会議室	(1) 会員数と支部財政について
2003.10.7 本会会議室	(1) 支部活動・財政について ・支部活動に関するアンケート結果について ・支部財政の推移 (2) 支部財政支援について (3) 特色ある支部活動企画について
2003.12.16 本会会議室	[特色ある支部活動企画選考委員会] (1) 特色ある支部活動企画(2004)の選考
2003.12.16 本会会議室	(1) 能力開発支援制度について ・制度の概要 ・今後の課題
2004.3.10 本会会議室	(1) 支部財政問題について ・会員数の動向 ・支部財政・事業活動の状況について ・能力開発支援を通じた会員増強

1.4 協力委員会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2003.9.6 中部大学 7号館	(1) 建築界における能力開発支援制度の動向 (2) 本会における能力開発支援制度の概要について (3) 職能資格者団体の立場から期待するところ (4) 教育・研究機関の立場から期待するところ

1.5 関係学協会会長懇談会

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2003.7.30 日本コンクリート工学会会議室	(1) 各学協会の重点課題について (2) 会員減少傾向対応 (3) 技術者教育認定 (JABEE) , 継続教育関係の取り組み (出席学協会：空気調和・衛生工学会，地盤工学会，土木学会，日本コンクリート工学会，日本造園学会，日本都市計画学会，日本建築学会)

2. 大会

2.1 概要

1. 期 日：2003年9月5日（金）～7日（日）

2. 会 場：中部大学

3. 内容

(1) 学術講演発表題数 6,131題（ポスターセッション含む） 12,753名

(2) 市民向け記念講演会

前夜祭「映画が街にやってきた」 130名

講演会・シンポジウム「住みたいまち、住みやすいまち」 430名

連続トーク

地域を担う女性たち 50名

市民から見たバリアフリー 130名

まちなか研究室 40名

住まいと居住環境 70名

災害とコミュニティ・建築・まちづくり 80名

ぐらぐらコンテスト2003 150名

合計 1,080名

(3) 研究集会

研究協議会 15主題 1,500名

パネルディスカッション 21主題 2,299名

研究懇談会 6主題 433名

合計 4,232名

(4) 2003年度日本建築学会設計競技「みち」公開審査 193名

4. 建築作品展 参加者数 合計延べ 1,091名

2003年日本建築学会賞（作品・技術）

2003年日本建築学会作品選奨

2002年度日本建築学会設計競技全国入選作品

2003年度日本建築学会技術部門設計競技入選作品

2003年日本建築学会優秀卒業論文・優秀修士論文受賞論文

2003年度支部共通事業 全国大学・高専卒業設計展示会

5. 大会参加登録者

事前登録 会 員・一 般 2,900名

会 員・大学院 1,932名

会員外・一 般 33名

会員外・大学院 23名

会場登録 会 員・一 般 2,457名

会 員・大学院 671名

会員外・一 般 265名

会員外・大学院 98名

会員外・登録メンバー 14名

準会員・学部学生・市民 463名

合計 8,856名

6. 大会学術関係	発表題数
材料施工	5 5 7
構造	2, 1 5 1
防火	1 4 5
環境工学	1, 1 6 3
建築計画	8 2 6
農村計画	1 1 7
都市計画	5 2 0
建築経済・住宅問題	1 5 0
建築歴史・意匠	3 5 9
海洋	7 2
情報システム	5 4
教育	1 7
	合計 6, 1 3 1 題

7. 開会式 9月5日(金) 中部大学リサーチセンター会議室
 司会 小野博宣(大会実行委員総務部会幹事)
 開会の辞 池 浩三(大会副委員長・大会実行委員長)
 歓迎の辞 久保哲夫(大会委員長)
 挨拶 秋山 宏(会長)
 参加者 60名

8. 懇親会 9月5日(金) 名古屋浩養園
 開会の辞 久保哲夫(大会委員長)
 挨拶 秋山 宏(会長)
 祝辞 愛知県知事 代読 河合 修(愛知県建設部理事)
 大西良三(三浦学園理事長)
 閉会の辞 池 浩三(大会実行委員長)
 参加者 326名

9. 閉会式 9月7日(日) 中部大学リサーチセンター会議室
 司会 佐藤圭二(大会実行委員会総務部会長)
 閉会の辞 池 浩三(大会副委員長・大会実行委員長)
 閉会の挨拶 佐藤 滋(副会長)
 学会旗の手渡し 久保哲夫(大会委員長)
 次期大会開催支部長挨拶 石山祐二(北海道支部長・次期大会委員長)
 参加者 50名

10. 中部大学行事
 見学会「利休の復元茶室 - 工法庵」と茶会 1,024名
 見学会解説「中部大学の耐震対策」 60名
 講演会「大学キャンパスの設計」 96名
 映画と座談会「ル・コルビュジエとその映像をめぐって」 178名

11. 託児所設置
 9月5日～7日 中部大学内 保育士2名
 利用者数5名(0歳児1名、1歳児1名、2歳児1名、4歳児2名)

2.2 学術講演会

			9月5日(金)		9月6日(土)		9月7日(日)		備考
号館	室名	主用途	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
リサーチセンター	大会議室		開会式80	奨励賞・卒論・修論表彰式				閉会式30	
学外行事	浩養園	大会懇親会							
体育館		PS 建築作品 展示	基礎構造	農村計画	建築計画			都市計画	
			延べ1091						
メモリアルホール		連続トーク 特別報告会	連続トーク25	連続トーク77	連続トーク52			地震速報会 148	
7号館	ファカルティ ルーム	設計競技公 開審査・表彰	90	103					
25号館	2542	協議会・PD	建築計画74	教材50	限界耐力PD 246	都市計研協 136	地球環境研協 58		
30号館	3011	協議会・PD		シェルPD 182	材料PD 53	建築計研協 147	環境・防火・災 害研協62	21世紀計画系 教育研協84	
15号館	1521	協議会・PD		WTC PD 210	技術開発PD 101	振動PD 256	JABEE PD 73	鋼構造PD 135	
	1511	協議会・PD		歴史PD 57	地球環境PD 64	農村計研協 55	建築計画PD 73		
	1512	協議会・PD		災害PD 61	都市計画PD 88	歴史研協 146	ブリーフ研協 32	歴史PD 75	
図書館	アセンブリ ホール	協議会・PD	中部大学企画 86	地球環境PD 79	地震防災研協 81	コンペ表彰 防火研協136	応力PD 77		
2号館	223	協議会・PD		都市計画PD 63		経済研協 70	SCCS PD 53		
リサーチセンター	大会議室	協議会・PD				教育研懇 57	都市建築研懇 44		
22号館	2215	競技会・PD		基礎PD 180	中部大学企画 96	材料研協 122	材料PD 40	木質構造PD 133	
28号館	2811	協議会・PD				情報研協 112	中部大学企画 58		
9号館	912	学術講演 構造1	53	64	76	84	42		
	921	学術講演 構造2	68	43	52	78	32		
	922	学術講演 構造3	35				43		
	924	学術講演 構造4	54	48	31	51	31		
	925	学術講演 構造5	77	96	113	88	30		
	931	学術講演 構造6	32	42	26	44			
	932	学術講演 構造7	49		64	52	61	74	
	935	学術講演 構造8			44	44			
	936	学術講演 構造9			99	88	58	51	
	937	学術講演 構造10	44	39	29	41			
	938	学術講演 構造11	27	35	78	64	55		
	941	学術講演 構造12	42	64	49	73	44	30	
	942	学術講演 構造13	60	44	52	40	62	28	
	944	学術講演 構造14	55	58	49	59	45	29	
	945	学術講演 構造15	44	47	54	58	44	24	

号館	室名	主用途	9月5日(金)		9月6日(土)		9月7日(日)		備考
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	
9号館	946	学術講演 構造16	32	40	47		46	51	
	947	学術講演 構造17	77	64	51		52	41	
	948	学術講演 構造18	36	53	36		30	25	
	949	学術講演 構造19	71	66	67		45	40	
	951	学術講演 構造20	40	55	60		60	26	
	955	学術講演 材料1	19	60	49		35	32	
	956	学術講演 材料2	78	68	14		35	33	
	957	学術講演 材料3	37	44	37		47	46	
	958	学術講演 材料4	40	60	42		32	42	
	959	学術講演 材料5	65	62	49		26	44	
10号館	1011	学術講演計 画1	28	27	23		49	21	
	1021	学術講演 計画2	53	77	36		49	36	
	1022	学術講演 計画3	67	37	37		36	34	
	1023	学術講演 計画4	24	33	18		43	50	
	1024	学術講演 計画5	12	36			48	17	
	1031	学術講演 計画6	36	35	53		49	31	
	1032	学術講演 計画7	48	52	56		47	26	
	1033	学術講演 経済・教育・ 情報	44	26	22		24	30	
	1034	学術講演 経済	37	42	31		25	47	
19号館北	1921	学術講演 海洋・防火	18	27	50	海洋研協 65	57	53	
	1922	学術講演 防火	72	63	62		51	57	
21号館	2111	学術講演 環境1	64	108	76	環境研協 194	78	70	
	2121	学術講演 環境2	58	41	64		49	46	
	2122	学術講演 環境3	44	44	74		83	53	
	2131	学術講演 環境4	74	55	69		42	68	
	2132	学術講演 環境5	74	87	67		58	90	
22号館	2211	学術講演 環境6	73	59	72		88	90	
	2212	学術講演 環境7	52	38	59		46		
	2213	学術講演 環境8	31	43	44		57	36	
	2214	学術講演 環境9	34	70	54	法制研懇 60	57		
	2222	学術講演 環境10	13	16	32		35	97	
	2224	学術講演 環境11	41	36	41		54	48	

			9月5日(金)		9月6日(土)		9月7日(日)		備考
号館	室名	主用途	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
25号館	2531	学術講演 歴史1	26	49	59		29	29	
	2532	学術講演 歴史2	43	48	81		41	39	
	2541	学術講演 歴史3	25	36	53		60	45	
27号館	2721	学術講演 都市1	42	32	42		30	9	
	2722	学術講演 都市2	55	46	40		32	21	
	2732	学術講演 都市3	32	36	23		34		
	2741	学術講演 都市4	29	55	30		36	26	
	2742	学術講演 都市5	34	23	29		26		
	2731	学術講演 農村	37	53	20		32	32	

2.3 部門別研究集会（研究協議会・PD・研究懇談会）

部 門	区分	主 題	日時	会場
材料施工	研協	JASS等における環境配慮事項の規定について	9月6日（土） 13:15～16:30	22号館2215室
	PD	材料・施工教育における課題	7日（日） 9:00-12:00	22号館2215室
	PD	性能仕様書への期待と課題	6日（土） 9:00-12:00	30号館3011室
構造	PD	（耐震構造性能評価法検討）限界耐力計算を展望する - 耐震計算法の課題をさぐる -	6日（土） 9:00-12:00	25号館2542室
	PD	（応用力学）実現象と設計ルール	7日（日） 9:00-12:00	図書館アセンブリホール
	PD	（基礎構造）基礎構造の環境への貢献 - 再利用・再資源化を中心として -	5日（金） 13:15-17:00	22号館2215室
	PD	（木質構造）伝統的木構造の構造特性と設計	7日（日） 13:15-17:00	22号館2215室
	PD	（鋼構造）鋼構造の性能設計を考える - 耐震・変形限界を中心として -	7日（日） 13:15-17:00	15号館1521室
	PD	（SCCS）鋼コンクリート合成構造の合理的な接合法を探る	7日（日） 9:00-12:00	2号館223室
	PD	（シェル・空間構造）応答制御技術が開く空間構造デザインの可能性	5日（金） 13:15-17:00	30号館3011室
都市計画	研協	100万都市の再生論とその都市像	6日（土） 13:15-17:00	25号館2542室
	PD	都道府県都市マスの策定状況からみた都市計画の課題と展望	5日（金） 13:00-17:00	2号館223室
	PD	景観管理とまちづくりのデザイン - 生活景からの研究展望と政策提言 -	6日（土） 9:00-12:00	15号館1512室
都市計画・建築計画	研懇	戦略的キャンパス計画と都市のシナジャイズ	7日（日） 9:00-12:00	リサーチセンター大会議室
建築計画	研協	情報化は生活空間をどう変えるのか	6日（土） 13:00-17:00	30号館3011室
	PD	これからの都市とコンバージョン - 日本での展開可能性 -	7日（日） 9:00-12:00	15号館1511室
	研懇	持続型住居考	5日（金） 9:15-12:00	25号館2542室
農村計画	研協	「環境資産」としての農山漁村 - 暮らしが創りだす環境・空間	6日（土） 13:00-17:00	15号館1511室
建築歴史・意匠	研協	日本における近世・近代の建築観	6日（土） 13:30～17:00	15号館1512室
	PD	日本の都市の特質	7日（日） 13:00-17:00	15号館1512室
	PD	歴史的建築リストの整備と活用に向けて - 地域からの報告と問題提起	5日（金） 13:00-17:00	15号館1511室
環境工学	研協	建築環境関連の法的トラブルの現状と今後の研究課題	6日（土） 13:45-17:00	21号館2111室
環境工学・災害・防火	研協	防災の視点からのリスクマネジメントと環境対策について - 東海地震を控えて -	7日（日） 9:00-12:00	30号館3011室
建築経済	研協	コラボレーションによる地域住宅・まちづくり - 土・学連携による住まい・まちづくりユニットの構築 -	6日（土） 13:00-17:00	2号館223室

建築法制	研懇	確認・検査の民間開放（建築基準法執行体制の改変）を考える	6日（土） 13:00-17:00	22号館2214室
建築教育	研懇	市民・子どもと建築をむすぶミュージアム	6日（土） 13:00-17:00	リサーチセンター 大会議室
情報システム技術	研協	ユビキタス時代における建築・都市の変容と論理	6日（土） 13:00-17:00	28号館2811室
海洋	研協	「都市機能補完型海洋建築」の計画と提言	6日（土） 13:00-16:50	19号北館1921室
防火	研協	性能による防火設計の現状と将来	6日（土） 13:30～17:00	図書館アセンブリ ホール
災害	PD	学会本部と各支部の災害直後対応	5日（金） 13:00-17:00	15号館1512室
災害・東北 支部災害調 査連絡会	速報 会	2003.5.26宮城県沖の地震と2003.7.26宮城県北部 の地震の被害調査速報会	7日（日） 13:00～17:00	メモリアルホー ル
地球環境	研協	循環型社会が求める建築の資源循環	7日（日） 9:15-12:00	25号館2542室
	PD	良好な社会ストック形成のために我が国の建築分 野での努力はいかにあるべきか	6日（土） 9:00-12:00	15号館1511室
	PD	地球環境建築・構造からの発信	5日（金） 13:00-17:00	図書館アセンブリ ホール
特別研究	研協	計画系建築教育のパラダイム変換 - 個性と新しい 質を目指す21世紀の計画系教育	7日（日） 13:00-17:00	30号館3011室
	研協	建築設計ブリーフは、だれがどのように作り、建 築をどう変えるか	7日（日） 9:00-12:00	15号館1512室
特別調査	PD	WTC崩壊・ペンタゴンの被害・教訓	5日（金） 13:00-17:00	15号館1521室
	PD	施主・設計者・施工者・行政の役割と建築基準法 令 - 旧38条削除がなげかけた問題 -	6日（土） 9:00-12:00	15号館1521室
	研協	地震防災に関する総合的な対策の確立に向けて	6日（土） 9:00～12:00	図書館アセンブリ ホール
教材委員会	研懇	新たな専門教育用教材の方向性と学会の役割	5日（金） 13:00-16:45	25号館2542室
JABEE認定	PD	JABEEによる技術者教育認定審査	7日（日） 9:00-12:00	15号館1521室

2.4 2003年日本建築学会賞(論文・業績)受賞者記念講演

期 日	時 間	講演題目	講演者	会 場
9月5日(金)	13:00-13:15	地盤と基礎の地震時挙動の解明とその耐震性評価に関する一連の研究	時松 孝次	22号館2215室
	13:00-13:15	ラチスシエルの構造安全性に関する研究	小河 利行	30号館3011室
9月6日(土)	13:00-13:15	構造物と地盤の振動現象の解明と都市地震防災への活用に関する研究	福和 伸夫	15号館1521室
	13:00-13:15	建築設備の保全・管理に関する一連の研究	高草木 明	21号館2111室
	13:00-13:15	建築物の耐久・維持保全技術の開発および普及に関する一連の業績	榆木 堯	22号館2215室
	13:00-13:15	フランスにおける歴史的環境と景観の保全に関する一連の研究	和田 幸信	25号館2542室
	13:00-13:15	近代日本の建築と建築家に関する多面的な研究	石田潤一郎	15号館1512室
	13:15-13:30	温熱環境実測と動的シミュレーション手法に関する一連の研究	武田 仁	21号館2111室
	13:15-13:30	イタリアおよび日本の都市史に関する研究	陣内 秀信	15号館1512室
	13:30-13:45	都市空間の音環境の評価と計画に関する研究	藤本 一壽	21号館2111室
9月7日(日)	9:00-9:15	環境共生住宅の研究開発・実践および普及に関する一連の業績	岩村 和夫	25号館2542室
	13:00-13:15	木造住宅の耐震診断法の研究・開発および普及・啓蒙活動に関する業績	坂本 功	22号館2215室
	13:00-13:15	鋼構造建築物の脆性破壊に関する一連の研究	桑村 仁	15号館1521室

3. 表 彰

3.1 2003 年日本建築学会大賞

表 彰 業 績 名	受 賞 者
我が国における西洋建築史学の確立と建築文化財保存の 実践に対する貢献	終身正会員 飯田 喜四郎君
建築材料・施工および建築性能論に関する一連の研究と 技術普及活動による建築界への貢献	終身正会員 白山 和久 君

推薦件数 11件

3.2 2003年日本建築学会賞

	表 彰 業 績 名	受 賞 者	
論	近代日本の建築と建築家に関する多面的な研究	正会員 石田 潤一郎君 (京都工芸繊維大学教授)	
	ラチスシェルの構造安全性に関する研究	正会員 小河 利行 君 (東京工業大学教授)	
	鋼構造建築物の脆性破壊に関する一連の研究	正会員 桑村 仁 君 (東京大学教授)	
	イタリアおよび日本の都市史に関する研究	正会員 陣内 秀信 君 (法政大学教授)	
	建築設備の保全・管理に関する一連の研究	正会員 高草木 明 君 (NTT建築総合研究所取締役)	
	温熱環境実測と動的シミュレーション手法に関する 一連の研究	正会員 武田 仁 君 (東京理科大学教授)	
	文	地盤と基礎の地震時挙動の解明とその耐震性評価に 関する一連の研究	正会員 時松 孝次 君 (東京工業大学教授)
		構造物と地盤の振動現象の解明と都市地震防災への 活用に関する研究	正会員 福和 伸夫 君 (名古屋大学教授)
		都市空間の音環境の評価と計画に関する研究	正会員 藤本 一壽 君 (九州大学教授)
		フランスにおける歴史的環境と景観の保全に関する 一連の研究	正会員 和田 幸信 君 (足利工業大学教授)
作 品	苓北町民ホール	正会員 阿部 仁史 君 (東北大学大学院教授) 正会員 小野田 泰明君 (東北大学大学院助教授)	
	せんだいメディアテーク	正会員 伊東 豊雄 君 (伊東豊雄建築設計事務所代表取締役) 正会員 佐々木 睦朗君 (名古屋大学大学院教授)	
	ひらたタウンセンター	正会員 富永 讓 君 (富永讓+フォルムシステム設計研究所 代表)	

技 術	建築物の損傷制御構造の研究・開発・実現	正会員 川合 廣樹 君 (EQEインターナショナル シニアマネージャー) 正会員 岩田 衛 君 (神奈川大学教授) 正会員 和田 章 君 (東京工業大学教授)
	環境共生住宅の研究開発・実践および普及に関する一連の業績	正会員 岩村 和夫 君 (武蔵工業大学教授)
	木造住宅の耐震診断法の研究・開発および普及・啓蒙活動に関する業績	正会員 坂本 功 君 (東京大学教授)
業 績	建築物の耐久・維持保全技術の開発および普及に関する一連の業績	正会員 楡木 堯 君 ((財)ベターリビング理事 / 同筑波建築試験センター所長)

応募推薦件数 論文 36 件, 作品 108 件, 技術 10 件, 業績 14 件

3.3 2003 年日本建築学会奨励賞

表彰業績名	受賞者
建設プロジェクトにおける入札戦略に関する研究 ～公開された入札データから読みとれる入札者の行動～	正会員 岩松 準 君 (佐藤工業)
マレー半島の村落における住空間の民族性と多様性 マレーシアの多民族混住と居住空間計画 その3	正会員 宇高 雄志 君 (広島大学)
曲げ降伏後の大変形繰返し載荷を受ける RC 梁部材の スリップ域における横方向歪蓄積により発生する破壊の メカニズム	正会員 衣笠 秀行 君 (東京理科大学)
円形闘技場街区を構成する建物単位と遺構の住居化の手 法についてルッカの古代ローマ円形闘技場遺構の住居化 に関する研究 その2	正会員 黒田 泰介 君 (関東学院大学)
建築プロジェクトの調達における定量的リスク分析と評 価に関する研究	正会員 蔡 宗潔 君 (京都大学)
中国における「非一明両暗」型住宅の平面構成及び住ま い方に関する研究	正会員 周 南 君 (北九州市立大学)
炭化ワラ材料の透気特性および熱的特性 環境調和型建築部材としての炭化ワラ材料を用いた「息 をする壁体」の提案 その1	正会員 田中 稲子 君 (名古屋工業大学)
若材齢コンクリートのクリープ及び拘束変形特性	正会員 中村 成春 君 (宇都宮大学)
改良・建築 - 都市 - 土壌連成系モデル (AUSSSM) による 都市高温化の構造解析 第1報 モデルの理論構成及び標準解	正会員 萩島 理 君 (九州大学)
建材からの揮発性有機化合物の発生ガス特性 環境条件による発生ガスへの影響に関する研究 その1	正会員 朴 俊錫 君 (国立保健医療科学院)
室空間における空間欠損と容積の知覚・印象評価の關係 に関する基礎実験	正会員 橋本 雅好 君 (平安女学院大学)
社会的に要求される耐震安全性レベルの確率論的評価 - ユーザーの要望をふまえた性能設計の構築に向けて -	正会員 平田 京子 君 (日本女子大学)
寛永7年島津邸御成における御殿の構成と式次第	正会員 藤川 昌樹 君 (筑波大学)

静的水平加力試験に基づく伝統的木造建築の組物の履歴モデルと剛性評価	正会員 藤田 香織 君 (東京都立大学)
繰り返し水平載荷を受ける立体骨組の対称限界および構面内拳動限界解析法	正会員 榎井 健 君 (関西大学)

応募件数 55 件 (構造 17 件 , 環境 10 件 , 計画 28 件)

3.4 2003 年日本建築学会作品選奨

表彰業績候補	受賞候補者
ふくしま海洋科学館 アクアマリンふくしま	正会員 浅石 優 君 (日本設計建築設計群チーフアーキテクト) 正会員 篠崎 淳 君 (日本設計第2建築設計群主任技師)
馬頭町広重美術館	正会員 隈 研吾 君 (隈研吾建築都市設計事務所代表取締役)
宮城県迫桜高等学校	正会員 小嶋 一浩 君 (シーラカンズアンドアソシエイツ/ 東京理科大学助教授) 正会員 三瓶 満真 君 (インフィールド一級建築士事務所 代表取締役) 正会員 赤松 佳珠子君 (シーラカンズアンドアソシエイツ) 正会員 新谷 真人 君 (オーク構造設計代表取締役) 正会員 高間 三郎 君 (科学応用冷暖研究所所長)
白いアトリエ	正会員 坂本 昭 君 (坂本昭・設計工房CASA主宰)
黒の家	正会員 千葉 学 君 (東京大学助教授)
屋根の家	正会員 手塚 貴晴 君 (手塚建築研究所) 正会員 手塚 由比 君 (手塚建築研究所) 正会員 池田 昌弘 君 (池田昌弘建築研究所代表取締役)
いきいきらんど下條	正会員 中村 勉 君 (中村勉総合計画事務所代表取締役)
SME六番町ビル	正会員 橋本 緑郎 君 (大成建設設計本部設計グループ室長) 正会員 塚田 哲也 君 (大成建設設計第7部設計室室長) 正会員 伊勢 季彦 君 (大成建設設計本部設計今里グループ アーキテクト)
札幌ドーム	正会員 原 広司 君 (原広司+アトリエ・ファイ建築研究所)

Hoop	正会員 古川 博司 君 (竹中工務店大阪本店 設計部プリンシパルアーキテクト) 正会員 池田 猛 君 (竹中工務店設計部主任)
ジグハウス / ザグハウス	正会員 古谷 誠章 君 (早稲田大学教授)
武蔵野市立0123はらっぱ	正会員 横河 健 君 (横河設計工房代表取締役)

作品選集掲載作品 98 件

3.5 2003 年日本建築学会文化賞

表彰業績名	受賞者
出版・編集を通して建築文化の普及・啓蒙に貢献した業績	植 田 実 殿 (フリ - 編集者)
地震防災における日米技術交流に関する貢献	Shih Chi Liu 殿 (米国科学財団)
北九州市の近代化遺産の保全と文化的活用に関する貢献	末 吉 興 一 殿 (北九州市長)

推薦件数 8 件

3.6 2003 年日本建築学会優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞

(タジマ建築教育振興基金対象事業)

部	部門	論文名	受賞者
学部	構造	地域の地盤環境を考慮した最適な耐震設計手法に関する研究	正会員 清水 友香子 君 (東北大学)
		増築層免震システムによる既存建築物の耐震性能向上法	正会員 西村 智賢 君 (京都工芸繊維大学)
	計画	近代と歴史建築 ル・トロネ修道院を例とした19世紀修復の実際	正会員 榎並 悠介 君 (京都工芸繊維大学)
		江戸の自然マネジメントと庭園文化について 明治の自然条件をもとにして	正会員 片桐 亮 君 (慶應義塾大学)
		応急仮設住宅の建設過程に関する研究	正会員 狩谷 のぞみ 君 (筑波大学)
		東京の露店収容建築に関する研究	正会員 高橋 亨 君 (法政大学)
		洪水常襲地帯の集落における屋敷の空間構成に関する調査研究	正会員 萩原 政人 君 (日本大学)
		Webを活用した都市生活者に対する防災教育	正会員 福井 実央 君 (日本女子大学)
		地域公共図書館における開架フロアのゾーニング手法に関する研究 ポピュラーライブラリーエリアを核としたActiveゾーン創出の可能性と有効性	正会員 福澤 祥子 君 (有明工業高等専門学校)
		交流を生む戸外で行われる日常生活に関する研究 広島県鞆の浦における地域性と生活スタイルの変化を中心に	正会員 藤本 ふみ 君 (東京大学)
		都心部における小・中規模の低・未利用地有効利用促進策の実態評価 都市基盤整備公団と民間都市開発推進機構に着目して	正会員 村上 篤 君 (横浜国立大学)

環境	直射光を考慮したエアーフロー窓スクリーン性能の評価法	正会員 伊藤 大輔 君 (東海大学)
	高齢者施設の居室における介護臭の特性と脱臭方法に関する研究	正会員 黒田 健一 君 (大同工業大学) 正会員 杉山 史典 君 (大同工業大学)
	越屋根の風力換気性能に関する研究	正会員 田辺 慎吾 君 (大阪大学)
構造	線形座屈荷重を目的関数とした単層ラチスシェルの形状最適化	正会員 立石 理恵 君 (東京工業大学)
	多入力多出力モデルに基づく建築構造物の健全性診断	正会員 吉元 怜毅 君 (慶應義塾大学)
計画	柳井小田家にみる近世商家の成立とその形成過程 屋敷の変遷と架構形式に関する建築史的研究	正会員 生田 光晴 君 (山口大学)
	大都市圏における孤立住宅地の居住環境とその存続に関する研究 大阪府を事例に	正会員 河目 浩樹 君 (大阪大学)
	近代以降の積層集合住宅におけるバルコニーの変遷と国際的普及に関する研究	正会員 熊谷 亮平 君 (東京大学)
	遺構調査に基づいた花街建築に関する研究 東京35花街を事例とした花街分析と花街現況調査	正会員 清水 七奈子君 (横浜国立大学)
	建替団地における「戻り居住者」の住まい方・居住性評価に関する時間的変化の考察 公的賃貸住宅の建替計画にむけた調査研究	正会員 曾根 里子 君 (文化女子大学)
	劇場の周辺環境と鑑賞前後の行動との関係	正会員 遠山 直子 君 (東京工業大学)
	住宅の設計主体の変容に関する研究 明治・大正期における栃木県の大工の活動を中心に	正会員 速水 清孝 君 (東京大学)
	建設廃棄物リサイクルの市場形成に関する基礎的研究 事業者情報の運用と公開のシステム設計	正会員 人見 浩彰 君 (東京大学)
	介護単位の小規模化がケアおよび入居者の生活展開に与える影響に関する研究 既存型特別養護老人ホームにおける事例研究を通して	正会員 山田 雅之 君 (京都大学)
	環境	家庭用コージェネレーションシステムの最適計画に関する研究
複合熱源による高効率な地域冷暖房システムに関する研究		正会員 長嶋 憲治 君 (横浜国立大学)
室内空気質簡易評価法の開発		正会員 松本 仁 君 (早稲田大学)
自然換気・火災安全性からみた煙突効果の利用と制御 ソーラーチムニー型自然換気システムを利用した煙制御の可能性の検討		正会員 峯岸 良和 君 (早稲田大)

分野別受賞論文数 (総応募数 208 編 / 57 大学)

	構造系	計画系	環境系	合計
卒業論文	2編 (11)	9編 (57)	3編 (16)	14編 (84)
修士論文	2編 (19)	9編 (77)	4編 (28)	15編 (124)
合計	4編 (30)	18編 (134)	7編 (44)	29編 (208)

() 内の数字は応募論文数

4. 支部共通事業

4.1 講習会

建築基礎構造設計例集改訂講習会

<主 催> 日本建築学会

<後 援> 国土交通省、開催地都道府県、地盤工学会、都市基盤整備公団、日本建築家協会、日本建築士事務所協会連合会、開催地建築士事務所協会、日本建築士会連合会、開催地建築士会、建築業協会、全国建設業協会、全国地質調査業協会連合会、日本基礎建設協会、日本建築構造技術者協会、鋼管杭協会、コンクリートポール・パイル協会、コンクリートパイル建設技術協会

<主 旨>

本会では、建築基礎構造技術者・設計者のための「建築基礎構造設計指針」および「建築基礎構造設計例集」の刊行を通じ、実務に極めて有効なテキストとの評価を受け、普及に大いに貢献してきた。

今般、2001年の「建築基礎構造設計指針」改定を受け、「建築基礎構造設計例集」改訂版を刊行するものであるが、その内容は「建築基礎構造設計指針」の改定ポイントを設計例を通して具体的かつ詳細に提示し、直接基礎5例、杭基礎8例、併用基礎2例の計15例の新たな設計例を取り上げ、各設計例での記述内容の充実を図ったものとなっている。

本会では、「建築基礎構造設計例集」改訂版を社会に向け普及啓発をはかるため、行政担当者、関連技術者等はもとより幅広い方々を対象とした講習会を開催するものである。

<講 師> 梅野 岳、青木 雅路、小椋 仁志、小林 勝己、青木 功、伊藤 栄俊、木原 幸紀、許斐 信三、齊藤喜一郎、阪上 浩二、常木 康弘、松尾 雅夫

<テキスト> 建築基礎構造設計例集（改訂版）

<開催地等>

支 部	開催地	期 日	会 場	参 加 者
北海道	札 幌	3月3日(水)	北海道大学学術交流会館	56名
東 北	仙 台	3月2日(火)	仙台市シルバーセンター	59名
関 東	東 京	2月17日(火)	建築会館ホール	331名
東 海	名古屋	3月3日(水)	昭和ビル9Fホール	72名
近 畿	大 阪	3月4日(木)	大阪科学技術センター	136名
中 国	広 島	3月5日(金)	広島商工会議所	65名
九 州	福 岡	2月19日(木)	福岡建設会館	99名
合 計				818名

4.2 設計競技

<課 題> 「みち」

<主 催> 日本建築学会

<後 援> 日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、建築業協会

<主 旨>

「みち」は古来、社会の営みや人々の暮らしと深く結びついて、それぞれの時代の文化を表現してきました。しかし、20世紀には、産業のため、自動車交通のための道路づくりの発想が優先され、人間が置き去りにされることが多かったと言わざるをえません。「みち」の居心地のよさも場所の個性も失われがちでした。

そして21世紀。環境や社会に対する人々の考え方は大きく変わり、まちづくりや生活空間のデザインについても、より自由な立場から想像力豊かに構想すべき時代を迎えています。それを象徴的に「みち」に表現してみたいと思います。この設計競技では、「みち」の既成概念を取り外し、私たちの21世紀を創り出すような新しく広がる空間を提案してください。

<全国審査員> 陣内秀信、阿部仁史、石田道孝、伊香賀俊治、稲葉 実、植野 糾、角館政英、佐々木葉、宮本佳明、安山宣之

<全国入選者>

応募資格……個人会員

賞	会員	氏名(:代表者)	所属	応募支部
最優秀賞 島本源徳賞	正会員	山田 智彦	千葉大学大学院	関東支部
	"	加藤 大志	"	
	"	陶守 奈津子	"	
	"	末廣 倫子	"	
	"	中野 薫	"	
	"	鈴木 葉子	"	
	"	廣瀬 哲史	"	
最優秀賞	準会員	宮崎 明子	東京理科大学	関東支部
	"	溝口 省吾	"	
	"	細山 真治	"	
最優秀賞	正会員	横川 貴史	広島工業大学大学院	中国支部
	"	久安 邦明	"	
	"	安井 裕之	"	
優秀賞	正会員	市川 尚紀	東京理科大学	関東支部
	"	石井 亮	東京理科大学大学院	
	"	石川 雄一	"	
	"	中込 英樹	"	
優秀賞	準会員	表 尚玄	大阪市立大学	近畿支部
	"	今井 朗	"	
	正会員	河合 美保	"	
	"	今村 顕	大阪市立大学大学院	
	"	加藤 悠介	"	
	"	井上 昌子	"	
	"	西脇 智子	"	
	"	宮谷 いずみ	"	
優秀賞	準会員	稲垣 大志	大阪市立大学	九州支部
	"	酢田 祐子	"	
	準会員	松川 洋輔	日本文理大学	
	"	嵯峨 彰仁	"	
	"	川野 伸寿	"	
	"	持留 啓徳	"	
佳作	正会員	木村 敏浩	日本大学大学院	関東支部
	"	紅林 佳代	"	
佳作	準会員	森川 真嗣	国立明石工業高等専門学校	近畿支部
佳作	正会員	戸川 高德	大阪工業大学大学院	近畿支部
	"	木戸 康人	"	
佳作	正会員	小川 哲弘	大阪大学大学院	近畿支部
	"	野田 良太	"	
	"	平野 裕司	"	
	"	西森 史裕	"	
佳作	正会員	内平 隆之	神戸大学大学院	近畿支部
	"	Terdsak Tachaki tkachorn	"	
	"	小畦 雅史	"	
	"	辻 吉彦	"	
佳作	準会員	加藤 哲史	広島大学	中国支部
	"	佐々岡 由訓	"	
	"	松岡 由子	"	

	"	長池 正純	"	
タジマ奨励賞	準会員	宮崎 明子	東京理科大学	関東支部
	"	溝口 省吾	"	
	"	細山 真治	"	
タジマ奨励賞	準会員	中井 達也	大阪大学	近畿支部
	"	桑原 悠樹	"	
	"	尾杉 友浩	"	
	"	西澤 嘉一	"	
タジマ奨励賞	準会員	森川 真嗣	国立明石工業高等専門学校	近畿支部
タジマ奨励賞	準会員	加藤 哲史	広島大学	中国支部
	"	佐々岡 由訓	"	
	"	松岡 由子	"	
タジマ奨励賞	準会員	長池 正純	"	中国支部
	"	内田 哲広	広島大学	
	"	久留原 明	"	
	"	松本 幸子	"	
タジマ奨励賞	準会員	割方 文子	"	中国支部
	"	宮内 聡明	日本文理大学	
	"	大西 達郎	"	
	"	嶋田 孝頼	"	
タジマ奨励賞	"	野見山 雄太	"	四国支部
	"	田村 文乃	"	
	準会員	松浦 琢	九州芸術工科大学	
タジマ奨励賞	準会員	前田 圭子	国立有明工業高等専門学校	九州支部
	"	奥薗 加奈子	"	
	"	西田 朋美	"	
タジマ奨励賞	準会員	田中 隆志	九州職業能力開発大学校	九州支部
	"	古川 晋作	"	
	"	保永 勝重	"	
	"	田端 孝蔵	"	
	"	吉岡 雄一郎	"	
	"	井原 堅一	"	
タジマ奨励賞	準会員	大脇 淳一	"	九州支部
	"	松川 洋輔	日本文理大学	
	"	嵯峨 彰仁	"	
	"	川野 伸寿	"	
	"	持留 啓徳	"	
	"	国頭 正章	"	
"	雑賀 貴志	"		

支部	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	合計
応募数	3	1	100	11	21	67	32	10	43	288
支部入選数	1	0	19	4	5	15	8	3	10	65

応募数：288作品、支部入選数：65作品
 全国入選数：12作品、タジマ奨励賞：10作品

<備考>

全国入選作品および審査講評は「建築雑誌 12月号」に掲載の他、「優秀作品集」を2004年8月に刊行予定。
 (タジマ奨励賞は、学部学生(それに準ずる)個人またはグループを対象とする)

4.3 全国大学・高専卒業設計展示会（第44回）

出展校 大学：131校（学科）／短大：10校／高専：13校／能開大：3校 計157校

開催支部	開催地	開催会場	開催期日	参観者数
北海道	旭川	北海道東海大学	5月23日（金）～25日（日）	638名
	室蘭	室蘭工業大学学生会館・多目的ホール	5月28日（水）～30日（金）	200名
	札幌	北海道大学工学部建築都市学科3階D31室	6月6日（金）～8日（日）	70名
	釧路	釧路工業高等専門学校製図室	11月11日（火）～14日（金）	100名
東北	秋田	秋田県立大学本荘キャンパス	10月30日（木）～11月1日（土）	150名
	八戸	八戸工業大学建築工学科棟2階製図室	10月18日（土）～19日（日）	345名
	郡山	日本大学工学部50周年記念館	10月16日（木）～18日（土）	150名
	山形	東北芸術工科大学	11月10日（月）～14日（金）	1,000名
	仙台	東北工業大学5号館5階T.I.T.ギャラリー	12月2日（木）～5日（金）	154名
関東	宇都宮	宇都宮大学工学部	7月9日（水）～11日（金）	142名
	東京	東京電機大学工学部建築学科7号館10階製図室	9月10日（水）～13日（土）	314名
	前橋	前橋工科大学工学部新研究棟1階製図室1・2	10月22日（水）～25日（土）	428名
	足利	足利工業大学8号館第2製図室	11月1日（土）～3日（月）	150名
東海	津	三重大学三翠ホール	5月8日（木）～12日（月）	355名
	春日井	中部大学体育館	9月5日（金）～7日（日）	1,091名
北陸	長野	信州大学工学部社会開発工学科西棟	10月6日（月）～8日（水）	40名
	福井	福井県立美術館第3展示室	7月24日（木）～27日（日）	147名
	石川	金沢工業大学ライブラリーセンター	12月11日（木）～19日（金）	790名
	新潟	新潟大学工学部建設学科5階製図室	9月30日（火）～10月3日（金）	250名
近畿	大阪	大阪市立住まいのミュージアム企画展示室	6月18日（水）～29日（日）	850名
	神戸	神戸芸術工科大学本館1階KDUギャラリー	1月14日（水）～21日（水）	150名
中国	米子	米子工業高等専門学校建築学科	8月30日（土）～9月2日（火）	241名
	広島	広島県民文化センター第1展示室	12月3日（水）～7日（日）	650名
四国	高知	国際デザイン・ビューティカレッジ4階ガウディホール	7月22日（火）～25日（金）	81名
	高松	香川県庁1階ギャラリー	8月18日（月）～21日（金）	400名
	徳島	専門学校穴吹カレッジ	8月26日（火）～28日（木）	50名
九州	沖縄	琉球大学工学部環境建設工学科製図室	5月6日（火）～9日（金）	352名
	熊本	熊本大学工学部共同製図室	6月4日（水）～6日（金）	430名
	大分	大分大学工学部福祉環境工学科棟2階製図室	6月16日（月）～20日（金）	120名
	長崎	長崎総合科学大学人間環境学部2階製図室	6月27日（金）～7月1日（火）	500名
	鹿児島	鹿児島県歴史資料センター黎明館第2特別展示室	9月24日（水）～27日（土）	108名
	福岡	九州産業大学工学部建築学科建築製図室	7月12日（土）～16日（水）	239名
32会場			延べ参観者数	10,685名

5. 会 誌

5.1 建築雑誌

建築雑誌 12冊, 作品選集 1冊, 総合論文誌 1冊

総ページ数 1,998ページ

総発行部数 470,350部

- 2003年 4月号(第1504号) 建築コストと市場 バブル崩壊後の展開と将来
5月号(第1505号) 建築物の総合環境性能表示
6月号(第1506号) 建築の新しさはどこから生まれるか
7月号(第1507号) 建築形態の数理
8月号(第1508号) 日常環境の心理と行動 実験室からフィールドへ
9月号(第1509号) 建築年報2003
10月号(第1510号) 高齢社会のデザイン
11月号(第1511号) 建築構造学の夢と憂い
12月号(第1512号) 建築を学ぶ人たちへ
- 2004年 1月号(第1513号) 学会は法律の立案・運用にいかにかかわってきたか
2月号(第1514号) 通史をどう書くか?
増刊(第1515号) 総合論文誌 第2号「災害からの復興と防災フロンティア」
増刊(第1516号) 作品選集2004
3月号(第1517号) 新 省エネルギー建築

5.2 作品選集

希望配布 16,341名 (個人:14,879名 法人:1,462名)

・総頁数 250頁

・印刷部数 17,350部

応募数・掲載数

支部別	応募数	掲載数
北海道	13	4
東北	15	5
関東	89	37
東海	21	9
北陸	14	6
近畿	45	18
中国	11	6
四国	9	5
九州	23	9
海外	1	0
合計	241	99

5.3 総合論文誌

学术论文の他にテーマに即した論説、実例、レビュー等を掲載。

- ・第2号 災害からの復興と防災フロンティア
- ・総頁数 136頁
- ・印刷部数 35,500部

学术论文の応募数・掲載数

セッション	応募数	掲載数
地震災害	10	3
土砂災害	1	1
火災	2	2
事故・人為災害	1	1
その他自然災害一般	4	2
合計	18	9

6. 学 術 振 興

6.1 論 文 集

日本建築学会構造系論文集12冊，日本建築学会計画系論文集12冊，日本建築学会環境系論文集12冊。
1題当たり5～8頁として下記各号に掲載発行。

(1) 発行回数および号数	12回 No.566～577		
(2) 応募掲載数	構造系論文集	応募数 308題	掲載数 291題
	計画系論文集	" 491題	" 335題
	環境系論文集	" 219題	" 163題
(3) 総頁数	構造系論文集		2,222頁
	計画系論文集		2,514頁
	環境系論文集		1,170頁
(4) 総発行部数	構造系論文集		50,950部
	計画系論文集		54,400部
	環境系論文集		27,550部
(5) 論文予約購読者(個人)	構造系論文集		2,695名
	計画系論文集		2,742名
	環境系論文集		524名
	2系列(構造+計画)		63名
	2系列(計画+環境)		377名
	2系列(環境+構造)		143名
	3系列(構造+計画+環境)		574名
(6) 年決め予約購読者(法人)			428名

6.2 大会学術講演梗概集

(1) 冊子版

1題当たり2頁(オーガナイズドセッション希望者は1題当たり4頁)として，A-1～F-2の12分冊に大別，論文予約購読者，年決め予約購読者，発表登録者に希望配布。

	掲載題数	ページ数	発行部数
A-1(材料施工)	557題	1,114頁	1,770部
A-2(防火，海洋，情報システム技術)	271題	596頁	1,150部
B-1(構造)	480題	960頁	1,780部
B-2(構造)	518題	1,036頁	1,640部
C-1(構造)	609題	1,218頁	1,830部
C-2(構造)	545題	1,090頁	1,640部
D-1(環境工学)	532題	1,080頁	1,680部
D-2(環境工学)	631題	1,302頁	1,820部
E-1(建築計画)	576題	1,152頁	1,750部
E-2(建築計画，農村計画，教育)	385題	792頁	1,400部
F-1(都市計画，建築経済・住宅問題)	670題	1,370頁	1,950部
F-2(建築歴史・意匠)	359題	718頁	1,610部
計	6,133題	12,428頁	20,020部

(2) CD-ROM版

構造系，計画系，環境系の3枚に大別，論文予約購読者，年決め予約購読者に3系列を配布。発表登録者に当該発表梗概が掲載されている1系列と環境系を配布。

	掲載題数	発行枚数
構造系（材料施工，構造）	2,709題	10,830枚
計画系（建築計画，農村計画，都市計画，建築経済・住宅問題，建築歴史・意匠）	1,973題	10,770枚
環境系（防火，環境工学，海洋，情報システム技術，教育）	1,451題	13,570枚
計	6,133題	35,170枚

6.3 技術報告集

技術報告集2冊，1題当たり4～6頁として下記各号に掲載発行。

(1)発行回数および号数	2回 No.17～18
(2)応募数	222題
(3)掲載数	193題
(4)総頁数	1,066頁
(5)総発行部数	5,100部
(6)技術報告集予約購読者（個人）	2,174名
(7)技術報告集予約購読者（法人）	129名

応募数・掲載数

部門名	応募数	17号	応募数	18号
		掲載数		掲載数
材 料 施 工	15	12	5	5
構 造	23	21	23	21
防 火	7	7	2	1
環 境 工 学	19	17	19	14
建 築 計 画	24	20	13	10
農 村 計 画	0	1	2	1
都 市 計 画	14	13	12	9
建築経済・住宅問題	2	2	5	5
建 築 歴 史・意 匠	3	2	4	4
海 洋	0	0	1	1
情報システム技術	4	5	4	4
教 育	7	5	4	4
災 害	8	7	2	2
計	126	112	96	81

6.4 英文論文集

Journal of Asian Architecture and Building Engineering 2冊

1題当たり6頁として下記各号に掲載発行。

(1)発行回数および号数	2回 3号（Vol.2，No.1）4号（Vol.2，No.2）
(2)応募数	106題
(3)掲載数	53題
(4)総頁数	398頁
(5)総発行部数	3,700部
(6)英文論文集予約購読者（個人）	1,121名
(7)英文論文集予約購読者（法人）	53名

応募数・掲載数

分野	学会名	応募数	3号	応募数	4号
			掲載数		掲載数
材料・構造	日本建築学会	2	1	2	1
	大韓建築学会	0	0	0	0
	中国建築学会	1	1	0	0
	その他	0	0	2	1
環境工学	日本建築学会	13	8	11	5
	大韓建築学会	1	1	0	0
	中国建築学会	9	5	5	2
	その他	0	0	0	0
計 画	日本建築学会	10	6	8	6
	大韓建築学会	4	2	6	3
	中国建築学会	1	0	0	0
	その他	1	1	1	0
建築歴史・意匠	日本建築学会	10	4	8	1
	大韓建築学会	3	3	5	1
	中国建築学会	0	0	0	0
	その他	1	0	2	1
小 計		56	32	50	21

6.5 研究補助・研究助成

(1) 本会が受けた研究補助・研究助成等

1. 平成15年度文部科学省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」
 - 1) 親と子の建築講座 建築の秘密～かたちとつよさ～ 300,000 円
 - 2) 親と子の建築講座 山形レトロ館めぐり 300,000 円
 - 3) 親と子の建築講座 手作りの測量機器で長さや土地の広さを測ろう 300,000 円
 - 4) 宮城野通まちたんけん - 新しい仙台の玄関口としてのまちづくりを考えよう 300,000 円
 - 5) 大地震を想定した都市防災・復興方策を考える(その2) 510,000 円
～事前・事後の防災・復興都市計画～
2. 平成15年度国土交通省補助金「公営住宅等関連事業推進事業」
住宅内のエネルギー消費に関する調査研究 20,000,000 円
3. 平成14年度日本学術振興会科学研究費補助金「研究成果公開促進費」
Expanded AMeDAS Weather Data の刊行 1,000,000 円

(2) 2003年度支部研究補助

この研究補助は支部の研究補助をはかるもので、次の研究に総額180万円の研究費を補助した。

支 部	研 究 題 目	研 究 責 任 者	補助額
北海道	有珠火山周辺地域における住宅移転策の防災・コミュニティ形成・まちづくり計画からの考察	岡田成幸 (北海道大学)	20万円
東 北	東北地方の歴史的建築に関する基本情報のデータベース構築	高橋恒夫 (東北工業大学)	20万円
東 海	駿河国における工匠の活動に関する調査・研究	新妻淳子 (日本建築専門学校)	20万円
北 陸	離散化極限解析法による立体架構の3次元弾塑性解析	田中里子 (新潟大学)	20万円

近畿	京阪神のヒートアイランド緩和施策の評価研究	芝池英樹 (京都工芸繊維大学)	20万円
	循環型社会形成を目指す農業NPO・環境教育団体の動向とその役割研究	重村 力 (神戸大学)	20万円
中国	中国地方の住民参加型街づくりに関する研究	大森豊裕 (近畿大学)	20万円
四国	まちづくりワークショップによる市民参画手法の開発	大谷英人 (高知工科大学)	20万円
九州	広域市町村合併と都市計画の方向性	佐藤誠治 (大分大学)	20万円
8支部	9件	総合計	180万円

(3) 2003年度特色ある支部活動企画

特色ある支部活動企画に対して、2支部に100万円を補助した。

支部	企画名	助成額
東海支部	歴史的木造密集市街地における住民参加型地震防災まちづくりの意識啓発活動	60万円
四国支部	旧善通寺偕行社(重要文化財)を中心とした周辺施設調査研究	40万円

(4) 竹中育英会建築研究助成

この研究助成は、若手研究者の今後に期待できる研究を助成するもので、今年度は下記10件の研究に対して助成された。(応募件数75件)

部門	研究課題	研究者	助成額
1 材料施工	ひび割れと鉄筋腐食の相互作用を考慮したRC構造物の劣化シミュレーション	田嶋 和樹 (日本大学大学院)	50万円
2 構造	転倒降伏耐震壁を有する建物に関する実験的及び解析的研究	上枝 豊 (九州大学大学院)	50万円
3 防火	火災時におけるコンクリートの熱・水分移動による微細構造の挙動メカニズム解析に関する研究	高 正遠 (東京大学大学院)	50万円
4 環境工学	数値計算による拡散係数の同定及び拡散性指標を用いた音場評価に関する研究	小坂 慶之 (東京大学大学院)	50万円
5	自然換気併用型タスクアンビエント空調に関する研究	花野 弘行 (大阪大学大学院)	50万円
6 建築計画	住宅における床暖房の性能検証(コミッションング)	三浦 尚志 (京都大学大学院)	50万円
7	地域比較的考察による集合住宅におけるバルコニーの再考	熊谷 亮平 (東京大学大学院)	50万円
8 都市計画	都市開発からみたウォーターフロント開発の歴史の変遷と成立要因に関する研究	神宮字 良太 (日本大学大学院)	50万円
9	大地震に遭遇した帰宅困難者の経路選択に関する調査 - 新宿から横浜までの帰宅を中心とした分析 -	高田 恵美 (文化女子大学)	50万円
10 建築歴史・意匠	近代日本における温泉都市の形成と展開過程に関する都市史的研究 - 別府および伊豆の諸都市を事例として -	松田 法子 (京都府立大学)	50万円

(2003年6月26日竹中育英会より通知)

(5) その他の研究助成

2003年度 鹿島学術振興財団研究助成

(新規採択2件, 継続採択5件)

	研究課題	研究代表者	助成金額	採択
1	美観制御型の外壁設計システムの開発	野口 貴文 (東大助教授)	100万円	継続採択
2	確率的極限地震動モデルの構築とそれを用いた建築構造物の保有耐震性能評価法	竹脇 出 (京大助教授)	120万円	継続採択
3	ヒートアイランドを緩和する建物屋根の総合的性能評価に関する研究	森山 正和 (神戸大教授)	100万円	継続採択
4	市街化の進む地域に存在する農業用ため池の多面的な機能と効用の評価	村川 三郎 (広島大教授)	120万円	継続採択
5	戦前期の旧軽井沢別荘地における洋風別荘の成立と展開に関する基礎的研究	内田 青蔵 (文化女子大教授)	100万円	継続採択
6	ソウル市の都市環境に積層された近代化空間の研究	石田潤一郎 (京都工芸繊維大教授)	200万円	新規採択
7	高性能繊維補強コンクリートに埋設された鉄筋の付着すべり挙動に関する研究	三橋博三 (東北大教授)	200万円	新規採択

(2004年3月16日付鹿島財団通知)

7. 委員会活動

7.1 支援会議

(1) 司法支援建築会議

会長・委員長名 委員数 (運営委員会・部会数)	会合数	事業概要
	運営委員会 部会	
会長 仙田 満君 運営委員長 平山 善吉君 44名 (5)	26	(1) 第3回講演会 8章参照 (2) 裁判所への鑑定人・調停委員推薦 (3) 支援会議会員登録と会員証の発行 (4) 裁判所との合同研究会(8回) (5) 「建築技術の現状」「判例事例」目次・執筆者の決定 (6) 建築紛争における判例事例, 技術の現状, 建築事件の調査

(2) まちづくり支援建築会議運営委員会

会長・委員長名 委員数 (運営委員会・部会数)	会合数	事業概要
	運営委員会 部会	
運営委員会 佐藤 滋君 23名 (5)	12	・まちづくり教科書第1巻～第4巻の刊行 ・まちづくり教科書第5巻～第10巻の企画 ・まちづくりセミナーの企画 ・第1回シンポジウム開催 8章参照 ・まちづくり支援建築会議登録メンバ - 活動フォーマット原案の作成 ・他団体のまちづくり事業の調査

7.2 会務関係

(1) 会 務

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
企画運営委員会 仙田 満君 秋山 宏君 11名 (1)	10	本会運営における重要事項の検討
総務・財務運営合同委員会 佐野 幸夫君 小倉 善明君 16名	3	(1) 2002年度事業報告案 (2) 2002年度収支決算・財産目録および未処分金処分案 (3) 建築界の課題と本会の対応 (4) 建築系7学協会の重点課題について (5) 2003年度決算見込み (6) 2004年度事業計画・収支予算編成上の基本方針案

		(7) 2004 年度事業計画・収支予算案 (8) 会員数の動向について (9) 基本・研究部門の主要項目の推移と講習会・出版物収入の動向について (10) 会館テナント状況等について (11) 金銭収支推移一覧表と基金状況について (12) 会費収入と三基金・内部留保金の動向について (13) IT 技術活用戦略の強化について
選挙管理委員会 吉田 治典君 有田 桂吉君 7 名	5	(1) 代議員半数(60 名)改選に伴う選挙執行 (2) 役員(会長, 副会長, 監事)選挙の執行管理
会員委員会 有田 桂吉君 吉田 治典君 14 名 (1)	10	(1) 名誉会員の選考 (2) 会員の経歴(キャリア)登録システムの拡充の検討 (3) 個人情報の保護に関する基本原則の策定 (4) 会員制度について
国際交流委員会 佐野 幸夫君 小倉 善明君 7 名	2	(1) 国際交流振興基金の配分
CIB 委員会 古瀬 敏君 17 名	0	(1) CIB 委員会ホームページの運営
アジア建築交流委員会 布野 修司君 40 名	3	(1) 第 5 回アジアの建築交流シンポジウム(2004.6 松江)開催準備
会館委員会 坪井善道君 西条秀雄君 12 名 (1)	4	(1) 2003 年度整備工事・2004 年度実施予定工事について (2) 中長期修繕計画および会館修繕積立金・会館運営積立金について (3) 2003 年度会館部門収支決算ならびに 2004 年度収支予算について (4) 賃料の検討およびテナント契約解除に伴う新規契約テナントについて

(2) 特別調査

地震防災総合研究特別調査委員会 直井 英雄君 145 名 (5)	本委員会 5 小委員会・WG8 2004.1.9 現在	(1) 研究目的 地震防災研究の重要性に鑑み, 2001 年 4 月より新たに第 1 期特別研究委員会を継続することとなった。本委員会は第 1 期の研究成果を受けて, 次の 3 つの横断的課題を設定し 3 年間研究に取り組むこととした。なお本年度は最終年度のため総括的なまとめを行った。 (2) 研究項目 1) 危険度・耐震安全性評価の総合的な研究 2) 都市防災・復興方策の総合的な研究 3) 都市の防災改善推進方策の総合的な研究 (3) 活動内容 1) 危険度・耐震安全性評価の総合的な研究 建物の耐震安全性の向上と, 大地震発生や強震動の評価結果を積極的に取り入れて建物の適切な安全レベルを選定するための方法や手順を提案する。
---	-----------------------------------	--

		<p>2) 都市防災・復興方策の総合的な研究 防災をテーマとする平時の都市計画と、復興をテーマとする復興都市計画それぞれのシステムとしての充実と関係性の模索 大規模災害時の計画・制度・プログラムが有効に機能するための課題の整理と事前準備 災害に備える地域住民組織・まちづくり専門家・情報技術のあり方</p> <p>3) 都市の防災改善推進方策の総合的な研究 住まい手のイニシャティブによる防災改善の実施を社会が強く求めていることを税制や補助金で見えるようにして促進させるシステムの導入 明らかに問題をはらんでいる木造住宅の(耐震診断と)補強の促進 客観的に自らの住まいと地域の危険度がどの程度であるかが見えるようにしてインセンティブとする仕組みをつくる</p> <p>(4) 講演会 第8回「震災対策技術展」関連講演会 どう活かす地震の教訓 建物の耐震性向上に向けて (2004.2.6 / 横浜国際平和会議場 参加者 200名)</p> <p>(5) 報告会 地震防災に関する総合的な対策の確立に向けて - 地震防災総合研究特別調査委員会活動報告 - (2003.3.19 建築会館ホール 参加者 60名)</p> <p>(6) 公開研究会・シンポジウム 第5回公開研究会「いざという時のための地域コミュニティ形成と支援ツールの現在」(2003.6.6 建築学会会議室) 第6回公開研究会「平成15年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果公开发表(B)」 「大地震を想定した都市防災・復興方策を考える」 (その2)～事前・事後の防災・復興都市計画～ (2003.10.31 建築学会会議室) 第7回公開研究会 「都市防災・復興方策のさらなる展開に向けて」 (2003.12.17 建築学会会議室) 復興支援社会システムミニシンポジウム 「情報開示と全員参加」(2003.11.17 建築学会会議室)</p> <p>(7) 報告書 - 地震防災総合研究特別調査委員会報告書 - (2004.3)</p> <p>(8) 支援 災害発生から復興に至る学会行動計画報告書作成支援 (災害発生から復興に至る学会行動計画特別調査委員会 委員長 副会長友澤史紀)</p>
<p>子どもの心身活性化増進に寄与する環境整備特別調査委員会 仙田 満君 24名 (4)</p>	<p>3</p>	<p>子どもの心身活性化に寄与する環境整備に関する研究 ・子どもを取り巻く生育環境の現状調査 ・子どもの心身活性化度(成育度)の調査 ・子どもの活性と成育環境の調査 ・全国41小学校にアンケート調査の実施 台湾「児童体育公園規範綱要」の策定 ・台湾児童の遊びや運動に関する調査 ・運動能力を向上させる遊び場のモデルプランの検討</p>

W T C 崩壊特別調査委員会 和田 章君 81 名 (3)	8	(1) 成果 世界貿易センター崩壊特別調査委員会報告書 (2) 調査研究 WTC 崩壊に関する構造物崩壊，火災被害，避難，救出，復旧を広範囲に調査検討。
近代建築資料総合調査特別調査委員会 鈴木 博之君 22 名	4	(1) 調査研究 近代建築関連資料の所蔵先の把握と資料リスト作成ならびに資料収集 (2) 報告書作成
建築市場・建築産業の現状と将来展望特別調査委員会 嘉納 成男君 69 名 (3)	16	(1) 調査研究 ・ 建築産業の歴史的経緯と現状把握 ・ 建築および建築行為の社会的役割の理念的検討 ・ 近未来の建築・住宅需要の予測 ・ 良質な建築物を提供する近未来の建築・住宅産業のあり方の検討 (2) 報告書作成 (3) シンポジウム 8 章参照
環境負荷・ライフスタイル特別調査委員会 村上 周三君 吉野 博君 9 名	7	環境負荷・ライフスタイルに関する提言の作成
技術開発と社会認知特別調査委員会 和田 章君 11 名	3	(1) 下記 4 点の調査 ・ 建築基準法の改正に伴って生じている短期的問題 ・ 建築基準法のあり方に関する基本的問題 ・ 建築家・建築技術者の資格制度に関わる問題 ・ 建築確認に関わる問題 (2) 新しい建築技術の開発を促し，社会がこれらを正しく認知し，適用していくための仕組みの提案 (3) 中間報告書ならびに最終報告書作成 (4) 大会関係 1) パネルディスカッション ・ 「施主・設計者・施工者・行政の役割と建築基準法令旧 38 条削除がなげかけた問題」開催および資料作成
シックハウス問題の解明とヘルシーな居住環境の開発特別調査委員会 村上 周三君 12 名	6	・ 室内化学物質空気汚染評価のための調査研究 (1) 東アジアにおけるシックハウス対策と住まい環境に関する実態調査 (2) 各種建物の実態調査汚染負荷調査と医学的影響 (3) 個人被曝量に対する室内汚染の影響に関する研究 (4) 知的生産性に与える影響 (5) 吸着・汚染メカニズム (6) 空気浄化のための設計・施工技術の開発 (7) 問診票と濃度評価法の練成に関する検討 (8) 室内空気化学汚染の評価プログラムの検討
設計者資格等の社会システムに関する検討特別調査委員会 仙田 満君 16 名	7	現行建築士制度をいったん外し、理想的な資格の枠組みづくりを検討
京都の都市景観の再生特別調査委員会 岡崎 甚幸君 14 名	1	「京都の都市景観の再生に関する提言」の推進 ・ 提言をナショナルプロジェクトとして京都の都市景観の創造的再生に結びつけていくため、国、京都市、学協会、NPO 等の関連機関との密接な連携の推進

法律に対処するための枠組み造りに関する特別調査委員会 神田 順君 8名	4	法律との関わりにおいて、学会が果たすべき役割を検討
情報化時代の建築設計のあり方に関する特別調査委員会 和田 章君 8名	5	・情報化時代の建築設計のあり方検討 (1) コンピュータ利用の現状認識 (2) コンピュータ利用の可能性 (3) コンピュータ利用の弊害 (4) 弊害克服の手段 (5) 将来の展望

(3) 表彰関係

表彰委員会 秋山 宏君 11名	1	(1) 2004年各賞表彰業績候補の選考結果を理事会へ報告 ・大賞2件, 学会賞19件(論文10, 作品3, 技術3, 業績3), 奨励賞15件, 文化賞3件, 作品選奨12件 (2) 2005年各賞選考委員役職以外を選出し, 理事会へ報告 ・学会賞27名, 奨励賞12名, 作品選奨2名 (3) 「学会賞(作品)」, 「作品選奨」, 「作品選集」の関係について審議
日本建築学会大賞選考委員会 秋山 宏君 10名	1	2004年日本建築学会大賞2件の選考
日本建築学会賞選考委員会 佐藤 滋君 44名	3	2004年日本建築学会賞候補業績19件(論文10, 作品3, 技術2, 業績4)の選考
日本建築学会奨励賞選考委員会 渡辺 仁史君 笠井 和彦君 24名	4	2004年日本建築学会奨励賞15件の選考
日本建築学会作品選奨選考委員会 平倉 章二君 8名	2	2004年日本建築学会作品選奨12件の選考
日本建築学会文化賞選考委員会 秋山 宏君 10名	1	2004年日本建築学会文化賞3件の選考

7.3 研究関係

(1) 学術関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術推進委員会 友澤 史紀君	9	(1) 学術委員会・調査研究委員会の運営 ・調査研究委員会および特別研究委員会の予算配分

佐藤 滋君 32名		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会改組、小委員会の廃止・設置承認 ・公募委員の承認 ・委員会活動自己評価システムの検討 (2) 特別研究課題の公募 (3) 大会学術関係行事の企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・電子投稿の実施と CD-ROM 梗概集の発行 ・学術講演会プログラム編成 ・研究集会等の企画・運営 ・オーガナイズドセッションの本格導入検討
--------------	--	---

(2) 調査研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
材料施工委員会 高 英雄君 1,062名 (81 / WG 含む)	334 (WG 含む)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 成案 <ul style="list-style-type: none"> 1) 仕様書 <ul style="list-style-type: none"> ・ JASS 12 屋根工事(改) ・ JASS 17 ガラス工事(改) ・ JASS 27 乾式外壁工事(制定) 2) 指針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(改) ・ 鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針(案) 同解説(制定) ・ 建築工事における工程の計画と管理指針(改) 3) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ - メカニズムと対策技術の現状 (2) 建築雑誌への掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ JASS 12 屋根工事改定の概要(建築雑誌 11月号) ・ JASS 17 ガラス工事改定の概要(建築雑誌 11月号) ・ JASS 27 乾式外壁工事制定の趣旨及び経緯(建築雑誌 11月号) ・ 建築工事における工程の計画と管理指針の改定について(建築雑誌 11月号) ・ RILEM 概要紹介(建築雑誌 4,5,7,11月号) (3) 大会研究協議会・パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料・施工教育における課題 ・ JASS 等における環境配慮事項の規定について ・ 性能仕様書への期待と課題 (4) 講習会・シンポジウム等の開催 8章参照 (5) 作成中 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋コンクリート組石造構工法ガイドライン ・ ブロック塀施工ガイドライン ・ 鉄筋コンクリート構造物の施工および品質・維持管理に関する試験方法(仮称) ・ 土・基礎工事「Q&A」集 ・ 高強度コンクリートの調合・製造・施工指針 (6) 改定中 <ul style="list-style-type: none"> ・ JASS5 英文版 ・ JASS2 仮設工事 ・ JASS15 左官工事

		<ul style="list-style-type: none"> ・ JASS19 陶磁器質タイル張り工事 ・ JASS21 ALC パネル工事 ・ JASS24 断熱工事 ・ JASS26 内装工事 ・ 鉄筋コンクリート造ひび割れ対策（設計・施工）指針 ・ 型枠の設計・施工指針 <p>(7) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RIREM, 材料施工分野における環境問題, 土・基礎工事, コンクリート関連 ISO, 電気炉酸化スラグ, 仮設工事, ALC パネル工事, 鉄骨工事, フライアッシュコンクリート, 構造体コンクリート, マスコンクリート, 高強度コンクリート, 型枠, 防水工事, 内外装工事, 自動化施工技術, 建築物の耐久保全
<p>構造委員会 西川 孝夫君 1,889 名 (138 / WG 含む)</p>	<p>675 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁式構造関係設計規準集・同解説（壁式鉄筋コンクリート造編）(改) ・ 木質構造限界状態設計指針（案）・同解説（新） ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブック（新） ・ 鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針（案）・同解説（新） ・ 建築基礎構造設計例集（改） ・ 容器構造設計指針・同解説 英訳版（新） <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造工学論文集 Vol.49 B ・ 連続公開討論会「プレキャストコンクリート構造システム - これからの時代のニーズと可能性 - 」 ・ 第 31 回地盤震動シンポジウム ・ 地震荷重 - 性能設計への展望 - ・ 第 7 回構造物と地盤の動的相互作用シンポジウム ・ シンポジウム「建築基礎のための地盤改良設計指針作成にあたって」 ・ 第 3 回新「シェル・空間構造」セミナー - テンション構造の最近の動向と課題 - ・ 各種建築物の減衰セミナー：評価手法の比較検討と性能設計への応用 ・ シンポジウム「コンクリート系構造の部材解析モデルの設計への応用」 <p>(2) 大会関係（パネルディスカッション開催と資料作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 限界耐力計算を展望する - 耐震計算法の課題をさぐる - ・ 実現象と設計ルール ・ 基礎構造の環境への貢献 - 再利用・再資源化を中心として - ・ 伝統的木構造の構造特性と設計 ・ 鋼構造の性能設計を考える - 耐震・変形限界を中心として - ・ 鋼コンクリート合成構造の合理的な接合法を探る ・ 応答制御技術が開く空間構造デザインの可能性 ・ リスク制御の視点からの構造性能表示 <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催 8 章参照</p>

		<p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用力学シリーズ：最近の建築構造解析理論の基礎と応用（新） ・建築物荷重指針・同解説（改） ・建築物の耐風設計のための流体計算ガイドブック（新） ・建築杭基礎耐震設計の考え方（新） ・小規模建築物基礎設計の手引き（改） ・地盤改良設計指針（新） ・木質構造設計規準・同解説（改） ・伝統的手法を取り入れた新しい木質構造設計の手引き（新） ・鋼構造接合部設計指針（改） ・鋼構造耐火設計指針（改） ・鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針・同解説（英文版）（新） ・コンクリート系構造の部材解析モデルの開発と応用（新） ・プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説（改） ・鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説（改） ・変形性能を考慮した合成構造の耐震設計法（案）（新） ・コンクリート充填鋼管構造設計施工指針（改） ・空間構造におけるコンピュータ利用の新しい試み（新） ・ドーム構造の技術レビュー：事例をとおして最新構造設計技術をみる（新） ・空間構造の動的挙動と耐震設計（新） ・ラチスシェルの座屈と座屈強度（新） ・地震荷重 - 性能設計への展望 - （新） ・やさしい・動的相互作用を考慮した設計法 - 相互作用効果を設計にどのように取り入れるか - （新） ・地盤震動 - 現象と理論 - （新） ・耐震構造設計指針（仮）（案） ・仮設計画設計指針（新） ・壁式鉄筋コンクリート造設計規準・同解説（英文版）（新） ・壁式鉄筋コンクリート造性能評価型設計指針・同解説（新） ・補強メーソンリー性能評価型設計指針・同解説（新） ・壁式構造関係設計規準集・同解説（メーソンリー編）（改） <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震構造性能評価法、コンクリート系複合構造技術 ・時系列リスク管理理論、連続体の不均質・多相問題、力学原理・計算力学、構造設計システムの数理化、力学教育 ・応用確率論、風荷重、積載荷重、積雪荷重、地震荷重、温度荷重 ・杭基礎耐震、地盤改良、地盤調査、基礎構造の限界状態設計法、小規模建築物基礎設計 ・木質構造接合部、伝統構法、教育プログラム ・鋼構造設計、座屈、接合、素材、耐火設計、変形限界設計 ・コンクリート系構造の設計体系、基本問題、新プレキャスト構造、耐震性能評価、基礎部材の構造性能評価、原子力発電建屋 ・プレストレストコンクリート構造耐震設計、部材終局性能・設計法 ・合成構造耐震設計、異種構造接合、SRC 造配筋、コンクリート充填鋼管構造 ・シェル・空間構造の動的挙動、耐震設計、耐震性能、
--	--	--

		<p>骨組構造、連続体構造、構造設計、空間構造計算機応用、テンション構造、応答制御・減衰機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震荷重、地盤震動、基礎構造系振動、耐震設計、構造物の振動制御、強震観測、構造ヘルスマonitoring ・期限付き建築物、地盤アンカー、山留め特殊設計、仮設構造計画 ・シングル配筋部材の構造性能、補強組積造性能評価、壁式鉄筋コンクリート造性能評価
<p>建築歴史・意匠委員会 陣内 秀信君 209名 (17 / WG 含む)</p>	35	<p>(1) 成果</p> <p>1) 大会研究協議会・パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における近世・近代の建築観 ・日本の都市の特質 ・歴史的建築リストの整備と活用に向けて～地域からの報告と問題提起 <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民家・町並ニュース(No.26) <p>3) 見学会・シンポジウム等の開催 8章参照</p> <p>4) DOCOMOMO の選定と発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本におけるモダン・ムーブメントの建築 100 選 (2) 作成中 ・全国民家関係公開施設解説書 ・西洋建築史研究の総括報告書 ・建築論・建築意匠辞典(仮称) ・文化財建造物総目録 ・データベース「海外建築遺産調査研究活動記録」 <p>(3) 改訂中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代建築史図集 ・日本近代建築総覧 ・日本建築史図集 <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物保存・DOCOMOMO 対応・日本建築史・西洋建築史・民家・近代建築史・建築論・建築意匠・批評と理論・都市史・文化遺産災害対策
<p>防火委員会 長谷見 雄二君 246名 (21 / WG 含む)</p>	97	<p>(1) 成果</p> <p>1) 刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「建物の火災診断及び補修・補強方法」の刊行 <p>2) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会「性能による防火設計の現状と将来」の開催 ・オーガナイズドセッションの開催 <p>(2) シンポジウム・セミナー・発表会 8章参照</p> <p>(3) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段加圧排煙ガイドライン ・材料・構造耐火性ガイドブック ・コンクリート系建造物の火災耐力設計指針 <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災安全性能の評価ツールの開発および技術的資料の整備 ・火災を受ける高強度コンクリートの性状に関する文献調査 ・火災被害予測手法，都市防火手法の研究 ・遷移歪を考慮したコンクリートの高温時構成則の定式化並びに火災時部材の耐力評価

		<ul style="list-style-type: none"> ・耐火被覆の耐火性能の観測 ・性能的火災安全設計のケーススタディ ・RC造及びS造の火災診断及び補修法の再評価 ・各種構造（主にアルミ，木に力点を置く）の耐火性に関する情報収集・整理 ・火災性状全般に関する研究基盤・研究環境と成果の応用 ・建物・都市の火災性状に関わる予測モデルに関する情報の収集・分析ならびにデータベース構築 ・建築基準法の性能規定による煙・避難安全検証法を用いたケーススタディー ・各種構造材料（鋼，コンクリート，アルミ，木，ステンレス等）の，火災時を想定した高温性状に関する情報収集・整理
<p>建築経済委員会 嘉納 成男 君 306 名 (87 / WG を含む)</p>	123	<p>(1) 成果</p> <p>1) 資料・報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅のリノベーション ・第 19 回建築生産シンポジウム論文集 ・第 15 回建築生産パネルディスカッション報文集 ・第 1 回建築生産ワークショップ資料 ・第 5 回 PM ワークショップ資料 ・総務省委託研究報告書「非木造家屋に係る再建築費評価点基準表等の改正に係る基礎資料」 ・資産評価システム研究センター委託研究報告書「家屋の評価方法のあり方に関する調査研究」 <p>2) 大会研究協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボレーションによる地域の住まい・まちづくり（大会研究協議会資料） <p>(2) シンポジウム・研究会の開催 8 章参照</p> <p>(3) 調査研究 住宅需要構造・住宅の地方性・集合住宅管理・建築生産・生産管理・生産情報・建設労働・コスト管理・建築企画・建築プログラミング・固定資産評価・プロジェクトマネジメント・ライフサイクルマネジメント・工事監理の社会的役割</p>
<p>環境工学委員会 銚井 修一君 881 名 (70 / WG 含む)</p>	434 (WG 含む)	<p>(1) 成果</p> <p>1) 「建築における電磁シールド材料と施工」刊行</p> <p>2) 建築におけるシールド材料・施工 磁気シールド</p> <p>3) 「ガラスの建築学」刊行</p> <p>(2) 大会研究協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築環境関連の法的トラブルの現状と今後の研究課題 ・防災の視点からのリスクマネジメントと環境対策について 東海地震を控えて（防火委員会・災害委員会と共催） <p>(3) シンポジウム・研究会の開催 8 章参照</p> <p>(4) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIJ 環境基準総則，環境設計基準通則に則った，各分野のアカデミックスタンダード ・「環境心理学学術用語集」 ・「高齢者の温熱環境と健康」 ・「建築の色彩設計ガイド」 ・「ソーラー建築設計ガイドブック」 ・「電波吸収体とその応用」 ・「雨の建築事例集（和文・英文）」

		<ul style="list-style-type: none"> ・「都市・建築計画のための気候学入門」 ・「環境心理尺度ハンドブック」 ・「交流空間のデザイン」 ・「湿気物性の測定法と測定値についての学術規準」 ・「流体数値解析による市街地風環境の予測・評価ガイドブック」 ・「循環型システムにおける水と緑」 ・「室内化学汚染物質による室内空間環境に関する学会規準」 ・「微生物汚染による室内空気環境に関する学術規準」 ・「臭気に関する室内空気環境に関する学術規準」 <p>(5) 調査研究 (調査研究等)</p> <p>音環境(固体音・音響予測法・室内音響・外部騒音、音響数値解析・学校施設の音環境保全)、環境振動(振動測定法・環境振動制御情報・居住性能評価、振動性能評価)、光環境(光環境性能と基準・光環境デザイン・色彩設計・昼光利用計画)、熱環境(伝熱・湿気・温熱感・バイオクリマティック)、空気環境(居住環境空気清浄管理・風環境評価・乱流モデル・自然換気通風・換気測定法)、水環境(住宅水環境性能・廃棄物とゴミ処理・水環境憲章・季節変動と水の資源性利用)、建築設備(タスクアンビエント空調システム・設計用気象データ、設備管理・設備設計図書標準化・建築一体化空調)、都市環境・都市設備(リモートセンシング・総合都市インフラ・環境管理・クールルーフ・クリマアトラス)、環境心理生理(環境生理・環境心理・環境行動・地域環境評価と心理生理・CAD と環境心理)、環境設計(火災防災環境設計・福祉施設)、電磁環境(電磁材料施工・電磁計測評価・磁気シールド・電磁シールド・磁気環境評価)</p>
<p>建築法制委員会 稲垣 道子君 58名 (3)</p>	18	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築法規用教材 2004(改定) <p>(2) 大会研究懇談会 「確認・検査の民間開放(建築基準法執行体制の改変)を考える」の実施</p> <p>(3) シンポジウム・研究会の開催 8章参照</p> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行建築法制度の問題点抽出、改善に向けた提言、あるべき新しい法制度の提案 ・建築法制の普及・教育に資する情報提供 ・建築基準法の集団規定および都市計画法改正により生み出される新たな市街地環境像に関する研究
<p>建築教育委員会 西谷 章君 109名 (7)</p>	62	<p>(1) 大会研究懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・子どもと建築をむすぶミュージアム <p>(2) シンポジウム研修会 8章参照</p> <p>(3) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国建築系大学のカリキュラムについて ・国内外の教育制度と資格制度について ・継続教育について ・ものづくり教育について ・工高、大学、大学院の卒業進路調査について ・人工環境教育について

<p>都市計画委員会 佐藤 滋君 280 名 (23 / WG 含む)</p>	<p>58 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成果 1) 大会関係 研究協議会 ・「100 万都市の再生論とその都市像」の開催 研究懇談会 ・「都道府県都市マスの策定状況からみた都市計画の課題と展望」の開催 パネルディスカッション ・「戦略的キャンパス計画と都市のシナジャイズ」の開催 研究資料 ・「現代の居住地再編と住環境政策」の作成 (2) シンポジウム・研究会・展示会・見学会等の開催 8 章参照 (3) 原案作成 ・「都市防災システム図集(仮)」 ・「アーバンデザイン図集」 (4) 調査研究 ・都市計画教育のあり方に関する調査研究 ・都市設計・計画のプログラム・教材・新たな教育方法の開発に関する調査研究 ・住環境整備に関する調査研究 ・都市景観の計画・実践・研究事例の収集・分析調査 ・20 世紀景観研究の総括調査 ・都市防災システムのあり方に関する調査研究 ・地方都市問題に関する調査研究 ・土地利用に関する調査研究 ・都市形成・計画史に関する調査研究 ・キャンパスの計画とマネジメントに関する調査研究</p>
<p>建築計画委員会 服部 岑生君 702 名 (57 / WG 含む)</p>	<p>240</p>	<p>(1) 成果 ・「計画・設計のための建築情報用語事典」の刊行 ・「空間要素：世界の建築・都市デザイン」の刊行 (2) 大会研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション ・大会研究協議会「情報化は人間の生活空間をどう変えるか」の実施 ・大会 P D 「これからの都市とコンバージョン」の実施 ・大会研究懇談会「持続型居住考」の実施 (3) シンポジウム・研究会・見学会 8 章参照 (4) 作成中 ・「地域施設の国内・海外最新事例集」 ・「防災計画指針(案)」 ・「リデザイン・日本の集合住宅の計画論」 ・「集住の計画学」 ・「教育資源としての劇場」 (5) 調査研究 住宅, 集合住宅, ライフスタイル・住文化, 持続型居住, 比較居住文化, 高齢者居住, 在宅ケア環境, ノーマライゼーション環境, 痴呆性高齢者・グループホーム, 地域施設, 教育施設, 劇場ホール, 医療施設, ワークプレイス研究, 安全計画, 建築人間工学, 空間研究, 環境行動, 設計方法, 計画設計情報, 各部構法, 木造建築構法, オープンビルディングの産業化, 作品評価, 国際化推進, 建築計画の学術体系, 博物館建築, 火葬場施設, ウェイファイディング, 日本型集合住宅(戦後の集合住宅計画)</p>

		<p>事例とそれらの居住環境の変容)の検討,集合住宅ストックの建て替えと再生の事例検討,商品化住宅・マンション供給動向とライフスタイル・住文化からの検討,住宅設計・住空間のあり方に関わる既往の制度との関係の検討,国内における介護保険制度,施設,実践の変化・動向の整理と評価,各国の福祉のまちづくりに関する法制度・規準・動向についての資料収集とその取りまとめ,在宅ケア環境と住宅改修動向に関する現状把握および総合的・体系的な提案,ノーマライゼーションの理論に基づいたまちづくりの在り方の総合的・体系的な提案のための調査研究,公的介護保険制度に伴う各自治体におけるグループホーム建設の動向の把握,幼・小・中学校から生涯学習施設におよぶ教育施設を対象とした教育施設計画・設計のあり方の検討,新たな医療技術や病院管理技術の導入による施設計画条件の検討,性能規定化の実例を通じた安全計画のあり方の調査研究,高齢化社会における建築の安全性に関わる特性の検討,木造住宅構法の生産特性に関する調査・研究,建築作品の評価手法の検討,博物館における建築計画,環境計画,展示計画等の総合的,多面的な調査研究,火葬場施設の建築計画と設計基準の提案を目指す調査研究,人工物一般(人間-環境系)のデザイン方法論に関する調査研究の推進,建築設計におけるコラボレーションの事例の分析デザインの方法論に関する理論的検討の推進,オープンビルディングの工業化と新産業創出のための動向調査と産業形態モデルの立案</p>
<p>農村計画委員会 藤本 信義君 114名 (7/研究会含む)</p>	20	<p>(1) 大会関係 1) 研究協議会 ・「環境資産」としての農山漁村 暮らしが創りだす環境・空間」開催および資料作成 2) ポスターセッション ・「空間構成」「環境の形成と変化」「地域資源の利活用と管理」「住民参加・ワークショップ」実施 3) オーガナイズドセッション ・「ラーバンの概念」実施 (2) シンポジウム・研究会・見学会等の開催 8章参照 (3) 原案作成 ・「集住の知恵」 (4) 調査研究 ・国内外の農村計画における情報交流 ・農村の計画システムに関する調査研究 ・田園地域に立地する建築の地域性と環境共生的・生活文化的なデザイン手法に関する調査研究 ・農村エコシステムの構築・再生・維持のための計画論に関する調査研究 ・集住文化に関する調査研究 ・ラーバンデザインに関する調査研究 ・農的体験を通じた環境教育に関する調査研究</p>
<p>海洋委員会 登坂 宣好君 116名 (10/WG含む)</p>	32	<p>(1) 大会研究協議会 ・『「都市機能補完型海洋建築」の計画と提言』の実施 (2) シンポジウム・研究会の開催 8章参照</p>

		<p>(3) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通研究テーマ「都市機能補完型海洋建築」におけるリスク評価に基づいた設計方法およびそのシステム化，自然共生，快適居住性実現のための建築計画，社会経済性・法制度の整備に関する研究
<p>文教施設委員会 松尾 陽君 13名 (3)</p>	1	<p>受託研究の推進 (・受託研究関係頁参照)</p>
<p>情報システム技術委員会 河村 廣君 386名 (32/WG含む)</p>	127	<p>(1) 大会関係 1) 研究協議会 ・「ユビキタス時代における建築・都市の変容と論理」開催および資料作成 (2) シンポジウム・研究会・見学会等の開催 8章参照 (3) 原案作成 ・「建築を拓く - 建築・都市・環境を学ぶ次世代オリエンテーション - 」 ・「ネットワーク時代における建築情報標準化技術 - 建築生産情報統合ガイドブック・3 - 」 ・「やさしくわかる建築・都市・環境のためのソフトコンピューティング」 ・「複雑系と建築・都市・社会」 (4) 調査研究 ・情報社会とデザインの関係に関する調査研究 ・都市・地域にかかわる空間情報に関する調査研究 ・情報化に対応したファシリティのあり方およびそのマネジメントに有効な IT 活用方法に関する調査研究 ・情報技術を利用したコミュニケーションとコラボレーションによる建築教育の方法に関する調査研究 ・建築 CAD 利用実態調査およびその分析 ・3次元オブジェクト CAD の調査研究 ・建築生産情報システムの新しいモデルの体系化に関する調査研究 ・建設 CALS/EC 関連要素技術の検討 ・ISO、JACIC、C-CADEC、IAI、土木学会等の活動状況分析ならびに情報交換・研究協力 ・AIJ コード改訂原案策定 ・STEP/AP225JIS 化原案策定 ・コンピュータを応用した新しい知的システムに関する調査研究 ・複雑系科学の建築・都市・社会分野への応用的研究 (5) 2004年度日本建築学会(第6回)技術部門設計競技の企画 ・課題「ユビキタス・ネットワーク技術を活用した建築・都市・環境空間システムモデル」</p>
<p>災害委員会 小谷 俊介君 57名 (2/WGを含む)</p>	4	<p>(1) 成果 ・「2003年5月26日宮城県沖の地震災害調査報告 2003年7月26日宮城県北部の地震災害調査報告」刊行 (2) 大会 ・PD「学会本部と各支部の災害直後対応」の開催 ・宮城県沖地震と宮城県北部の地震の被害調査速報会の開催 (3) シンポジウム・研究会の開催 ・8章参照</p>

		<p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した災害情報の交換システムの構築に関する調査・研究 ・災害被害情報等のHP掲載（イラン(Bam)地震、十勝沖地震、台風14号における宮古島の台風被害、宮城県北部を震源とする地震、宮城県沖を震源とする地震、アルジェリア北部の地震、トルコ東部の地震） ・災害（地震・風水害）調査マニュアルの作成 ・イラン・バム地震被害調査 ・宮城県沖地震・宮城県北部地震被害調査 ・各種災害への対応 ・他の災害関連委員会との連携強化
<p>地球環境委員会 仙田 満君 238名 (19/WG含む)</p>	<p>84 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ地球環境建築・専門編3 建築環境マネジメント(新) <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回都市気候対策小委員会公開勉強会「風の道 - 市街地形態と都市の通風・換気 - 」 ・第6回都市気候対策小委員会公開勉強会「ヒートアイランド対策外皮技術の動向 - クールルーフを事例として - 」 <p>(2) 大会関係(研究集会開催と資料作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研協：循環型社会が求める建築の資源循環 ・PD：良好な社会ストック形成のために我が国の建築分野での努力はいかにあるべきか ・PD：地球環境建築・構造からの発信 <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催 8章参照</p> <p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ地球環境建築・専門編1 地域環境デザインと継承(新) ・シリーズ地球環境建築・専門編2 資源・エネルギーと建築(新) ・シリーズ地球環境建築・入門編 地球環境建築のすすめ(英訳版)(新) ・サステナブル・ビルディング普及のための提言 <p>(5) 調査研究</p> <p>サステナブルシティ、地球環境時代の建築設計教育、家庭部門・業務分野での建築分野温暖化対策、建築の資源循環特性の評価方法、構造・材料分野と地球環境問題との関わり、持続可能な建築の事例収集・分析および設計者の意図と評価体系、ヒートアイランドの形成に影響を及ぼす要因およびその対策手法、持続可能でエコロジカルな地域環境形成のための政策、良好な社会ストック形成のための効果的対策、建物のLCA、ソフトウェア・データベースの開発</p>

(3) 特別研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数		事業概要
	本委員会・運営 委員会・小委員 会		
21世紀計画系建築教育特別研究委員会 香山 壽夫君 78名 (5)	8		(1) 調査研究 ・計画系教育の理念と目標の提示 ・計画系教育の教育科目の体系の整理 ・JABEEサブプログラム「建築設計・計画」のキーワードの見直し ・計画系職能像の体系の提示 (2) 大会研究協議会 「建築系建築教育のパラダイム変換」 (研究協議会資料) (3) シンポジウム 8章参照
建築工事の請負契約の適正化に関する特別研究委員会 柳田 克巳君 5名	12		(1) 研究目的 ・請負契約の曖昧さや契約軽視の慣習に起因する問題点と課題の整理 ・請負契約の適正化に向けての研究課題の具体的な設定または提言 ・生産性向上に向けた建設組織のあり方(縦JVなど)についての研究課題の具体的な設定または提言 (2) 研究項目 ・請負契約の曖昧さから派生する問題点の整理 ・欧米等における契約事例の既往研究の調査 ・請負契約の適正化, 建設組織間の関係の適正化に向けた検討課題の抽出・研究 ・生産性向上に向けた建設組織のあり方(縦JVなど)の研究 ・研究課題の具体的な設定や提言のまとめ (3) 成果 建築工事の請負契約の適正化に関する特別研究委員会報告
既存ビルの連結による街並み再生特別研究委員会 藤井 俊二君 41名 (3)	8		(1) 報告書の作成 (2) 調査研究 建築計画ならびに防災上の効果と法規制などの課題研究, 構造的に有効な連結手段の研究, 設備上の有効な連結手段の研究, 規制およびインセンティブの形成に関する研究 (3) シンポジウムの開催 8章参照
中国におけるエネルギー消費と居住環境問題特別研究委員会 渡邊 俊行君 21名	4		(1) 調査研究 中国におけるエネルギー消費と居住環境に関する文献調査, 中国の気象データをもとにした気候マップの作成, 中国の住宅におけるエネルギー消費量と室内環境の調査, 持続可能な環境共生技術の効果に関する検証実験, 各種の省エネルギー技術などの効果に関する数値計算, 持続可能な環境共生技術の設計ガイドライン作成
防犯環境設計特別研究委員会 小出 治君 8名	2		(1) 調査研究 ・日本における防犯環境設計の系譜の調査 ・防犯モデル団地・防犯モデルマンション等の具体的な事例調査

住環境教育特別研究委員会 吉野 博君 17 名	5	(1) 調査研究 学校教育における住環境教育の実態調査と分析、生涯学習のための住環境情報の調査、学校教育における住環境教育用教材の開発に関する検討、住環境教育データベースの試作、住環境教育を実践しているグループの調査
建築基準法・都市計画法特別研究委員会 高見沢 邦郎君 22 名	6	(1) 研究目的 建築基準法・都市計画法の現状の問題点を整理し、建築を巡る両方の望ましい姿について特に都市計画・集団規定の視点で提言を行う。 (2) 研究項目 ・建築基準法、都市計画法における問題点、特に近年の改正による影響を整理 ・既存の法制度導入の歴史的経緯（導入の目的、運用実態） ・事例研究によって地域性を考慮した法制度運用のあり方を検討 ・上記項目を踏まえた、建築基準法および都市計画法の望ましいあり方の提言 (3) シンポジウムの開催 8 章参照
エレベータ利用避難特別研究委員会 矢代 嘉郎君 26 名	10	(1) 研究目的 階段による避難が困難・不可能な身体障害者・病院患者・高齢者等が火災に安全に避難する方法として、エレベーターによる避難計画手法の可能性を追求し、その計画指針案を開発する。従来、火災時にはエレベーターを避難に使わないよう指導されているが、それは、エレベーターの搬送能力の限界に加えて、エレベーター・シャフトへの漏煙、停電によるエレベーター停止、火災階での不意の扉開放等の可能性のためである。研究は、これらの解決のための対策の検討を含む。 (2) 研究項目 ・エレベーターによる避難容量の検討 ・エレベーターシャフトの防煙計画手法・遮煙計算法の開発 ・火災時の避難用エレベーター管制手法の検討 ・エレベーター避難を前提とする避難計画法・避難設計指針の開発

(4) 受託研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術推進委員会 佐藤 滋君 31 名	1	・建築分野の技術研究開発に関する調査
〔文教施設委員会〕 教室等の室内環境に関する調査研究小委員会 上野 淳君 17 名	18	(1) 教室等の室内環境に係る基準等に関する資料の収集及び整理 (2) 教室等の室内環境に係る建築・設備上の問題点の整理及び改善方向の検討 (3) 教室等の室内環境に関する報告書作成

<p>既存学校施設の有効活用に関する調査研究小委員会 藍沢 宏君 40名</p>	<p>12</p>	<p>(1) 既存学校施設の有効活用等の事例収集 耐震補強とともに大規模改造を行って有効活用している事例 地域のシンボリック建築物として学校施設を有効活用している事例 (2) 既存学校施設の有効活用等にあたっての検討等 事例の整理・分析 現地調査 有効活用に関する方針の策定 (3) 調査研究報告書, 事例集等の作成</p>
<p>学校施設の防犯対策に関する調査研究委員会 長澤 悟君 12名</p>	<p>8</p>	<p>(1) 具体的内容及び方法 手引書の作成, 有識者による委員会を設置して実施する。 (2) 調査研究計画 学校施設の防犯対策に関する資料の収集及び整理 学校施設の防犯対策に関する手引書の作成</p>
<p>〔特別委員会〕 住宅内のエネルギー消費に関する調査研究委員会 村上 周三君 121名</p>	<p>本委員会 7 WG37 2004.1.8 現在</p>	<p>1. 住宅内のエネルギー消費に関する全国的調査研究 (1) 住宅のエネルギー消費量実測・データベース化 (2) 住宅内のエネルギー消費機器評価手法の確立 (3) 住宅・住宅のエネルギー消費量予測モデルの開発, 全国都道府県の戸建住宅世帯, 集合住宅世帯を対象に, 住宅内エネルギー消費量の実測と現状把握の実態調査の実施, 予測モデルの開発, データベース化, 機器評価手法の確立を行う (4) アンケート実施(全国4千軒住戸対象) 住宅の住まい方, 環境意識, 地域性等の関係を探るために, 夏季, 冬季の2回にわたる全国4千軒の住戸を対象にアンケートを実施, 住宅のエネルギー消費の実態を捉え分析する。 (委託: 東京電力株式会社・関西電力株式会社・九州電力株式会社委託事業, 国土交通省補助事業) 2. シンポジウム開催 第2回住宅エネルギーシンポジウム 「住まい方とエネルギー消費実態の全国調査」 (2003.6.12 / 建築会館ホール) 3. 報告書 (1) 平成14年度「住宅内のエネルギー消費に関する全国的調査研究」報告書 (2) 平成15年度「住宅内のエネルギー消費に関する全国的調査研究」報告書</p>
<p>〔建築経済委員会〕 固定資産評価小委員会 吉田 倬郎君 25名 (1WG含む)</p>	<p>10</p>	<p>・非木造家屋に係る再建築費評点基準表等の改正に係る基礎資料の作成 ・家屋の評価方法のあり方に関する調査研究</p>
<p>〔材料施工委員会〕 電気炉酸化スラグ骨材品質調査研究小委員会 清水 昭之君 16名</p>	<p>5</p>	<p>・電気炉酸化スラグ骨材を用いた建築用コンクリートに関する調査研究</p>
<p>フライアッシュコンクリート研究小委員会 嵩 英雄君 65名 (4WG含む)</p>	<p>7</p>	<p>・フライアッシュコンクリートの建築構造物への適用に関する研究</p>

〔構造委員会〕 RC構造計算規準（原子力発電建屋）作成小委員会 今井 弘君 43名 （2WG含む）	11（WG含む）	・原子力施設鉄筋コンクリート構造物構造計算の規格策定に関する研究
〔特別委員会〕 公共発注者の業務モデルに関する調査研究委員会 安藤 正雄君 12名	5	・多様化する建築プロジェクト運営方式を活用した公共発注者の業務モデルに関する調査研究
〔特別委員会〕 公団住宅ストックの再生に係る計画手法に関する委託研究委員会 初見 学君 15名	3	・具体事例を対象とした再生計画手法，ならびに計画手法の検討とコンセプトに関する調査研究
〔特別委員会〕 子どもの心身活性化に寄与する環境整備特別調査委員会 仙田 満君 24名	2	台湾「児童体育後援規範綱要」の策定 ・台湾児童の遊びや運動に関する調査 ・運動能力を向上させる遊び場のモデルプランの検討

7.4 学術レビュー関係

委員会名 委員長名 委員数 （運営委員会・小委員会数）	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術レビュー委員会 松藤 泰典君 重村 力君 13名	2	(1) 発表体系のあり方についての検討・策定 1) 技術報告集応募規程改正 2) 総合論文誌応募規程改正 3) 総合論文誌運営規程の一部改正 (2) ピアレビューのあり方の検討・策定 1) 論文・作品のピアレビューに関する倫理規程の普及
論文集委員会 宗本 順三君 55名	20	(1) 論文集（構造系，計画系，環境系の3分冊）36冊の刊行 (2) 論文集の編集・企画 1) 査読要領の一部改正 2) 査読要領の公開 (3) 論文集掲載論文の募集・審査 1) 異議申し立てについて (4) 論文集委員会査読候補者の選定
技術報告集委員会 深尾 精一君 51名	4	(1) 技術報告集（第17号，第18号）2冊の刊行 (2) 技術報告集の編集・企画 1) 技術報告集応募規程の一部改正 2) 技術報告集執筆要領の一部改正（案）の検討 (3) 技術報告集の募集・審査 (4) 技術報告集委員会査読委員候補の選定

英文論文集委員会 岡田 恒男君 21名	5	(1) Journal of Asian Architecture and Building Engineering (JAABE) 3号、4号の刊行 (2) JAABE エディトリアルボードの運営 ・東京会議(2003年11月) 1) ベストペーパー賞の設置案 2) チーフエディターならびにフィールドエディター交替案 ・北京会議(2004年2月) 1) 購読制の導入の提案 2) ベストペーパー賞の検討 (3) JAABE の編集・企画 (4) JAABE 掲載論文の募集・審査
総合論文誌委員会 竹下 輝和君 34名 (2)	11	(1) 総合論文誌第2号の刊行 (2) 総合論文誌の企画・編集 1) 第2号目次案の検討 2) 第3号テーマならびにチーフエディターの選任 (3) 総合論文誌掲載論文の募集・審査 1) 総合論文誌運営規程の一部改正 2) 異議申し立てについての検討
作品選集委員会 平倉 章二君 91名	3	(1) 「作品選集2004」掲載作品の募集と選考 応募241点、掲載99点

7.5 教育関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
教育普及事業委員会 小倉 善明君 表 佑太郎君 7名	1	(1) 教育・文化事業の推進で、関連委員会(建築教育認定事業委員会、刊行委員会、教材委員会、能力開発支援事業委員会、設計競技事業委員会、卒業論文等顕彰事業委員会、建築文化事業委員会、子ども教育事業委員会および建築教育委員会)との総合的な企画・調整 (2) JABEEの検討 (3) 「能力開発支援制度」の検討 (4) 「建築教育振興基金(タジマ基金)」による学生向けの「設計競技事業」「論文顕彰事業」の実施 (5) 建築文化事業の実施
建築教育認定事業委員会 高梨 晃一君 12名 (1)	5	・建築教育認定事業の統括 ・大会PDの実施 ・2004年度建築分野要件・実施要領の検討 ・大学院プログラム認定の検討
建築分野審査委員会 中島 正愛君 12名	3	・2003年度認定審査の実施 ・審査員養成研修の実施
刊行委員会 村上美奈子君 小林 英嗣君 21名 (1)	5	(1) 2004年度刊行物刊行実施の検討・承認 (2) 2005年度刊行物執筆着手の検討・承認 (3) 本会出版事業の見直し

建築設計資料集成委員会 高橋 鷹志君 108名 (12)	36	(1)「建築設計資料集成」全面改訂版の編集 (2)「建築設計資料集成 物品」刊行 (3)「建築設計資料集成 展示・芸能」刊行 (4)「建築設計資料集成 地域都市」刊行 (5)「建築設計資料集成 地域都市」刊行 (6)「建築設計資料集成 生産・流通」刊行
建築ガイド編集委員会 前野まさる君 40名	2	「総覧日本の建築」 (1)第7巻 大阪・兵庫編の編集作業 (2)第4巻 甲信越・北陸編の編集作業
学術用語標準化委員会 156名 (24)	1	(1)「建築学用語辞典 第2版」の見直し
教材委員会 村上美奈子君 吉野 博君 76名 (12/WG含む)	16	(1)専門教育用教材のあり方検討 (2)新たな専門教育用教材の検討 (3)「近代建築史図集」改訂版執筆 (4)「日本建築史図集」改訂版執筆 (5)「都市をデザインしよう - プロセス編」執筆 (6)「環境ワークブック」執筆 (7)子ども向け建築書の企画 (8)「入門編 ちからとかたち」刊行 (9)「建築倫理用教材」刊行
能力開発支援事業委員会 八木 幸二君 15名	5	(1)能力開発支援制度の検討 ・能力開発プログラムの検討 ・会員ニーズ調査 (2)2003年度講習会事業報告 1)支部共通事業 ・建築基礎構造設計例集改訂講習会(構造委員会) 2)委員会主催等講習会 材料施工委員会 ・鉄筋コンクリート造建築物等の耐久設計施工指針(案)・同解説講習会 ・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説改定講習会 ・鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ - その対策と原因講習会 ・建築工事標準仕様書 JASS12 屋根工事改定講習会 ・建築工事標準仕様書 JASS17 ガラス工事改定講習会 ・建築工事標準仕様書 JASS27 乾式外壁工事講習会 ・建築工事における工程計画と管理の指針講習会 構造委員会 ・鉄筋コンクリート建物の耐震性能評価指針・同解説講習会 ・木質構造限界状態設計指針講習会 ・壁式構造関係規準集・同解説(壁式鉄筋コンクリート造編)改定講習会 防火委員会 ・構造部材の火害診断及び補修・補強方法講習会 建築経済委員会 ・日本の集合住宅リノベーション講習会 (3)2003年度シンポジウム等報告 (別項)

設計競技事業委員会 細田 雅春君 平倉 章二君 11名	6	(1) 2003年度支部共通事業設計競技の実施 課題「みち」 応募数 288 支部入選 65 全国入選 12 タジマ奨励賞 10
全国審査部会（2003年度） 陣内 秀信君 10名	4	(2) 2003年度支部共通事業設計競技 「みち」全国・支部優秀作品集刊行の検討
全国審査部会（2004年度） 中川 武君 11名		(3) 2004年度支部共通事業設計競技の企画 課題「建築の転生・都市の転生」
審査部会（2003年度技術部門） 塚越 功君 7名		(4) 第5回技術部門設計競技の実施 課題「火災に強い高層木造建築システム」
審査部会（2004年度技術部門） 原 広司君 14名	3	(5) 第6回技術部門設計競技の企画 課題「ユビキタス・ネットワーク技術を活用した建築・都市・環境空間システムモデル」 (6) 2003年度日本建築学会設計競技「みち」・技術部門設計競技「火災に強い高層木造建築システム」入選作品展の実施
卒業論文等顕彰事業委員会 八木 幸二君 26名 (3)	5	(1) 2003年（第14回）「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」表彰者決定（3章参照） (2) 2004年（第15回）「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」応募論文募集要項作成ならびに応募論文募集
建築文化事業委員会 坪内 文生君 可児 才介君 15名	6	(1) 建築文化週間2003開催 ・建築文化週間2004企画の検討 (2) 講演会 ・2003年日本建築学会賞（作品部門）受賞者記念講演会 (3) セミナー ・学生サマーセミナー in 東京 (4) 展覧会 1) 第44回全国大学・高専卒業設計展示会 2) 日本現代建築展1985-1996
子ども教育事業委員会 村上美奈子君 15名	5	(1) 親と子の都市と建築講座（9章3(2)参照）の企画・実施 (2) 教育界との協働事業の企画・実施 (3) 学生ボランティア制度の検討

7.6 情報関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
情報委員会 佐藤 滋君 和田 章君 9名	2	(1) ホームページの整備・充実 (2) 本会英文論文誌（JAABE）の科学技術振興事業団「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-Stage）を通じた電子ジャーナル化（5）「東アジア建築情報ネットワーク」（eAINA）への参加
図書委員会 門内 輝行君	31	(1) 図書館の運営 ・新しい図書館構想に沿った運営諸規定などの検討

<p>128 名 (10)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文献資料の収集・整理・閲覧 ・1923 年関東地震被害写真集の受入 ・5 館図書館蔵書目録横断検索 OPAC の運営 ・CTBUH 谷文庫の運営 ・土木学会土木図書館との相互利用覚書の締結 (2) 会誌の寄贈・交換 <ul style="list-style-type: none"> ・会誌の内外機関との寄贈・交換 (3) 情報サービス <ul style="list-style-type: none"> ・「建築雑誌」掲載による文献情報サービス “ 図書館受入図書 ” “ 文献抄録 ” (毎月) の掲載。 ・建築歴史・意匠・建築論関係文献目録 (1995-2000) データの電子化とホームページ公開 ・文献抄録 (構造/環境工学/火災/建築歴史・意匠) の ホームページ公開 ・本会 H P にて蔵書目録 (和・洋図書, 記事索引) 等 の構築と検索サービス ・文献複写サービス (館内 2,853 件・郵送 437 件) ・本会刊行誌のマイクロフィッシュの作成と頒布 (4) 文献研究と文献抄録作成 (5) 視聴覚ライブラリーの運営・整備 (6) 国立情報学研究所 NACSIS-ELS へのコンテンツの提供 (7) 韓国 CRIC データおよびコンテンツの提供
<p>建築博物館委員会 林 昌二君 44 名 (4)</p>	<p>22</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 建築博物館の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・建築図面等アーカイブスの蒐集・仮受け入れ (4 件) (2) 建築博物館企画展「わたしの同巡会アパート展」企画・実施 (3) 図書館資料「辰野文庫・妻木文庫資料展」企画・実施 (4) 所蔵「伊東忠太」資料の整備と報告書の作成、公開用 DB の一部作成 (5) 近畿の街並み・まちづくり展開催
<p>編集委員会 布野 修司君 32 名 岩田 衛君 30 名</p>	<p>2 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建築雑誌 9 冊の企画・刊行 ・建築雑誌 3 冊の企画・刊行 ・作品選集 2004 の刊行 ・総合論文誌第 2 号の刊行
<p>情報ネットワーク委員会 門内 輝行君 4 名</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本会ホームページコンテンツの見直し

7.7 委員会数・開催数・委員数

部 門	委員会数	運営委員会・小委員会・WG 数	会合開催数	委員・専門委員数
支援会議	2	10	28	67 名
会務関係	会 務	3	37	124 名
	特別調査	12	77	419 名
	表 彰	6	12	107 名
研究関係	学 術	1	9	32 名
	調査研究	16	577	6,666 名
	特別研究	8	8	218 名
	受託研究	12	7	411 名
学術レビュー関係	6	2	45	177 名
教育関係	13	52	103	556 名
情報関係	5	14	67	247 名
計	90	689	2,903	9,024 名
前 年 度	94	613	3,130	9,367 名
前 年 比	-4	+76	-227	-343 名

8. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等（支部共通事業以外）

8.1 司法支援建築会議（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第4回講演会「都市居住を巡る建築紛争」	2003.9.26	東京・建築会館ホ-ル	佐藤 滋 他5名	120名

8.2 まちづくり支援建築会議運営委員会（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第1回シンポジウム「まちづくり支援と専門家の役割」	2004.2.2	東京・建築会館ホ-ル	田村 明 他6名	90名

8.3 建築教育認定事業委員会（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
JABEE 建築学および建築学関連分野審査員研修会	2003.8.1	東京・建築会館ホ-ル	高梨 晃一 他7名	140名

8.4 調査研究委員会主催

（1）材料施工委員会（26回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ-メカニズムと対策技術の現状」講習会	2003.5.26	東京・建築会館ホ-ル	三橋 博三 他2名	305名
	6.4	大阪・国際交流センター	今本 啓一 他2名	118名
	6.6	名古屋・昭和ビル9Fホール	寺西 浩司 他2名	74名
	6.16	札幌・北海道大学学术交流会館	名和 豊春 他2名	59名
	6.27	福岡・福岡国際会議場	佐藤 嘉昭 他2名	99名
	7.2	仙台・仙台市産業プラザ	三橋 博三 他2名	89名
	7.7	高松・讃岐会館	野口 貴文 他2名	90名
第2回「防水シンポジウム」	8.22	東京・建築会館ホ-ル	小野 正 他19名	242名
	8.27	大阪・建設交流館	小野 正 他19名	102名
「鉄筋コンクリート工事配筋指針・同解説」改定講習会	2003.11.7	東京・建築会館ホ-ル	大野 義照 他2名	301名
	11.11	名古屋・昭和ビル9Fホール	大越 俊男 他2名	80名
	11.14	仙台・シルバーセンター	大久保孝昭 他2名	68名
	11.17	大阪・科学技術センター	大野 義照	139名

	11.18	福岡・福岡建設会館	他2名 今井 弘	83名
	11.26	高松・讃岐会館	他2名 武田 一久	61名
コンクリートポリマー複合体に関するシンポジウム	11.13	東京・建築会館会議室	大濱 嘉彦 他10名	65名
コンクリート試験法に関するシンポジウム	11.21	東京・建築会館ホ-ル	谷川 恭雄 他29名	86名
「建築工事標準仕様書 JASS17 ガラス工事」改定講習会	12.5	東京・建築会館ホ-ル	吉田 倬郎 他6名	142名
「建築工事標準仕様書 JASS17 ガラス工事」改定講習会	12.12	大阪・科学技術センター	吉田 倬郎 他6名	70名
「建築工事標準仕様書 JASS27 乾式外壁工事」講習会	2004.1.25	東京・建築会館ホ-ル	松井 勇 他4名	101名
「建築工事標準仕様書 JASS27 乾式外壁工事」講習会	1.23	大阪・科学技術センター	松井 勇 他2名	69名
第15回「建築施工ロボットシンポジウム」	1.29	東京・建築会館ホ-ル	深瀬勇太郎 他11名	54名
「建築工事における工程の計画と管理指針」講習会	2.24	東京・建築会館ホ-ル	嘉納 成男 他5名	80名
「建築工事標準仕様書 JASS12 屋根工事」改定講習会	2.26	東京・建築会館ホ-ル	石川 廣三 他6名	130名
「建築工事標準仕様書 JASS12 屋根工事」改定講習会	3.5	大阪・科学技術センター	石川 廣三 他2名	125名
「鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針(案)・同解説」講習会	3.12	東京・建築会館ホ-ル	梶田 佳寛 他3名	132名

合 計 2,964名

(2) 構造委員会 (17回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第49回構造工学シンポジウム	2003.4.3 ~4	東京・日本学術会議		370名
・特別講演会 「近代土木遺産の意義と今後の課題」	4.3		伊東 孝	(97名)
・建築・土木合同パネルディスカッション「設計から見た構造～構造工学におけるものづくり」 【8.7節参照】	4.3		藤野 陽三 他4名	(86名)
連続公開討論会「プレキャストコンクリート構造システム - これからの時代のニーズと可能性」	7.14	東京・建築会館会議室	古谷 誠章 他2名	31名
第1回「リユースを考慮した接合部設計」				
壁式構造関係設計規準集・同解説(壁式鉄筋コンクリート造編)」改定講習会	9.16	東京・建築会館ホ-ル	平石 久廣 他2名	149名
	9.24	大阪・大阪科学技術センター	勅使川原正臣 他2名	74名
連続公開討論会「プレキャストコンクリート構造システム - これからの時代のニーズと可能性 -」	9.26	東京・建築会館会議室	荻原 行正 他2名	24名
第2回「免制震構造とプレキャスト」				

木質構造限界状態設計指針講習会	10.24	東京・建築会館ホ - ル	平嶋 義彦 他3名	151名
第31回地盤震動シンポジウム「震源断層を考慮した設計用地震動評価：地域波策定の現状と将来展望 - 地盤震動研究を耐震設計に如何に活かすか（その2）」	11.5	東京・建築会館ホ - ル	川瀬 博 他12名	187名
シンポジウム「地震荷重 - 性能設計への展望 - 」	11.6	東京・建築会館ホ - ル	藤堂 正喜 他11名	181名
シンポジウム「建築基礎設計のための地盤改良設計指針作成にあたって」	11.17	東京・建築会館ホ - ル	藤井 衛 他13名	115名
連続公開討論会「プレキャストコンクリート構造システム - これからの時代のニーズと可能性 - 」 第3回「壁式プレキャストコンクリート改修」	11.27	東京・建築会館会議室	渡辺 一弘 他3名	28名
第7回構造物と地盤の動的相互作用シンポジウム「動的相互作用を考慮した耐震設計法」	12.2	東京・建築会館ホ - ル	篠崎 祐三 他13名	149名
鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針講習会	2004.1.23	東京・建築会館ホ - ル	壁谷澤寿海 他8名	232名
	1.30	高松・讃岐会館	市之瀬敏勝 他3名	57名
第3回新「シェル・空間構造」セミナー - テンション構造の最近の動向と展望	1.30	東京・建築会館ホ - ル	斎藤 公男 他9名	153名
各種建築物の減衰セミナー：評価手法の比較検討と性能設計への応用	2.24	東京・建築会館会議室	曾田五月也 他7名	68名
連続公開討論会「プレキャストコンクリート構造システム - これからの時代のニーズと可能性 - 」 第4回「S I 建築へのプレキャストコンクリートの利用」	3.2	東京・建築会館会議室	藤本 秀一 他2名	37名
シンポジウム「コンクリート系構造の部材解析モデルの設計への応用」	3.9	東京・建築会館ホ - ル	野口 博 他10名	86名

合 計 2,092名

(3) 建築歴史・意匠委員会 (4回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第5回「建築論の現在」セミナー	2003.6.28	東京・自由学園明日館	三沢 浩 他3名	93名
第6回「建築論の現在」セミナー	11.29	東京・明治大学リバティータワー	磯崎 新 他2名	223名
シンポジウム「近代都市への転換 - 近世から近代へ」	12.10	東京・建築会館会議室	松本 裕 他4名	52名
ミニシンポジウム「建築史学と保存・再生学の関係を問う」	2004.2.13	東京・建築会館会議室	内田 青蔵 他4名	41名

合 計 409名

(4) 防火委員会 (2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム コンクリート系建造物の火災耐力	2004.1.30	東京・建築会館会議室	西垣 太郎 他 8 名	42 名
「建物の火災診断及び補修・補強方法」 講習会	3.15	東京・建築会館ホ - ル	吉田 正友 他 7 名	125 名

合 計 167 名

(5) 建築経済委員会 (6回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 19 回「建築生産」シンポジウム	2003.7.24 ~ 25	東京・建築会館ホ - ル	西本 賢二 発表者他35名	109 名
シンポジウム「都市ライフサイクルマネ ジメント研究の現状と今後の課題」	11.8	東京・建築会館会議室	石塚 義高 他5名	32 名
建築生産ワークショップ「建築生産から 見た PFI のあり方」	11.18	東京・建築会館会議室	古阪 秀三 他5名	75 名
第 5 回「PM」ワークショップ	2004.1.21	東京・建築会館ホ - ル	田中 晃 他4名	47 名
集合住宅のリノベーション講習会	3.1	東京・建築会館ホ - ル	梶浦 恒男 他4名	131 名
第 15 回「建築生産」パネルディスカッ ション	3.3	東京・建築会館ホ - ル	嘉納 成男 他10名	50 名

合 計 444 名

(6) 環境工学委員会 (15回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「建築物におけるホルムアル デヒド空気汚染の防除設計・施工に関する 学会規準」	2003.6.6	東京・建築会館会議室	池田 耕一 他 11 名	65 名
テレビ朝日新本社見学会	7.4	東京・テレビ朝日新本社		40 名
シンポジウム「湿気物性学術規準 - 測定法 と測定値について」	7.25	東京・建築会館会議室	芝池 英樹 他 16 名	32 名
「固体音の放射をどう扱うか」研究会	8.1	東京・建築会館会議室	田野 正典 他 8 名	37 名
第 28 回水環境シンポジウム 武蔵野台 地における雨水の総合的扱い方	9.3	東京・江戸東京たてもの園	黒岩 哲彦 他 7 名	56 名
第 12 回 空気シンポジウム「空気の流れの デザイン - 室内空気環境設計の研究・開発 最前線 - 」	9.4	愛知・名鉄犬山ホテル	出口 清孝 他 6 名	74 名
第 2 回環境心理生理チュートリアル	9.7-8	岐阜・多治見神言修道院研 修センター	讃井純一郎 他 1 名	25 名
環境設計シンポジウム「商業地域に建つマ ンションの日照問題」	9.9	東京・建築会館ホ - ル	三浦 昌生 他 5 名	77 名
公開シンポジウム「建築物における微生物 汚染と臭気汚染対策としての日本建築学 会規準について」	10.18	東京・建築会館会議室	菅原 文子 他 13 名	64 名
第 3 回 光環境デザインWGシンポジウム 「二川幸夫が語る光と建築」	11.26	東京・建築会館ホ - ル	二川 幸夫 他 2 名	121 名

第 33 回熱シンポジウム 熱負荷シミュレーションによる環境設計と性能検証	12.5-6	滋賀・長浜ロイヤルホテル	吉田 治典 他 26 名	117 名
第 22 回環境振動シンポジウム「環境振動研究の将来展開 - 他学協会とのコラボレーションを通して - 」	2004.1.28	東京・建築会館ホ - ル	石川 孝重 他 8 名	69 名
第 7 回環境工学シンポジウム「環境工学の未来を拓く研究と技術開発」	1.29	東京・建築会館会議室	鉾井 修一 他 13 名	24 名
公開研究会「環境心理生理からのアプローチによる住区・街路の計画と評価」	3.9	大阪・大阪市立大学文化交流センター大セミナー室	鈴木 広隆 他 2 名	30 名
「昼光照明建築国際シンポジウム(IEA SHC TASK 31 東京会議)」	3.25	東京・大成建設会議室	岩田 利枝 他 13 名	27 名

合 計 858 名

(7) 建築法制委員会 (1 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
性能規定化連続シンポジウム	2004.2.27	東京・建築会館会議室	松本 光平 他 2 名	36 名

合 計 36 名

(8) 建築教育委員会 (2 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 34 回工業高校建築教育研修会	2003.8.7 ~8	東京・建築会館ホ - ル、 東京・秋葉原 3・2 街区マ ンション新築工事現場	難波蓮太郎 他 7 名	50 名
第 4 回 建築教育シンポジウム	2004. 1.24	東京・建築会館ホ - ル	仙田 満 他 13 名	50 名

合 計 100 名

(9) 都市計画委員会 (8 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 13 回都市景観ルックイン「伊勢市河崎地区の歴史的環境と生活景づくり 反対から協働へ 逆転する新まちづくり運動」開催	2003.9.4	三重・伊勢河崎商人館	西村 幸夫 他 6 名	40 名
見学会 成熟郊外ニュータウンの課題と再生	9.4	愛知・高蔵寺ニュータウン および桜ヶ丘ハイツ	海道 清信 他 2 名	17 名
キャンパス計画関係者の懇談会 (第 6 回)	9.8	石川・金沢大学本部 6 階大 会議室	萩島 哲 他 5 名	61 名
公開研究会「地震防災対策における『地域性』 - 東北・北海道地域で考える - : 宮城県北部地震・十勝沖地震の報告 (速報)」	11.10	東京・建築会館会議室	佐藤 健 他 3 名	11 名
第 10 回 都市形成・計画史公開研究会: 都市再建プランの国際比較 (日英比較を主として)	12.13	大阪・大阪市立住まい情報 センター研修室	土屋 敦夫 他 2 名	13 名
公開研究会 「地震防災対策における『地域性』 - 西日本地域で考える - : 南海地震・津波対策等」	2004.2.21	高知・高知県庁正庁ホール	中田 慎介 他 4 名	49 名
第 11 回 都市形成・計画史公開研究会: 日本の郊外 (その原型と変容)	3.12	東京・建築会館会議室	樋口 忠彦 他 2 名	25 名

都市計画教育小委員会 公開研究会 「まちなか実践教育とまちなか研究室」	3.16	東京・建築会館会議室	野澤 康 他5名	29名
-------------------------------------	------	------------	-------------	-----

合計 245名

(10) 建築計画委員会 (17回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第53回研究会「要素からみた建築・都市空間の魅力」	2003.7.11	東京・建築会館ホ-ル	金子 友美 他4名	68名
春季学術研究会「札幌の大規模屋内集会施設と北の建築・生活・文化-札幌ドームとガラスのピラミッドの計画・デザインをめぐる」	7.12 ~7.13	札幌・札幌ドーム、ガラスのピラミッドほか	原 広司 他3名	85名
第21回「地域施設計画研究」シンポジウム	7.17 ~18	東京・建築会館会議室	岩崎 義一 他発表者46名	70名
第6回計画設計情報研究会「建築の計画設計とプロジェクト・マネジメント(PM)」	7.18	東京・建築会館会議室	遠藤 和義 他2名	18名
研究報告会「建物のコンバージョンによる都市空間有効活用技術」	7.30	東京・建築会館ホ-ル	松村 秀一 他5名	151名
第41回建築人間工学研究会	10.1	大阪・大阪大学附属図書館吹田分館	井上 容子 他2名	34名
第18回安全計画シンポジウム「避難安全のバリアフリー」	10.28	大阪・大阪ビック・アイ	志田 弘二 他4名	79名
第54回研究会「継承された住空間：東南アジアから」	12.3	東京・建築会館会議室	富井 正憲 他4名	34名
研究報告会「建築作品におけるテンション-建築の総合的な価値を目指して」	12.6	東京・建築会館会議室	岡河 貢 他8名	42名
シンポジウム「これからの学校のリニューアルの在り方」	12.13	横浜・横浜市立港北小学校	中村 勉 他5名	63名
地域に根ざす高齢者の居住とケアを考えるシリーズ 「高齢者居住をめぐる計画視点」	2004.1.15	東京・建築会館会議室	宮崎 幸恵 他2名	40名
地域に根ざす高齢者の居住とケアを考えるシリーズ 「地域における痴呆性高齢者のケア環境について」	2.20	東京・建築会館ホ-ル	足立 啓 他4名	61名
第3回「ライフスタイル住文化」公開研究会	2.27	東京・文化女子大学	浅沼 由紀 他3名	41名
研究会「当事者の主権とは何か~利用者主体のサービス、環境整備を求めて~」	2.27	東京・建築会館会議室	高橋 儀平 他3名	21名
地域に根ざす高齢者の居住とケアを考えるシリーズ 「介護保険下における住宅改修システムの課題と展望」	3.8	東京・建築会館会議室	田村 千恵 他4名	41名
第42回建築人間工学研究会	3.9	東京・建築会館会議室	直井 英雄 他2名	45名

集合住宅フォーラム「新たな価値づくりのための集合住宅論～事業に係わる先進事例から得られるヒント」	3.11	東京・建築会館会議室	田中 友章 他4名	33名
--	------	------------	--------------	-----

合 計 926 名

(11) 農村計画委員会 (2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
2003 年度農村計画委員会秋季学術研究会「エコミュージアムと地域づくり - 朝日町フォーラム - 」	2003.10.18 ~19	山形・朝日町・コアセンター 創遊館ほか	安藤 竜二 他5名	31名
公開研究交流会「美しくすむかたち 集住の知恵8」	11.1~2	韓国・清洲大学校	重村 力 他3名	41名

合 計 72 名

(12) 海洋委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第3回海洋建築と空間利用シンポジウム「モバイル海洋建築」	2003.10.17	東京・建築会館会議室	登坂 宣好 他8名	51名

合 計 51 名

(13) 情報システム技術委員会 (5回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
講演会「3次元CADモデルによる新しい設計手法」メルボルンの「ユーレカ・タワー」プロジェクトの実施例による	2003.4.8	東京・建築会館ホ - ル	デービッド・サザランド 他1名	126名
MEGA-DIAGRAPHIC-DEBATE: CODE WARS	7.31	東京・慶應義塾大学 G-SEC Lab.	大野 秀敏 他16名	54名
第10回建築設計および生産情報の流れシンポジウム「過去との決別(新しい発想、エネルギーを注入する)！」	11.26	東京・建築会館会議室	南林 和 他7名	30名
第26回情報・システム・利用・技術シンポジウム	12.11~12	東京・建築会館ホ - ル + 会議室	論文・報告 発表講演者: 46名 基調講演・ 研究会講師: 村井 純 他25名	179名
第3回建築情報標準化技術フォーラム「用語・分類コードの標準化なしに CALS/ECはあり得るのか？」	2004.3.3	東京・建築会館会議室	寺井 達夫 他8名	25名

合 計 414 名

(14) 地球環境委員会 (3回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
公開研究会「竹のパピリオンとそのゼロ・エミッション哲学」	2003.6.2	東京・建築会館会議室	グンター・パウリ	48名
第5回都市気候対策小委員会公開勉強会「風の道 - 市街地形態と都市の通風・換気 - 」	8.18	東京・建築会館ホ - ル	成田 健一 他5名	68名

第6回都市気候対策小委員会公開勉強会 「ヒートアイランド対策外皮技術の動向 -クールルーフを事例として-」	2004.3.17	東京・建築会館ホ-ル	足永 靖信 他4名	88名
---	-----------	------------	--------------	-----

合 計 204名

8.5 特別調査・研究委員会主催

(1) 地震防災総合研究特別調査委員会(5回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
(第5回)公開研究会 「いざという時のための地域コミュニティ形成と支援ツールの現在」	2003. 6. 6	東京・建築会館会議室	小村 隆史 他5名	40名
(第6回)公開研究会(「平成14年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果公開発表(B)」)「大地震を想定した都市防災・復興方策を考える」(その2)「事前・事後の防災・復興都市計画」	10.31	東京・建築会館会議室	小林 郁雄 他4名	50名
(第7回)公開研究会 「都市防災・復興方策のさらなる展開に向けて」	12.17	東京・建築会館会議室	中林 一樹 他6名	40名
復興支援社会システムミニシンポジウム 「情報開示と全員参加」	11.17	東京・建築会館会議室	古瀬 敏 他5名	10名
(第8回)「震災対策技術展」関連講演会 (横浜) どう生かす地震の教訓 建物の耐震安全性向上のために -	2004. 2. 6	横浜・横浜国際展示場 / 横浜パシフィコ	翠川 三郎 他4名	200名

合 計 340名

(2) 住宅内のエネルギー消費に関する調査研究委員会(1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第2回住宅エネルギーシンポジウム 住まい方とエネルギー消費実態の全国調査	2003.6.12	東京・建築会館ホ-ル	村上 周三 他6名	200名

合 計 200名

(3) シックハウス問題の解明とヘルシーな居住環境の開発特別調査委員会(1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「シックハウス問題の到達点とその未来」	2004.2.27	東京・建築会館ホ-ル	村上 周三 他13名	166名

合 計 166名

(4) 建築基準法・都市計画法特別研究委員会(2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
建築基準法・都市計画法特別研究委員会 第1回公開研究会 土地利用に関する計画決定手続き・審査システムにおける「参加」と専門性の位置づけ - 審議会・審査会の役割を中心に	2003.10.30	東京・建築会館会議室	加藤 仁美 他2名	61名

建築基準法・都市計画法特別研究委員会 第2回公開研究会 敷地単位を越えたルール導入の可能性	2004.3.9	東京・建築会館会議室	上林 研二 他4名	65名
---	----------	------------	--------------	-----

合計 126名

(5) 21世紀計画系建築教育特別研究委員会(1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
研究会「海外の計画系教育の実態と意味」	2004.3.1	東京・創業サポートセンター -研修室	長澤 泰 他4名	21名

合計 21名

(6) 既存ビル連結による街並み再生特別研究委員会(1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「既存ペンシルビル連結による都市再生」	2004.1.30	東京・建築会館会議室	藤井 俊二 他8名	50名

合計 50名

8.6 情報関係委員会主催

(1) 建築博物館委員会(3回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
建築博物館企画展 「わたしの同潤会アパート展」 ・映像上映ワークショップ ・特別講演会 Housing as Social Condenser 「社会の凝集装置としての集合住宅：欧米の文脈から同潤会を切る」 ・シンポジウム「証言：同潤会アパートが消えてきた姿」	2003.11.15 11.15 11.22	東京・建築博物館ギャラリー + イベント広場 + 建築 会館ホール	リチャード ・ブランツ 村上美奈子 他5名	45名 55名 63名

合計 163名

8.7 本会・他学協会共催(5回)

名 称	共催学協会	期 日	会 場
第49回構造工学シンポジウム 【8.4節構造委員会参照】	日本学術会議 メカニクス・構造研究連絡委員会 構造工学専門委員会, 土木学会	2003. 4. 3~ 4	東京・日本学術会議
第41回原子力総合シンポジウム	日本原子力学会他	5.20~21	東京・千代田区立内幸町ホール
第50回風に関するシンポジウム	土木学会, 大気環境学会, 日本海洋学会, 日本風工学会他	12.12	宮城・東北大学工学部青葉記念会館
第19回環境工学連合講演会	日本学術会議 社会環境工学研究連絡委員会 環境工学専門委員会	2004.1.22~23	東京・日本学術会議

第 53 回理論応用力学講演会	日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会，日本航空宇宙学会	1.27～29	日本学術会議
-----------------	--------------------------------	---------	--------

8.8 開催数・参加者数

主催・企画	委員会数	開催数	参加者数
司法支援建築会議	1	1	120 名
まちづくり支援建築会議運営委員会	1	1	90 名
建築教育認定事業委員会	1	1	140 名
調査研究委員会	14	109	8,982 名
特別調査・研究委員会主催	6	11	903 名
情報関係委員会	1	3	163 名
本会・他学協会共催	-	5	-
合 計	24	131	10,398 名

9. 教育・文化事業

9.1 建築文化週間

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	< 建築文化週間 2003 > (主催) 日本建築学会 (協賛) 大林組、鹿島建設、熊谷組、清水建設、大成建設、竹中工務店、鉄建建設、東急建設、東京ガス、戸田建設、西松建設、前田建設工業(12社)		
10.1	シンポジウム 第1回 テーマ:「小さな都市再生がいっぱい - 都市・土木・建築のコラボレーション -」 パネリスト: 青木 仁(都市基盤整備公団) 伊藤 滋(都市計画家:早稲田大学教授) 内藤 廣(建築家:東京大学教授) 可児才介(大成建設常務設計本部長:本会理事、建築文化事業委員会委員長) 三谷 徹(ランドスケープアーキテクト:千葉大学助教授)	建築会館ホール	240名
10.9	司会/コーディネーター 宇野求(建築家:千葉大学教授) 第2回 テーマ:「建築とロボティクス~情報化から空間知能化へ~」 パネリスト: 橋本秀紀(東京大学生産技術研究所助教授:制御工学・ロボティクス) 山中俊治(リーディング・エッジデザイン:プロダクト/ロボットデザイン) 竹内昌義(みかんぐみ、東北芸術工科大学助教授:建築) 赤池 学(ユニバーサルデザイン総合研究所代表) 本江正茂(宮城県立大学専任講師:建築)	建築会館ホール	150名
10.14	東京ウォッチング 2003 テーマ:九段 講師:藪野 健(画家・早稲田大学芸術学校教授) 小笠原伸(早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所講師) 斉藤 理(早稲田大学芸術学校非常勤講師) 見学先:九段会館<旧軍人会館>;1934年 日本武道館;1964年 九段下ビル<旧今川小路共同建築>;1927年 東京レーテルセンタービル<旧日本神学校>;1937年 千代田区九段小学校<旧東京市立上六小学校>;1926年 ほか		70名 (申込み 53名)
10.4~5	学生ワークショップ 2003 テーマ:24時間耐久ワークショップ 『archiTV~カケラをツナグ~』	建築会館ホール・イベント広場	延380名

10.4	<p>テーマ：原広司の午後 ゲスト：原 広司（原広司+アトリエファイ建築研究所） 太田浩史（デザイン・ヌーブ級建築士事務所） 南 泰裕（アトリエ・アンブレックス） 学生パネリスト： 池田良子（武蔵野美術大学竹山研究室） 佐久間洋文（東海大学吉松研究室） 田中義之（東京大学大野研究室） 原 章史（早稲田大学古谷研究室） 森山ちはる（東京工業大学坂本研究室）</p>	建築会館ホール	250名
10.4	<p>テーマ：スピードコンペ ゲスト：西沢立衛（西沢立衛建築設計事務所 SANAA）</p>	建築会館イベント 広場	125名
10.4	<p>テーマ：それゆけ！しゃべり場！！～20代の生トーク～ ゲスト：石上純也（妹島和世建築設計事務所所員） 大野博史（M I A S） 武井 誠（T N A） 寺本健一（C + A） 富川浩史（手塚建築研究所） 中楯哲史（竹中工務店） 中村拓志（NAP 代表） 西田 司（スピードスタジオ/東京都立大学助手） 浜田 充（Starburstar） 平瀬有人（早稲田大学助手） 藤原徹平（隈研吾建築都市設計事務所） 保坂 猛（スピードスタジオ）</p>	建築会館イベント 広場	150名 (観客含む)
10.5	<p>テーマ：世界建築倶楽部 ゲスト：藤村龍至（東京工業大学塚本研究室） 川添善行（東京大学岸田研究室） Ken-christian peine（早稲田大学古谷研究室） Jakub Kogut（法政大学渡辺研究室） Gonzalo Velez（東京大学松村研究室） Xavier Marchand（東京大学長澤研究室） Mauricio Herra（東京大学長澤研究室） 謝 宗哲（東京大学曲淵研究室） Julian Worrall（東京大学伊藤研究室）</p>	建築会館イベント 広場	70名
10.5	<p>テーマ：山手線ゲーム ゲスト：吉村靖孝（SUPER-OS） 松川昌平（000STUDIO/ゼロスタジオ）</p>	建築会館ホール	22名 (観客50名)
10.5	<p>テーマ：魁!!!建築写真塾 ～プロが教える写真術～（第1部） ゲスト：松岡満男（松岡満男建築写真事務所） 中谷正人（中谷ネットワークス）</p>	建築会館	12名 (観客50名)
10.5	<p>テーマ：建築メドレー ポーラの美学 ゲスト：安田幸一（東京工業大学助教授） 梅沢良三（梅沢建築構造研究所） 斎藤 洋（日建設計 環境アセスメント室長） 横沢国夫（大成建設設計部顧問 /村野藤吾賞選考委員） 荒屋鋪透（ポーラ美術振興財団ポーラ美術館 学芸部長） 佐藤英治（イーエスアソシエイツ） 伊勢谷三郎（旭硝子 特別顧問） 舟岡 努（旭硝子 技術開発本部・執行役員 本部長）</p>	建築会館ホール	70名

10.5	<p>テーマ：魁!!!建築写真塾 ～プロが教える写真術～（第2部） ゲスト：松岡満男（松岡満男建築写真事務所） 中谷正人（中谷ネットワークス）</p>	建築会館ホール	70名
10.18	<p>建築文化週間 2003 支部開催事業 <北海道支部> 見学会「空知地方における歴史的建造物の再生事例をたどる」 主催 北海道支部歴史意匠専門委員会 共催 日本建築家協会北海道支部、北海道建築士会、北海道建築士事務所協会、北海道空知支庁経済部・地域政策部 後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、砂川市教育委員会、美唄市教育委員会、三笠市教育委員会、岩見沢市教育委員会 見学先：旧由仁町農家（三笠市）、旧北海道立滝川畜産試験場機械庫（砂川市）、現アルテピアッツア美唄（美唄市） 講師・パネリスト： 武部豊樹（武部建設代表取締役） 中田信広（中田建築設計代表取締役） 中村欣嗣（中村よしあき建築研究所代表） 三谷 将（アップルガーデン代表） 千葉一夫（美唄市教育委員会アルテピアッツア美唄館長） 「こどもたちへ - 環境きょういく - 北海道立北方建築総合研究所を素材にした実践的プログラムの試行・提案 - 」 主催 北海道支部環境工学委員会</p>		63名
10.25	<p>1. 「パピリオンの一般公開・体験」</p>		193名 (大人105名、子ども88名)
10.25	<p>2. 「環境きょういく - いろんな立場から」セミナー 基調講演：東 三郎（北海道大学名誉教授） 講師：仲世古善雄（麓郷（ろくごう）木材工業社長） 林 美香子（フリーキャスター） 石田秀樹（北海道東海大学教授） 浅野晃彦（農業） 司会：大柳佳紀（北方建築総合研究所）</p>		60名
10.28	<p>3. 「旭川市内の小学校の総合授業として体験学習」 講師：北方建築総合研究所研究職員</p>		67名 (北鎮小学校5年生65名、教員2名)
10.25	<p><東北支部> 「建築を知る環境講座」 主催 東北支部福島支所 1) 基調講演「選ばれる建築家・求められる建築家」 講師：香山壽夫（放送大学教授・香山壽夫建築研究所所長・東京大学名誉教授） 2) プレゼンテーション「只見小学校改築物語～設計のプロセスと実務～」 講師：陽田秀夫（邑建築事務所代表取締役） 3) 会場フリートーク ～来場者とともに「建築」を考える～</p>	ビッグアイ7階大会議室	170名

10.11	「通町蔵しっく・みそら Cafe」 主催 東北支部、仙台市 協力 横山味噌醤油店、柴生田桂子 1) まちかどコンサート(3回) バイオリン演奏：柴生田桂子 2) 景観重要建造物見学 案内役：横山洋平	横山味噌醤油店	250名 180名
10.3 10.17 10.17	<関東支部> 見学会「六本木ヒルズ(屋上庭園制振マスダンパーとパノラマ展望台)」 主催 関東支部 見学会「東京タワーの耐震レトロフィット」 主催 関東支部 講演会「環境を視座においた今後の建築・都市空間」 主催 関東支部 講師：隈 研吾(隈研吾建築都市設計事務所代表)	建築会館ホール	32名 第1回目 20名 第2回目 20名 110名
11.8	<東海支部> 建築ウォッチング「中部国際空港施設建設現場」 主催 東海支部		29名
10.21~26 10.25	<北陸支部> 「文化遺産としてのモダニズム建築展」 主催 北陸支部 展覧会「DOCOMOMO 20選 in 高岡」 講演会「日本におけるモダニズム建築のかたち - DOCOMOMO20選から見えてくるもの -」 講師：松隈 洋(京都工芸繊維大学助教授)	高岡市美術館 市民ギャラリー 高岡市美術館 ハイビジョンホール	300名 80名
11.29~30	<近畿支部> 親と子の都市と建築教室 「京町家の伝統技術を学ぶ」- 小舞編みと土壁塗り - 主催 近畿支部 共催 学校法人京都建築学園 京都建築専門学校 内容：第1日目 町屋の見学と小舞編みの体験 第2日目 小舞編みの体験と土壁塗り 講師：佐野春仁、林 正信	京都建築専門学校	30名
10.11	<中国支部> 「地球温暖化防止に向けて - 建築の立場から考える -」 主催 中国支部 後援 国土交通省中国地方整備局、広島県、広島市、NHK広島放送局、中国新聞社、中国放送、広島県建築士会、空気調和・衛生工学会中国・四国支部、建築設備技術者協会中国・四国支部 1. 地球温暖化問題と環境の諸評価 木俣信行(鳥取環境大学教授) 2. エネルギー面からのとりくみ 西田哲也(中国電力) 3. 住宅産業における取り組み 近田智也(積水ハウス) 4. 環境との調和をテーマとした建築事例(1)くろしおアリーナ 藤田 聡(清水建設)	広島工業大学広島校舎501号教室	240名

	<p>5. 環境との調和をテーマとした建築事例(2) 風の館 さかのくち 石本茂雄(TIA石本建築事務所)</p> <p>6. ライフスタイル面から考える 浮田正夫(山口大学教授)</p> <p>7. パネルディスカッション - 建築の立場から地球温暖化対策として具体的に何ができるか 司会: 村川三郎(広島大学教授)</p>		
10.12	<p><四国支部> 見学会「土佐の近代化遺産をめぐる」 主催 四国支部・高知支所 見学先: 高知県日高村 松岡家住宅、吾川村 川口橋、久喜沈下橋 講師: 溝淵 博彦(高知工業高校) 後藤 孝一(高知県庁) 付随写真展示: 10.4~18(会場: ゆの森)</p>		20名
10.25	<p><九州支部> 「路地裏散歩IN別府」 主催 九州支部 後援 大分県、別府市、別府商工会議所、別府市観光協会、別府市旅館ホテル組合連合、別府観光産業経営研究会、竹瓦倶楽部、大分県建設業協会、大分県建築士事務所協会、大分県建築士会、日本建築家協会九州支部大分地域会、大分合同新聞社、大分放送(OBS)、テレビ大分(TOS)、大分インフォメーションハウス</p> <p>1) 路地裏散歩 別府市中央公民館 別府市中心市街地 竹瓦温泉</p> <p>2) シンポジウム「別府八湯ウォークにみる住民主体のまちづくり活動について」 パネリスト: 野上泰生(野上本館社長・地元まちづくりの立場から) 宮崎和恵(シティ情報おおいた編集人・地域外住民の立場から) 浜田 博(別府市長・行政の立場から) 三島伸雄(佐賀大学助教授・専門家の立場から)</p>	ヒットパレードクラブ	65名 71名

9.2 講演会・展覧会

(1) 講演会

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	<p>2003年 日本建築学会賞(作品部門)受賞者記念講演会</p> <p>「作品を語る」 (主催)日本建築学会・東北支部・九州支部 (協賛)日本板硝子・東京ガス (受賞作品) 苓北町民ホール 阿部 仁史(東北大学大学院教授) 小野田泰明(東北大学大学院助教授)</p>		

<p>7.3 東京会場</p> <p>7.1 仙台会場(東北支部)</p> <p>7.10 福岡会場(九州支部)</p>	<p>せんだいメディアテーク 伊東 豊雄(伊東豊雄建築設計事務所代表取締役) 佐々木睦朗(名古屋大学大学院教授) ひらたタウンセンター 富永 讓(富永讓+フォルムシステム設計研究所代表)</p> <p>記念講演:阿部仁史(前掲)+小野田泰明(前掲) 伊東豊雄(前掲)+佐々木睦朗(前掲)</p> <p>パネルディスカッション: 阿部仁史(前掲) 小野田泰明(前掲) 伊東豊雄(前掲) 佐々木睦朗(前掲) 元倉眞琴(スタジオ建築計画代表取締役/2003年学会賞選考委員) 司会:中谷正人(中谷ネットワークス/建築文化事業委員会幹事)</p> <p>記念講演:阿部仁史(前掲)+小野田泰明(前掲) 富永 讓(前掲)</p> <p>パネルディスカッション: 阿部仁史(前掲) 小野田泰明(前掲) 富永 讓(前掲) 岡部憲明(岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表/2003年学会賞選考委員) 司会:小泉雅生(東京都立大学助教授/建築文化事業委員会委員)</p> <p>記念講演:伊東豊雄(前掲)+佐々木睦朗(前掲) 富永 讓(前掲)</p> <p>パネルディスカッション: 伊東豊雄(前掲) 佐々木睦朗(前掲) 富永 讓(前掲) 三宅理一(慶應義塾大学教授/2003年学会賞選考委員/司会)</p>	<p>建築会館ホール</p> <p>仙台シルバーセンター</p> <p>NTT 夢天神ホール</p>	<p>250 名</p> <p>350 名</p> <p>320 名</p>
<p>8.1~6</p> <p>7.22</p> <p>8.1~2</p>	<p>Student Summer Seminar '03 「いま、もしも君がフラーなら ~ Back to the Fuller / Forth to the Future ~」 (主催)日本建築学会 (協賛)小川テック、川口金属工業、清水建設、神鋼鋼線工業、新日本製鐵、住軽日軽エンジニアリング、大成建設、太陽工業、竹中工務店、東京製鋼、(株)巴コーポレーション、西松建設、日本鑄造、フイグラ、三井物産ハウステクノ、横河工事</p> <p>コンペ審査 ノミネート13作品(31作品中) 課 題:小規模な仮設空間の提案 審査員:今村雅樹、小泉雅生、岡田章、金田勝徳、斎藤公男、佐藤慎也、芝山哲也、中谷正人</p> <p>ワークショップ 第1日:レクチャー(講師:斎藤公男(日本大学教授)他)、 二次審査・講評、入選案7作品の制作 コンテスト入選数:7作品</p>	<p>建築会館中庭イベントスペース</p>	<p>68 名</p>

	コンテスト特別賞：6 作品 第 2 日：作品制作、発表、最終審査 8 月 6 日まで展示		
--	--	--	--

(2) 講座

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
10.4	<親と子の都市と建築講座 2003> 第 1 回 きてみてビックリ! 上野公園“最”発見 (主催)日本建築学会 (共催)国立科学博物館 ファシリテーター:西河哲也(谷中学校) スタッフ学生ほか:28名	国立科学博物館上野本館講堂・ほか	27 名
10.25	第 2 回 さがしもんじゃ! ～佃・月島・晴海にかくれたなかま～ (主催)日本建築学会 (共催)晴海デザインセンター (後援)中央区、中央区教育委員会 ファシリテーター:志村秀明(芝浦工業大学) 学生スタッフ:27名	晴海デザインセンターほか	19 名 (申込 24 名)
3.6	子どもとまち(建築・都市)～地域の環境を題材とした総合的学習プログラム開発ワークショップ～ (主催)日本建築学会 (後援)港区、港区教育委員会 (協賛)大成建設 基調報告:まち(建築・都市)を題材にした指導案の作成と実施方法 講 師:菅原弘一(仙台市立南小泉小学校教諭) コメンテーター: 細田洋子(建築と子供たちネットワーク仙台・仙台市街並みデザイン課長) 港区での実践と課題: 講 師:横山謙悟(赤羽小学校教諭) 小杉則義(赤坂小学校教諭) 竹村 郷(青南小学校教諭) 進 行:木下 勇(千葉大学) 志村秀明(芝浦工業大学)	港区赤羽小学校講堂	51 名
	<親と子の建築講座> (共催)本部・東北支部・東海支部・北陸支部・近畿支部・中国支部・九州支部		
7.27	<東北支部> 青森会場 (主催)青森支所 テーマ:「手作りの測量器械で長さや土地の広さを測ろう」 講 師:古跡昭彦(青森県立弘前工業高等学校教諭)	岩木青少年スポーツセンター	50 名
7.13	仙台会場 テーマ:「まちづくりを考えよう 宮城野通まちたんけん 新しい仙台の玄関口として」 講 師 渋谷セツコ(建築と子供たちネットワーク仙台)	仙台市中央市民センター	64 名

10.26	山形会場 (主催)山形支所 テーマ:「山形レトロ館めぐり」 講師:木村勉(文化財建造物保存技術協会)	山形県郷土館	50名
10.19	福島会場 (主催)福島支所 テーマ:「建築のひみつ“かたちとつよさ”」 講師:倉田光春(日本大学教授)	郡山市ふれあい科学館	43名
10.25	<東海支部> 愛知会場 講座1 テーマ:「7匹の子豚」	名古屋市立大学	16名
10.25	三重会場 講座2 テーマ:「東海道関宿でむかしの生活を体験しよう」 講師:嶋村明彦(関町子どもの居場所づくり支援センター運営委員会)他10名	関宿旅籠玉屋歴史資料館 関宿の町並	34名
9.27	<北陸支部> 新潟会場 講座1 テーマ:「なき竜ってどんなりゅう」(室内音響に関して) 講師:岩瀬 昭雄(新潟大学教授)	新潟大学工学部 211 講義室	26名
10.25	新潟会場 講座2 テーマ:「建物の強さのひみつ・ゆれの秘密」(建築構造に関して) 講師:穂積秀雄(新潟工科大学教授)	新潟県立自然科学館講堂	27名
11.15	長岡会場 講座3 テーマ:「あったかい住まいの秘密」 講師:五十嵐由利子(新潟大学教授)	長岡造形大学 203 講義室	43名
8.2	<近畿支部> 第4回 住まいと暮らしのワークショップ 親と子の都市と建築教室「家をつくろう」 (主催)近畿支部・大阪市立住まい情報センター 講座1 テーマ:「家はどのようにできてるの」 講師:畠山博明(畠山水建工業)	大阪市立住まい情報センター5階ホール	59名
8.9	講座2 テーマ:「こんな部屋があったらいいな」 講師:飯田英二(IMO)		69名
8.10	講座3 テーマ:「部屋をつくってみよう」 講師:黒川宗範(大林組)		75名
8.10	<中国支部> 岡山会場 (主催)岡山支所 (共催)岡山県建築士会、岡山県建築士事務所協会、日本建築家協会、岡山建築家の会、岡山建築設計クラブ、日本建築構造技術者協会中国支部岡山支所 テーマ:「未来の街・岡山をつくろう～段ボールや身近な材料を使って作る僕の建物、私の家」	旧岡山市立出石小学校体育館	22チーム 約110名

8.23	広島会場 (共催)広島県建築士会広島支部女性部会 ワークショップ「親と子でつくる家とまち」	広島市まちづくり 市民交流プラザ	親子9組 26名
10.21	<九州支部> 福岡会場 テーマ:「夢の商店街をつくろう」 講師:廣瀬正人(計画・環境建築) 水野宏(水野宏建築事務所)	福岡市立南当仁小 学校	40名

(3) 展覧会

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
2004. 2.9~20	設計競技入選作品展示会 日本建築学会設計競技 課題「みち」 全国入選・タジマ奨励賞 18点 技術部門設計競技 課題「火災に強い高層木造建築システム」 入選 7点	建築博物館ギャラ リー	150名
2003. 11.10~30	建築博物館企画展 「わたしの同潤会アパート展」	建築博物館ギャラ リー・イベント広 場	3,938名
2004. 1.21~2.6	図書館所蔵「辰野文庫・妻木文庫資料展」	建築博物館ギャラ リー	540名
2004.3.12 ~4.2	図書館所蔵「辰野文庫・妻木文庫資料展」第2回	建築博物館ギャラ リー	660名

9.3 技術部門設計競技

<課 題> アイデアコンペ「火災に強い高層木造建築システム」

<主 催> 日本建築学会

<主 旨>

近年、木造は、地球環境問題や資源の再生・再利用可能性等の観点から再評価の気運にあるが、その一方、法令的には、日本で長く頻発した市街地火災を背景として、木造建築物には建築基準法等で厳しい制限が課せられていた。

1998~2000年に行われた建築基準法改正では、防火について性能規定の考え方がかつてなく大幅に取り入れられ、木質系構造でも、要求性能を満足すれば耐火建築物と認められる道筋がつけられた。しかし、実際にそのような建築が広く実現するまでには数多くのハードルが残されており、木質系の耐火構造の研究が各方面で試行錯誤的に進められているのが現状である。2003年度の設計競技(技術部門)では、こうした状況を踏まえて、現行の法令の枠組みにとらわれず、可燃材料に基づく構造で火災安全を性能的に確保する設計の提案を広く求め、木造建築の将来的可能性を開拓するきっかけにしたいと考えた。

<審 査 員> 塚越 功(委員長)・上杉三郎・河野 守・関沢 愛・内藤 廣・長谷見雄二・播 繁・北後明彦

<応募資格> (1)本会または本会の海外協力協定締結団体*の会員(準会員を含む)個人
(2)本会または本会の海外協力協定締結団体*の会員のみで構成するグループ

*協力協定集結団体:大韓建築学会、中国建築学会、中華民国(台湾)建築学会、American Society of Civil Engineers(ASCE)、Association of Collegiate Schools of Architecture(ACSA)

< 授 賞 >
(: 代表者)

賞 名	提案テーマ	応募者名	所 属
最優秀賞	ハットラスとハイブリッドカラムを併用した木造架構システム	池田憲一、水落秀木、青木裕一、古株友徳、貞広修、松井和幸、中島英己、佐藤文人、広田正之、齋藤秀人	清水建設
優秀賞	High-Rise Wooden Apartment Model for Next Generation 性能火災安全設計法に基づく高層木質ハイブリッド建築物の提案	大宮喜文、松山賢、向井智久、山田俊之、藤原昌平	東京理科大学
優秀賞	ヒューマンスケールな木部材で構成された高層木造オフィスビル	小林正美*1、小林広英*1、木藤守朗*1、大窪健之*1、田中哮義*1、榊田洋子*2	*1 京都大学 *2 桃李舎
佳 作	STRUCTURAL SPACE A PREFABRICATED TIMBER MONOCOQUE	John Barr*1、櫻原 健一*2	*1 ジョンパー建築設計事務所 *2 鴻池組
佳 作	Ambivalent Structure	井田敦之*1/*2、峯岸良和*2、土屋伸一*3、今枝亮一*4	*1NPO 法人災害情報センター *2 早稲田大学 *3 明野設備研究所 *4 三菱地所設計
佳 作	WOOD TOWER COILED WITH SPIRAL TUBE	福永毅	あまのじゃ倶楽部 一級建築士事務所
佳 作	TOKIO Project「燃え止まり集成材による純木構造システム」	堀長生*1、谷口元*2、江戸宏彰*1、永原克巳*1、高橋晃一郎*1、丹羽博則*1、山口純一*1、小林照雄*1、川口晋*1、葛西秀樹*1、横堀淳一*1、橋本康則*1、山中昌之*1、中島恵美*1、安部裕*2、高橋拡*2、上原茂男*2、津村千香子*2、西村俊彦*2、井出義人*2、稲山正弘*3(稲山建築設計事務所)	*1 大林組 *2 竹中工務店 *3 稲山建築設計事務所

応募総数：25 件

9.4 教育・文化事業参加者数

事 業 内 容	参加者数	
建築文化週間	本 部	840 名
	支 部	2,000 名
講演会・講座・セミナー	学会賞受賞者記念講演会	920 名
	学生サマーセミナー03	68 名
	親と子の都市と建築講座本部	97 名
	親と子の都市と建築講座支部	732 名
展示会	設計競技全国入選作品展示会	150 名
	わたしの同潤会アパート展	3,938 名
	辰野文庫・妻木文庫資料展	1,200 名
合 計	9,945 名	

10. 国際交流事業

10.1 国際交流振興基金

国際間の研究交流ならびに研究成果の国際流通促進のための事業を援助した。

上期配分額	482,000 円
下期配分額	600,000 円
合計	1082,000 円

申請 4 件，採択 4 件

期	事業名	申請者	実施時期	援助額
上期	2003 年度大会研究懇談会「市民・子ども・建築博物館」への招聘	建築教育委員会	2003.9.6	150,000 円
"	国際シンポジウム「多様性の中に循環型社会の未来を探る」への招聘	近畿支部	2003.6.27～29	332,000 円
下期	わたしの同潤会アパート展シンポジウムへの講師招聘	わたしの同潤会アパート展実行委員会	2003.11.15	370,000 円
"	公開研究交流会「美しくすむかたち」への講師派遣	農村計画委員会	2003.11.1～2	230,000 円
合計				1,082,000 円

10.2 渉外関係

- (1) 大韓建築学会訪日歓迎会へ仙田会長，秋山宏次期会長，佐野幸夫副会長，齋藤専務理事出席（東京，2003年5月）
- (2) 中国建築学会創立50周年記念式典へ秋山会長，三橋総務理事が出席（北京，2003年10月）
- (3) 中国建築学会，大韓建築学会との3会によるJAABE Editorial Board Meeting（東京，2003年11月）
- (4) 中国建築学会，大韓建築学会との3会によるJAABE Editorial Board Meeting（北京，2004年2月）

10.3 外国人来会者

2003.5.29	韓国建設研究情報センターから Jaepil Choi 副センター長（ソウル大学教授）ほか 2 名「東アジア建築情報ネットワーク」（eAINA）のサイト構築状況，管理者モジュール使用方法等の説明の後懇談
2003.10.29	本会名誉会員ジョン・ハブラーケン君（MIT 名誉教授）オープンビルディングの産業化小委員会研究協議会にて講演を行ったのち意見交換
2003.11.6～7	中国建築学会 Zhou Chang 秘書長，Hao Luoxi，Lu Xilin，Zhuang Weimin，Hu Huiqin の各エディター。大韓建築学会 Kim Kwang-Woo エディター，Kim Sang-Dae リエゾンメンバー 本会・大韓建築学会・中国建築学会による JAABE Editorial Board Meeting 出席のため
2004.2.26	北京オリンピック競技施設建設のための中国建設技術者視察団の劉友芳氏（北京城建集団第一建設公司副総経理），廖礼永氏（同副総工務師），梅木信秋氏（日中建設技術友好協会副会長）ほか 表敬訪問

10.4 日本現代建築 1985-1996 展

日本現代建築展は、創立 100 周年記念事業の一環として、本会と国際交流基金の主催で日本の現代建築を世界各国に紹介することを目的として開催した。その後海外におけるわが国の建築への関心は近年高まる一方で、最初の展示作品パネルが 10 年経ったのを機に、新たにこの 10 年間の日本の建築を 7 つのカテゴリー（メトロポリス、中規模都市、市町村、郊外、埋立地、田園都市、別荘）に分けた 100 作品で構成し、A、B の 2 つのコースで世界を巡回している。

	地域	国	都市	会場	期間
(A)	中南米	アルゼンチン	ネウケン州ネウケン市	ネウケン市立“エリリオ・サラコ”展示会場	2004.1.2 - 1.17
(A)	中南米	アルゼンチン	ブエノスアイレス	アルゼンチン建築家協会展示会場	2003.12.15 - 12.31
(A)	中南米	チリ	サンチアゴ	チリ大学建築学部ラ・カソナ・ギャラリー	2004.3.11 - 3.31
(A)	中南米	ブラジル	サンパウロ	アルマンド・アルバラス・ペンテアド財団ブラジル美術館	2003.11.17 - 12.14
(A)	中南米	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	国立歴史博物館	2003.4.30 - 5.25
(A)	中南米	ブラジル	クリチバ	パラナ州現代美術館	2003.6.12 - 6.29
(A)	中南米	ブラジル	ブラジリア	連邦貯蓄銀行文化施設	2003.9.22 - 10.5
(A)	中南米	ブラジル	ベレーン	パラ州博物館	2003.9.2 - 9.17
(A)	中南米	ブラジル	レシフェ	イベント会場	2003.7. 9 - 7.22
(A)	中南米	ブラジル	ポルト・アレグレ	リーテル・ドス・レイス大学	2003.10.14 - 10.24
(A)	中南米	ブラジル	マナウス	ウジナ・シャミネー文化センター	2003.8.6 - 8.24
(B)	欧州	ベラルーシ	ミンスク	友好会館	2003.9.1 - 9.30
(B)	欧州	ベラルーシ	ヴィチェプスク	ベラルーシ芸術家同盟ヴィチェプスク州支部展示場	2003.9.1 - 9.30
(B)	欧州	ポーランド	ワルシャワ	在ポーランド日本大使館広報文化センター	2003.10.14 - 11.7
(B)	アフリカ	ガボン	リーブルビル	フランス文化センター	2003.6.6 - 6.14
(B)	欧州	アイスランド	コーパヴォーゲル	ゲルザルサブン美術館	2003.11.22 - 12.7
(B)	欧州	アイルランド	ダブリン	王立アイルランド建築家協会	2004.1.8 - 1.27
(B)	アフリカ	ベナン	コトヌー	手工業増進センター	2003.7.31 - 8.10

11. 図書館

11.1 運営管理

(1) 図書館各室の名称と面積

- ・一般閲覧席と開架部分 493 m²
- ・大書庫 86 m² 小書庫 17 m² 特別閲覧室 32 m² 記念図書室 38 m² 総面積 666 m²

(2) 受け入れ蔵書数

・単行図書(和)	1,045 冊	累計	32,656 冊
(洋)	34 冊		5,535 冊
計	1,079 冊		38,191 冊
・雑誌(和)	621 種 2,869 冊		1,587 種
(洋)	90 種 719 冊		232 種
計	711 種 3,588 冊		1,819 種

(3) 図書館蔵書目録データベース化

・和書	1,395 冊	累計	33,008 冊
・洋書	64 冊		5,565 冊
・雑誌			
記事索引	9,857 件		52,962 件
和雑誌	622 種 3,410 冊	1,587 種	23,119 冊
洋雑誌	117 種 749 冊	232 種	7,516 冊
・視聴覚			
ビデオ	5 件		553 件
CD-ROM	13 件		137 件
DVD	1 件		3 件
録音カセット	-		181 件
スライド	-		118 件
写真資料 (マイクロフィルム を含む)			782 件
計	15,494		123,947

・総目録検索データ

- 1) 1976年1月～2004年3月までに構築された雑誌・論文の目次データ 174,392 件
- 2) 学会作成分(2003.4-2004.3) 2,006 件

・NACSIS-ELS 電子図書館データ提供 なし

【これまでの公開データ】

建築雑誌(明治20年-平成14年)	1,276 冊	一部断続
論文集(昭和11年-昭和19年)	33 冊	
研究報告(昭和22年-昭和37年)	63 冊	
大会梗概集(昭和43年-昭和63年)	72 冊	

・韓国建設研究情報センター東アジア建学情報ネットワーク CRIC データ提供

- 建築雑誌(2001年4月-2003年3月)
- 技術報告集(2002年6月-2003年6月)
- 作品選集(2003年)

英文論文集 (2002年3月-2003年11月)
 総合論文誌 (2003年2月)
 論文集 計画系 (2001年4月-2004年2月)
 論文集 構造系 (2001年4月-2004年2月)
 論文集 環境系 (2003年4月-2004年2月)
 大会梗概集 CD-R (2001年 - 2003年)

- (4) 視聴覚ライブラリーの運営
 ・ビデオ, CD-ROM 等を閲覧に供した。
- (5) NACSIS-IR, NACSIS-ELS 利用登録状況
 2003年度登録者 16人
 総登録者数 328人 (1994~2003年度)

11.2 「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈

- (1) 建築雑誌
 チェコ1 オランダ1 ギリシャ1 ハンガリー1 ロシア1 イギリス1 アメリカ3 台湾2
 大韓民国9 中華人民共和国3 インド1 インドネシア1 マレーシア1
 13か国 26機関
- (2) 論文集
 オーストラリア3 ブルガリア1 カナダ1 チェコ1 フランス1 インド4 インドネシア3
 モロッコ1 ネパール1 ノルウェー1 フィリピン1 ポルトガル2 ルーマニア1 スウェーデン1
 タイ1 イギリス3 アメリカ6 ロシア1 大韓民国5 台湾2 中華人民共和国3
 21か国 41機関
- (3) 英文論文集
 モンゴル1
 1か国 1機関

11.3 受入図書・雑誌・研究報告

種別	購入				寄贈				学会				計
	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	
和書	18	41	3	0	785	2,121	587	15	242	17	98	4	3,931
洋書	7	413	28	0	27	180	96	0	0	0	0	0	751
計	25	454	31	0	812	2,301	683	15	242	17	98	4	4,682

11.4 利用者数

・2003年度図書館利用者数

会員種別 年月	正会員	準会員	法人会員	会員外	土木学会会員	計
2003年4月	377	10	78	38		503
5月	427	37	60	36		560
6月	343	29	39	35		446
7月	429	24	45	39		537

8月	336	18	39	33		426
9月	359	20	31	38		448
10月	385	25	64	47		521
11月	360	18	63	52		493
12月	283	29	39	31		382
2004年1月	371	18	37	41		467
2月	318	8	39	30		395
3月	351	2	45	31	2	431
計	4,339	238	579	451	2	5,609

- ・利用者昨年比7%（429人）減
- ・開館日数 241日

12. 建築博物館

12.1 運営管理

(1) 建築博物館の各室の名称と面積

- ・ 建築博物館ギャラリー 99 m²
- ・ 建築博物館作業室 58 m²
- ・ 収蔵庫 90 m²

(2) 受け入れ資料

仮受け入れ

- ・ 清家清資料 清家清氏寄贈 (図面約 10,000 点)
- ・ 山田守資料 山田達郎氏寄贈 (図面など 57 点)
- ・ 曾祢中條建築事務所資料 藤森照信氏寄贈 (図面約 361 点)
- ・ 宮脇檀資料 宮脇彩氏寄贈 (CD-ROM20 枚)
- ・ 石田繁之介資料 同氏寄贈 (図面など 7 点)

12.2 事業

展覧会開催

(1) 建築博物館企画展

わたしの同潤会アパート展

2003 年 11 月 10 日 - 11 月 30 日

9.2 参照

- ・ 映像上映ワークショップ

2003.11.15

- ・ 特別講演会 Housing as a Social Condenser

「社会の凝集装置としての集合住宅：

欧米の文脈から同潤会を切る」(R. プランツ)

2003.11.15

- ・ シンポジウム

「証言：同潤会アパートが消えてきた姿」

2003.11.22

(2) 図書館所蔵資料展

「辰野文庫・妻木文庫資料展」

2004 年 1 月 21 日 - 2 月 6 日

「辰野文庫・妻木文庫資料展 (第 2 回)」

2004 年 3 月 12 日 - 4 月 2 日

9.2 参照

13 . 建策・進言・要望・提言

提出年月日	要 望 事 項	提 出 先
2003. 5. 12	国際文化会館の保存活用に関する要望書	財団法人国際文化会館理事長
5. 14	良い建築とまちづくりのための建築設計ブリーフの実践に向けての提言	
5. 14	良好な建築物による社会ストック形成のための提言	
6. 23	2000年6月制定・改正建築基準法の防火関連告示に関する意見(社団法人 日本建築学会近畿支部防災計画部会 / 防火委員会 / 建築計画委員会安全計画小委員会)	建築住宅性能基準運用協議会
9. 30	公共建築の設計者選定方法の改善についての提言	
2004. 1. 16	景観緑三法に関する見解および提言	国土交通省大臣

会長談話

2003.12.23	朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故調査委員会「朱鷺メッセ連絡デッキ崩壊メカニズム案旨」(平成15年12月21日)を読んで
------------	---

14. 刊行図書

14.1 直営出版物

(1)新刊・改定(訂)版

1. 建築工事標準仕様書・同解説 SI単位版	JASS	3	土工事および山留め工事 地業および基礎スラブ工事	1,500部
2. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	12	屋根工事	1,500部
3. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	17	ガラス工事	1,500部
4. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	27	乾式外壁工事	1,500部
5. 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説				5,000部
6. 鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ - メカニズムと対策技術の現状				1,500部
7. 鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計・施工指針(案)・同解説				1,000部
8. 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編 SI単位版				2,000部
9. 鉄骨精度測定指針 SI単位版				2,500部
10. 建築工事における工程の計画と管理指針・同解説				2,000部
11. 建築基礎構造設計例集				2,500部
12. 建築士のためのテキスト 小規模建築物を対象とした地盤・基礎				3,500部
13. 木質構造限界状態設計指針(案)・同解説				1,500部
14. 高力ボルト接合設計施工ガイドブック				2,000部
15. 鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針(案)・同解説				1,500部
16. 壁式構造関係設計規準集・同解説(壁式鉄筋コンクリート造編)				2,000部
17. 容器構造設計指針・同解説(英語版)				400部
18. 建物の火害診断及び補修・補強方法				500部
19. 文教施設の耐震性能等に関する調査研究(報告書)				2,000部
20. 学校施設の非構造部材等の耐震点検に関する調査研究(報告書)				2,000部
21. 学校施設の耐震改修に関する調査研究(報告書)				2,000部
22. 2003年5月26日宮城県沖の地震災害調査報告 2003年7月26日宮城県北部の地震災害調査報告				300部
23. 構造入門教材 はじめてまなぶ ちからとかたち				2,000部
24. 建築法規用教材 2004				5,500部
25. 建築倫理用教材				3,000部
26. 建築作品年鑑 2003				1,400部
27. 建築基準法令集 平成16年版				4,000部
	合計	27	点	56,100部

(2)重版

1. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	1	一般共通事項	1,500部
2. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	5	鉄筋コンクリート工事	5,000部
3. 建築工事標準仕様書	JASS	6	鉄骨工事 SI単位版	4,000部
4. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	14	カーテンウォール工事	700部
5. 建築工事標準仕様書・同解説	JASS	15	左官工事	500部
6. 建築物の改修の考え方・同解説				500部
7. 建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説				700部
8. 建築基礎設計のための地盤調査計画指針				500部
9. 小規模建築物基礎設計の手引き				1,500部
10. 建築士のためのテキスト 小規模建築物を対象とした地盤・基礎				5,000部
11. 木質構造設計規準・同解説 - 許容応力度・許容耐力設計法 -				1,500部

12. 鋼構造設計規準 SI 単位版	3,000 部
13. 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 - 許容応力度設計法 -	4,000 部
14. 鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 - 許容応力度設計と保有水平耐力 -	1,500 部
15. 建築材料用教材	3,000 部
16. 建築材料実験用教材	4,000 部
17. 構造用教材	10,000 部
18. 建築環境工学実験用教材 環境測定演習編	1,000 部
19. 建築環境工学用教材 - 設備編 -	1,500 部
20. 建築材料用ビデオ教材 1 1 建築用シーリング材編	30 部
21. 建築材料用ビデオ教材 2 0 セメント・コンクリート編 - 1	30 部
22. 建築材料用ビデオ教材 2 1 セメント・コンクリート編 - 2	30 部
合計 22 点	49,490 部

14.2 委託出版物

(1) 新刊・改定（訂）版

1. 建築設計資料集成 [物品]	3,600 部
2. 建築設計資料集成 [地域・都市 - プロジェクト編]	3,600 部
3. 建築設計資料集成 [地域・都市 - 設計データ編]	3,100 部
4. 建築設計資料集成 [展示・芸能]	3,600 部
5. まちづくり教科書 第 1 巻 まちづくりの方法	2,000 部
6. まちづくり教科書 第 2 巻 町並み保全型まちづくり	2,000 部
7. まちづくり教科書 第 3 巻 参加による公共施設のデザイン	2,000 部
8. まちづくり教科書 第 4 巻 公共建築の設計者選定	2,000 部
9. 建築紛争ハンドブック	1,500 部
10. シリーズ地球環境建築・専門編 3 建築環境マネジメント	2,000 部
11. ガラスの建築学 光と熱の快適環境の知識	2,500 部
12. 集合住宅のリノベーション	1,800 部
13. 空間要素 世界の建築・都市デザイン	4,000 部
14. 対話による建築・まち育て 参加と意味のデザイン	2,500 部
15. 計画・設計のための建築情報用語事典	2,500 部
16. 建築における電磁シールド材料と施工	1,500 部
17. 建築におけるシールド材料・施工 磁気シールド	1,500 部
合計 17 点	41,700 部

(2) 重版

1. 第 2 版 コンパクト建築設計資料集成	9,020 部
2. 建築設計資料集成コンパクト < 住居 >	1,540 部
3. 日本建築史図集	3,000 部
4. 西洋建築史図集	9,000 部
5. 近代建築史図集	2,000 部
6. 東洋建築史図集	1,000 部
7. シリーズ地球環境建築・入門編 地球環境建築のすすめ	1,000 部
8. 設計計画パンフレット 4 建築の音環境設計	1,000 部
9. 建築教材「雪と寒さと生活」 発想編	1,000 部
10. シックハウス対策のバイブル	1,500 部
11. 建築設計資料・空間 S E R I E S 子供の空間 幼稚園・小学校	1,000 部
12. 知的システムによる建築・都市の創造	500 部
13. シックハウス事典	2,500 部

14. 都市・建築空間の科学 - 環境心理生理からのアプローチ -	500 部
15. 空間体験 世界の建築・都市デザイン	1,500 部
16. 人間環境学 よりよい環境デザインへ	500 部
17. 建築学用語辞典 第2版	500 部
合計 17 点	37,060 部

14.3 刊行物数

刊行物		刊行点数	発行部数
直営出版物	新版および改定（訂）版	27	56,100 部
	重版	22	49,490 部
委託出版物	新版および改定（訂）版	17	41,700 部
	重版	17	37,060 部
合計		83	184,350 部

15. 会 館

15.1 建築会館

(1) 所在地・規模・構造

東京都港区芝5丁目26番20号

敷 地 3,052m²

建築面積 2,473m²

延べ床面積 10,522m²

鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造

地下 1階 地上 7階

(2) 使用状況（専有床面積）

本会使用分 3,518m²

賃貸借契約部分 4,107m²

(3) テナント

1) 建築関係団体・公益法人

(社)日本建築士会連合会, 日中建築技術交流会, (財)震災予防協会,
民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会, (社)商業施設技術者・団体連合会,
(社)日本医療福祉建築協会, (社)建築研究振興協会, (社)日本建築美術工芸協会,
(社)仮設工業会, 日本建築仕上学会, 繊維補修補強協会, (社)建築設備総合協会,
全国ビルリフォーム協同組合連合会, 緑の列島ネットワーク, 日本技術者教育認定機構,
(社)日本工学教育協会, 職業能力開発総合大学校 起業・新分野展開支援センター,
日本地震工学会, (社)日本工学アカデミー, (社)日本工学会

2) 民間

(株)デザインシステム, アビコム・ジャパン(株), (株)オーエムソーラー協会,
スウェーデンスティール(株), (株)MIA, (株)日本パーツセンター, 日本コムシンク(株),
フォーチュン・キャピタル(株), (株)東京ロックサービス, (株)オルグアンドカンパニー,
(株)ケシオン, 堀田実(アサ国際特許事務所), (株)コスモテック, (株)ピース・リサーチ,

3) 店舗

ニュートーキョー商事(株), ヘアーアベニューファミ, テイボンフードシステム(株),
(株)タスコシステム, (株)壁の穴, (有)東池袋商事, (株)エルマ

(4) 建物賃貸借契約の新規契約および解除

- 1) (株)エヌ・テー2003年5月31日付をもって契約解除
- 2) (有)東池袋商事2003年6月1日付をもって契約
- 3) (社)日本建築美術工芸協会2003年6月21日付をもって契約変更
- 4) (社)日本工学会2003年6月21日付をもって契約
- 5) (株)二條2003年8月31日付をもって契約解除
- 6) (株)エルマ2003年9月1日付をもって契約
- 7) (社)仮設工業会2003年9月21日付をもって契約変更
- 8) (株)デザインシステム2003年10月1日付をもって契約変更
- 9) (株)日本コムシンク2003年10月20日付をもって契約変更
- 10) (株)デザインシステム2003年12月31日付をもって一部契約解除
- 11) (株)コスモテック2004年1月1日付をもって契約

12) (株)ピース・リサーチ2004年1月15日付をもって契約

13) 日中建築技術交流会2004年3月31日付をもって契約解除

15.2 建築会館ホール利用状況

数字は利用回数

年 月 内 訳	2003年										2004年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学会委員会等	1	3	1	6	8	4	6	8	5	7	7	10	66	
会 員	8	14	15	6	2	4	14	10	9	4	10	3	99	
一 般	1	3	5	8	6	6	3	5	5	5	9	6	62	
計	10	20	21	20	16	14	23	23	19	16	26	19	227	

15.3 建築会館会議室使用状況

年 月 内 訳	2003年										2004年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学会委員会等	259	296	273	332	197	292	318	288	276	293	233	365	3,422	
一般貸会議室	33	41	50	48	20	32	47	37	30	30	46	40	454	
計	292	337	323	380	217	324	365	325	306	323	279	405	3,876	

15.4 建築博物館・ギャラリー利用状況

期 日	展 示 名 称
2003	
3.28～4.3	第16回東京ガス「建築環境デザインコンペティション」入賞作品展
4.7～4.11	菊竹スクール展
4.14～4.18	木村建一水彩画展
5.12～6.13	日本建築学会賞(作品・業績)/作品選奨受賞作品展示
6.16～6.27	(社)日本建築美術工芸協会「アートパラダイス展」
6.30～7.13	東京読売理工専門学校「専門学校卒業作品展」
7.22～7.25	谷本潤水彩画の世界
8.1～8.7	2003学生サマーセミナー
8.5～8.17	建築家たちのスケッチ展
8.28～9.4	American Wood Design Awards 2002 作品展
8.28～9.4	第12回賞瓦屋根・景観等設計実施例コンクール入賞作品展示
9.10～9.21	内田祥哉展
9.25～10.1	塩原病院プロポーザルコンペ優秀作品展
10.3～10.4	芝浦工業大学「建築展」
10.5～10.9	日本大学生産工学部建築工学科「2003 建築展」
10.11～10.24	「フローラの誘惑」津島栄一の新しき世界絵画展
10.27～11.7	AACA第2回シナジー展
11.10～11.30	わたしの同潤会アパート展
12.4～12.26	中世モルドヴァの修道院文化展
2004	
1.9～1.19	『都市住宅』再読・植田 実の編集現場
1.21～2.6	図書館所蔵「辰野文庫・妻木文庫」資料展

1.26 ~ 2.4	第38回セントラル硝子国際建築設計競技作品展
2.9 ~ 2.20	2003年度日本建築学会設計競技課題「みち」/日本建築学会技術部門設計競技「アイデアコンペ 火災に強い高層木造建築システム」入選作品展
2.23 ~ 2.27	第30回日新工業建築設計競技作品展
3.12 ~ 4.2	近畿の街並み・まちづくり展示会
3.12 ~ 4.2	図書館所蔵「辰野文庫・妻木文庫」資料展

15.5 三宅島研修所「棟梁に学ぶ家」

(1) 所在地・規模・構造

施設概要

所在地 東京都三宅島三宅村阿古532 - 1

構造 木造・板葺き

規模 本棟 86.95m²

別棟 9.92m² (風呂・便所)

設備 電気, ガス (プロパン), 給排水, 流し台, 冷蔵庫

宿泊 1回10名まで可能

(2) 三宅島研修所使用状況

火山噴火活動により2000年9月より閉鎖中

16. 会 員

16.1 会員数の移動

種 別 摘要	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
入 会	3,063	23	28	3,086	640	6	10	3,732
資 格 変 更	7	4		11	2	3		16
転 格	481			481				481
除名退会復活	140			140	5			145
小 計	3,691	27	28	3,718	647	9	10	4,374
死亡・退会	2,455	150	198	2,605	30	18	21	2,653
資 格 変 更	4			4	4			8
転 格					481			481
除 名	1,559			1,559	16			1,575
小 計	4,018	150	198	4,168	531	18	21	4,717
本 年 度	34,454	1,121	1,854	35,575	795	320	363	36,690
前 年 度	34,781	1,244	2,024	36,025	679	329	374	37,033
増 減	327	123	170	450	116	9	11	343

16.2 支部地域会員数

種 別 支部名	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
北海道	950	73	97	1,023	3	7	9	1,033
東 北	1,345	75	127	1,420	16	15	24	1,451
関 東	19,828	446	841	20,274	311	184	211	20,769
東 海	2,343	108	142	2,451	60	18	18	2,529
北 陸	1,169	65	77	1,234	34	27	29	1,295
近 畿	4,724	130	290	4,854	92	30	31	4,976
中 国	1,153	40	70	1,193	99	10	10	1,302
四 国	526	83	87	609	10	11	11	630
九 州	2,120	100	122	2,220	170	16	16	2,406
国 外	296	1	1	297	0	2	4	299
合 計	34,454	1,121	1,854	35,575	795	320	363	36,690

16.3 名誉会員

定款第15条により、本会の目的達成に多大の貢献をした者、または建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達に功績顕著な者。2003年度において名誉会員に推挙された方は下記11名。年度中逝去者3名。

新名誉会員 青山 博之 君 2004年3月19日（総会議決）
 飯田喜四郎 君 "
 石井 聖光 君 "
 加藤 勉 君 "
 木村 翔 君 "
 白山 和久 君 "
 仙田 満 君 "
 西村 敏雄 君 "
 松浦 邦男 君 "

棕代 仁朗 君 " "
山田孝一郎 君 " "

逝去者 吉武 泰水 君 2003年5月26日逝去
 芦原 義信 君 2003年9月24日逝去
 佐藤 重夫 君 2003年11月23日逝去

現在総数 67名

16.4 終身正会員

定款第 14 条により 2003 年度において在会 50 年に達し、終身正会員待遇者に推挙された方は下記 93 名。
年度中資格変更・退会者・逝去者等 43 名。

2003年4月 5名

草野 和夫 君(東北) 大野 勝男 君(関東) 石福 昭 君(関東) 下鳥 正孝 君(関東)
木村 薫 君(関東)

2003年5月 6名

奥平 耕造 君(関東) 吉澤 晋 君(関東) 末永 保美 君(関東) 長倉 康彦 君(関東)
田中弥寿雄 君(関東) 増戸 正 君(関東)

2003年6月 14名

鈴井 満 君(北海道) 黒川 紀章 君(関東) 本岡順二郎 君(関東) 高橋 勝 君(関東)
丸田 操 君(関東) 岡田 新一 君(関東) 沼倉 昭夫 君(関東) 濱田 五郎 君(近畿)
林 昭男 君(近畿) 杉浦 修一 君(近畿) 加賀田知憲 君(四国) 具志 幸昌 君(九州)
岩永 研一 君(九州) 柘植 成光 君(九州)

2003年7月 7名

野老 正昭 君(関東) 高木 賢 君(関東) 山口 守人 君(関東) 福嶋 速夫 君(関東)
頼成 昭 君(近畿) 山本 晃 君(近畿) 高瀬 隼彦 君(国外)

2003年8月 6名

大河 直躬 君(関東) 山田 水城 君(関東) 浜 光男 君(関東) 下河辺千穂 君(関東)
滝野 文雄 君(関東) 岩下 晶一 君(関東)

2003年9月 1名

武永 恒正 君(関東)

2003年10月 6名

渋谷 昭一 君(関東) 石神 武男 君(関東) 杉田 和雄 君(関東) 相沢 尚 君(関東)
岸田 英明 君(関東) 石浜 則哲 君(近畿)

2003年11月 11名

阿部 宏正 君(関東) 池田 永司 君(関東) 川上 良二 君(関東) 茂岡 和男 君(関東)
田口 好孝 君(関東) 前川 甲陽 君(関東) 松岡進士郎 君(関東) 山下 信夫 君(関東)
内藤 昌 君(関東) 宇野 洋平 君(近畿) 早川 和男 君(近畿)

2003年12月 6名

今泉 勝吉 君(関東) 岩崎 明 君(関東) 氏家 登 君(関東) 木村 俊彦 君(関東)
高野 重文 君(関東) 大塚 一三 君(東海)

2003年1月 5名

青山 博之 君(関東) 齋藤 孝彦 君(関東) 笹川 和郎 君(関東) 平野 道勝 君(関東)
大木 幸雄 君(東海)

2003年2月 10名

天川 恒男 君(関東) 立石 宗一 君(関東) 富安 秀雄 君(関東) 富田 輝義 君(東海)
大海 一雄 君(近畿) 鍛冶 延男 君(近畿) 川村 政美 君(近畿) 栗田 秀也 君(近畿)
山口 博彰 君(九州) 渡邊 一 君(九州)

2003年3月 16名

岩波栄三郎 君(関東) 川口 衛 君(関東) 救仁郷 斉 君(関東) 後藤 啓成 君(関東)
園部 泰寿 君(関東) 竹林 寛 君(関東) 中岡 栄三 君(関東) 松本 洋 君(関東)

三橋 千悟 君(関東) 宮入 保 君(関東) 森 保太郎 君(関東) 木村 慶一 君(北陸)
 斎藤 和夫 君(近畿) 津田 穰 君(近畿) 柳 眞也 君(近畿) 古賀 綽 君(九州)

現在総数 1,073名

16.5 会友

本年度は、推挙者なし。

16.6 メールサービス

本会講習会、シンポジウム等イベント情報、論文募集や新刊案内などをE-MAILでお知らせするサービス。
 2002年2月25日の第1号から、毎月2回送信している。

・2003年度メールサービス送信数

号 数	送 信 日	送信件数
NO.28	2003年 4月11日	10,177
NO.29	4月25日	9,878
NO.30	5月12日	9,895
NO.31	5月26日	9,937
NO.32	6月10日	9,959
NO.33	6月25日	9,994
NO.34	7月10日	10,009
NO.35	7月25日	10,028
NO.36	8月11日	10,044
NO.37	8月25日	10,068
NO.38	9月10日	9,706
NO.39	9月25日	9,737
NO.40	10月10日	9,757
NO.41	10月24日	9,776
NO.42	11月11日	9,803
NO.43	11月27日	9,848
NO.44	12月10日	9,714
NO.45	12月25日	9,741
NO.46	2004年 1月10日	9,760
NO.47	1月26日	9,794
NO.48	2月12日	9,813
NO.49	2月25日	9,830
NO.50	3月12日	9,778
NO.51	3月25日	9,802

16.7 能力開発支援制度 履修登録

2003年4月1日より能力開発支援制度の試行運用を開始し、履修登録を行った。

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) データ登録件数 | 82,282件 |
| (2) 履修登録された人数 | 13,494名 |
| (3) 履修登録カード(磁気カード会員証)使用者数 | 3,484名 |
| (4) 登録メンバー(会員外)数 | 43名 |

17. その他の重要事項

17.1 理事の登記に関する事項

登記事項	登記年月日	備考
2003年5月末日をもって任期満了の理事15名の後任として、新任の理事秋山会長ほか18名の就任登記(1名は重任)	2003年6月1日	東京法務局港出張所

17.2 監事監査会に関する事項

実施年月日	監査項目	実施場所
2003.4.25	1) 2002年度の事業報告案について 2) 2002年度の会計に関する外部監査(下園公認会計士)について 3) 内部的監査について イ)「会員サービスのあり方」について ロ)「社会的な活動」について	本会会議室

17.3 寄付に関する事項

1) 運営基金		
玉井豊治終身正会員		100,000 円
中山ふみ子様(故中山行雄終身正会員ご遺族)		10,000 円
日中建築技術交流会		2,000,000 円
計		2,110,000 円
2) 第2回学生サマーセミナー協賛金		
川口金属工業(株)		200,000 円
太陽工業(株)		100,000 円
大成建設(株)		100,000 円
新日本製鐵(株)		30,000 円
清水建設(株)		30,000 円
(株)住軽日軽エンジニアリング		30,000 円
(株)巴コーポレーション		30,000 円
西松建設(株)		30,000 円
フィグラ(株)		30,000 円
横河商事(株)		30,000 円
神鋼鋼線工業(株)		20,000 円
東京製綱(株)		20,000 円
日本鑄造(株)		20,000 円
三井物産テクノハウス(株)		20,000 円
計		690,000 円
3) わたしの同潤会アパート展協賛金		
(財)住宅生産振興事業団		300,000 円
(財)日本建築センター		50,000 円
(財)ベターリビング		50,000 円
旭化成(株)		50,000 円
計		450,000 円
総合計		3,250,000 円

17.6 委託研究の受託契約に関する事項

契約年月日	契約の名称・期間 (括弧内は理事会承認日)	委託者	担当委員会
2003. 4. 1	原子力施設鉄筋コンクリート構造物の構造計算の高度化に関する研究のうち規格策定に向けた研究 2003年4月1日～2005年3月17日 (4.16)	北海道電力(株), 東北電力(株), 東京電力(株), 中部電力(株), 北陸電力(株), 関西電力(株), 中国電力(株), 四国電力(株), 九州電力(株), 日本原子力発電株, 電源開発(株)	構造委員会
2003. 4. 1	住宅内のエネルギー消費に関する全国的調査研究 2003年4月1日～2004年3月31日(4.16)	東京電力・関西電力・九州電力	住宅内のエネルギー消費に関する特別委員会
2003. 4.14	教室等の室内環境に関する調査研究 2003年4月14日～2004年3月31日(9.10)	文部科学省大臣官房文教施設部	文教施設委員会
2003. 4.21	非木造家屋に係る再建築費評点基準表等の改正に係る基礎資料の作成 2003年4月21日～2004年3月31日(5.14)	総務省自治税務局資産評価室	建築経済委員会
2003. 5. 1	アクレディ - ション制導入支援事業 2003年5月1日～2004年3月19日(11.11)	日本技術者教育認定機構	建築教育認定事業委員会
2003. 5.15	建築学および建築学関連分野における平成15年度技術者教育プログラム認定審査 2003年5月15日～2004年3月31日(9.10)	日本技術者教育認定機構	建築教育認定事業委員会
2003. 7.24	既存学校施設の有効活用に関する調査研究 2002年7月24日～2004年3月31日(9.10)	文部科学省初等中等教育局	文教施設委員会
2003.10. 2	室内空気汚染評価のための最新データ収集および評価方法の検討 2003年10月3日～2004年2月27日 (9.10)	国土技術政策総合研究所	シックハウス問題の解明とヘルシーな居住環境の開発特別調査委員会
2003.10.30	多様化する建築プロジェクト運営方式を活用した公共発注者の業務モデルに関する調査研究 2003年10月30日～2004年2月27日(10.7)	独立行政法人建築研究所	公共発注者の業務モデルに関する調査研究委員会
2003.11.18	学校施設の防犯対策に関する調査研究 2003年11月18日～2004年3月31日 (12.16)	文部科学省大臣官房文教施設部	文教施設委員会
2003.12.16	具体事例を対象とした再生計画手法, ならびに計画手法の検討とコンセプトに関する調査研究 2003年12月17日～2004年2月13日 (11.11)	都市基盤整備公団	公団住宅ストックの再生に係る計画手法に関する委託研究委員会
2003.12.16	家屋の評価方法に関する調査研究 2003年12月16日～2004年2月15日 (11.11)	財団法人資産評価システム研究センター	建築経済委員会
2004. 1. 9	建築分野の技術研究開発に関する調査業務 2004年1月10日～2004年3月31日 (2004.3.31)	国土交通省	学術推進委員会

18. 役員等

18.1 民法上の役員

2003年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	秋山 宏	2003年6月1日	総括	なし	日本大学教授	
副会長	佐藤 滋	2002年6月1日	研究	なし	早稲田大学教授	
同	小倉 善明	2002年6月1日	会務	なし	日建設計顧問	
同	和田 章	2003年6月1日	情報	なし	東京工業大学教授	
同	重村 力	2003年6月1日	支部	なし	神戸大学教授	
同	表 佑太郎	2003年6月1日	教育	なし	大林組常務取締役	
理事	陣内 秀信	2002年6月1日	総務	なし	法政大学教授	
同	三橋 博巳	2003年6月1日	同	なし	日本大学教授	
同	在塚 礼子	2002年6月1日	会計	なし	埼玉大学教授	
同	山際 二郎	2003年6月1日	同	なし	日建設計取締役常務執行役員	
同	有田 桂吉	2002年6月1日	会員	なし	石本建設事務所常務執行役員	
同	吉田 治典	2003年6月1日	同	なし	京都大学教授	
同	最上 公彦	2002年6月1日	学術	なし	竹中工務店取締役	
同	河野 泰治	2003年6月1日	同	なし	福岡大学教授	
同	翠川 三郎	2003年6月1日	同	なし	東京工業大学教授	
同	門内 輝行	2002年6月1日	図書	なし	早稲田大学教授	
同	岩田 衛	2003年6月1日	同	なし	神奈川大学教授	
同	八木 幸二	2002年6月1日	事業	なし	東京工業大学教授	
同	平倉 章二	2003年6月1日	同	なし	久米設計専務取締役	
同	可児 才介	2003年6月1日	同	なし	大成建設常務設計本部長	
同	小林 英嗣	2003年6月1日	同	なし	北海道大学教授	
同	西条 秀雄	2002年6月1日	会館	なし	大林組東京本社設計本部副本部長	
同	稲田 泰夫	2003年6月1日	同	なし	清水建設技術研究所副所長	
同	斎藤 賢吉	2000年6月1日	専務	なし	日本建築学会事務局長	
同	石山 祐二	2002年6月1日	北海道	なし	北海道大学教授	
同	鈴谷 二郎	2002年6月1日	東北	なし	東北工業大学教授	
同	小谷 俊介	2002年6月1日	関東	なし	千葉大学教授	
同	久保 哲夫	2003年6月1日	東海	なし	名古屋工業大学教授	
同	笹川 明	2002年6月1日	北陸	なし	信州大学教授	
同	大野 義照	2003年6月1日	近畿	なし	大阪大学教授	
同	高松 隆夫	2003年6月1日	中国	なし	広島工業大学教授	
同	山本 長水	2002年6月1日	四国	なし	山本長水建築設計事務所長	
同	崎野 健治	2003年6月1日	九州	なし	九州大学教授	

18.2 監事

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
監事	中島 正愛	2002年6月1日		なし	京都大学教授	
同	神田 順	2003年6月1日		なし	東京大学教授	

* 2002年6月就任 任期:2002年6月1日～2004年5月31日

** 2003年6月就任 任期:2003年6月1日～2005年5月31日

18.3 代議員

任 期	第4期代議員：2003年4月1日～2005年3月31日	第3期代議員：2002年4月1日～2004年3月31日
支 部	新 任（所 属）	留 任（所 属）
第1区 北海道 定員6名	伊藤 茂樹（札幌工業高等学校教頭） 絵内 正道（北海道大学教授） 野田 恒（伊藤組土建技術部部長）	大垣 直明（北海道工業大学教授） 谷 吉雄（北海学園大学教授） 吉野 利幸（北海道立北方建築総合研究所生産技術部主任研究員）
第2区 東北 定員8名	小林 淳（秋田県立大学教授） 玉井 龍男（国土交通省東北地方整備局営繕部部長） 伏見 義則（仙台市都市整備局指導部建築構造室室長） 若井 正一（日本大学教授）	阿部 良洋（東北工業大学教授） 飯淵 康一（東北大学教授） 狩野 勝重（日本大学教授） 鈴木 利夫（東日本旅客鉄道東北工事事務所建築担当課長）
第3区 関東 定員50名	安倍 輝己（間組建築事業総本部構造設計部部長） 東 武史（松田平田設計常務取締役） 五十嵐克哉（鹿島建設技術研究所建築技術研究部上席研究員） 小木曾 茂（安井建築設計事務所東京事務所取締役企画部長） 大木 典雄（国土交通省官庁営繕部建築課営繕技術管理室長） 落合 千秋（熊谷組品質・環境管理部部長） 加藤 泰夫（フジタ建築本部設計センター主席コンサルタント） 片桐 正夫（日本大学教授） 桂井 史朗（東日本旅客鉄道事業創造本部担当課長） 川口 徹（大林組技術研究所建築材料研究室室長） 川瀬 俊二（大林組東京本社設計本部設計部部長） 川田 公裕（日本郵政公社施設情報部建築課主任建築技術官） 北 泰幸（竹中工務店設計本部長） 西條 修（日本大学教授） 坪井 善道（日本大学教授） 中村 茂（戸田建設生産技術開発部部長） 南口 誠三（東急建設執行役員） 深尾 康三（竹中工務店技術研究所所長） 古川 裕之（NTTファシリティーズ建築事業本部都市・建築設計事業部コスト設計・管理部長兼建設事業本部CM部長） 藤井 俊二（大成建設技術センター建築技術研究所担当部長） 藤森 照信（東京大学生産技術研究所教授） 細澤 治（大成建設設計本部構造設計グループ グループリーダー） 森島 清太（鹿島建設建築設計エンジニアリング本部建築設計グループグループリーダー） 和田 章（東京工業大学教授） 割田 正雄（清水建設執行役員設計本部長）	石黒 三男（竹中工務店東京本店設計部構造部担当マネージャー部長） 石丸 辰治（日本大学教授） 磯貝 光章（熊谷組技術研究所副所長） 小倉 善明（日建設計技術顧問都市建築研究所所長） 加倉井正昭（竹中工務店技術研究所副所長） 狩野 俊夫（東急建設執行役員都市開発本部副本部長） 木村 智（総務省郵政事業庁施設情報部建築課統括専門官） 斎藤 信春（国土交通省関東地方整備局営繕部長） 清水 五郎（日本大学教授） 鈴木 哲夫（大林組技術研究所副所長） 曾田五月也（早稲田大学教授） 瀧口 克己（東京工業大学教授） 寺岡 勝（フジタ技術センター副所長） 中山 實（鹿島建設技術研究所先端技術研究部長） 名村 英紀（佐藤工業建築総本部副総本部長） 八馬 周三（大林組東京本社設計本部設計部長） 蜂須賀達志（NTTファシリティーズ都市・建築設計本部副本部長建築デザイン部統括設計部長） 林 幸雄（鹿島建設建築設計エンジニアリング本部次長） 平倉 章二（久米設計取締役専務執行役員設計本部長） 福島 暁男（日本大学教授） 坊垣 和明（独立行政法人建築研究所研究総括監） 町井 充（大成建設設計本部統括グループリーダー） 矢代 嘉郎（清水建設技術研究所副所長） 山下 雅己（戸田建設建築工事統轄部建築工務部長） 山本 浩二（東日本旅客鉄道建設工事事務所担当課長）

任 期	第4期代議員：2003年4月1日～2005年3月31日	第3期代議員：2002年4月1日～2004年3月31日
支 部	新 任（所 属）	留 任（所 属）
第4区 東海 定員12名	奥山 健二（名古屋市立大学教授） 後藤 三平（中部電力営業部都市・産業工ネルギーグループグループリーダー） 鈴木 博志（名城大学教授） 三上 雄二（清水建設東京支店設計部部長） 水谷 章夫（名古屋工業大学教授） 山川 元伸（三菱地所設計名古屋支店支店長）	朝日 高明（久米設計名古屋支社長） 片木 篤（名古屋大学教授） 加藤 史郎（豊橋技術科学大学教授） 河合 修（愛知県建設部技監） 橋村 一彦（竹中工務店名古屋支店設計部副部長） 水野 耕嗣（岐阜工業高等専門学校教授）
第5区 北陸 定員6名	岩瀬 昭雄（新潟大学教授） 水野 一郎（金沢工業大学教授） 山下 恭弘（信州大学教授）	池寄 助成（富山国際職藝学院教授） 白井 秀和（福井大学教授） 堀江 興（新潟工科大学教授）
第6区 近畿 定員18名	岡本 達雄（竹中工務店大阪本店設計部部長） 加藤 直樹（京都大学教授） 高津 章雄（昭和設計企画設計部執行役員） 田中 哮義（京都大学防災研究所教授） 西村 勝尚（大林組本店建築設計部副部長） 西山 峰広（京都大学助教授） 古山 正雄（京都工芸繊維大学教授） 宮野 道雄（大阪市立大学教授） 森山 正和（神戸大学教授）	足立 裕司（神戸大学教授） 内田 直樹（神戸大学教授） 河井 宏允（京都大学防災研究所教授） 近藤 一雄（東畑建築事務所構造部長）*1 田中 仁史（京都大学防災研究所教授） 馬場 研介（大阪大学助教授） 原 克巳（日建設計大阪構造設計室長） 森高 英夫（安井建築設計事務所大阪事務所構造部副部長） 若林 康弘（奥村組建築設計第1部構造課長）
第7区 中国 定員6名	浅野 照雄（広島工業大学教授） 中山 昭夫（福山大学教授） 藤谷 義信（広島大学教授）	上城 和成（フジタ広島支店副支店長） 高松 隆夫（広島工業大学教授） 山田 孝延（岡山県立大学教授）
第8区 四国 定員4名	多田 善昭（多田善昭建築設計事務所主宰） 曲田 清維（愛媛大学教授）	伊藤 憲介（高知県建設技術公社参事） 大谷 英人（高知工科大学教授）
第9区 九州 定員10名	伊藤 重剛（熊本大学教授） 川瀬 博（九州大学教授） 日下部茂人（鹿島建設九州支店建築部部長） 三島 伸雄（佐賀大学助教授） 安山 宣之（鹿児島大学助教授）	大鶴 徹（大分大学教授） 小倉 暢之（琉球大学助教授） 小山 智幸（九州大学助教授） 西山 徳明（九州芸術工科大学助教授） 濱保 文雄（日本文理大学教授）

*1 外山義君死亡により繰上当選（任期：2002年11月20日～2004年3月31日）

18.4 支所長

2003年度末現在

支 部	支 所	支 所 長	所 属・職 名
東北支部	青森支所	松 代 眞	青森県土木部建築住宅課長
	秋田支所	小野田 吉 純	秋田県建設交通部建築住宅課長
	岩手支所	日 野 康 彦	岩手県土木部建築住宅課長
	山形支所	藤 田 昭 治	山形県土木部住宅課長
	福島支所	岩 波 治 夫	福島県土木部建築住宅課長
関東支部	茨城支所	増 沢 敬	（財）茨城県建築住宅センター副理事長
	栃木支所	岩 本 太 郎	（株）竹中工務店栃木営業所調査役
	群馬支所	信 澤 宏 由	前橋工科大学教授
	埼玉支所	市 川 毅	埼玉県住宅供給公社常務理事
	千葉支所	明 智 克 夫	榎本建築設計事務所会長
	神奈川支所	洪 忠 憲	明治大学教授
山梨支所	小 池 舜 一	山梨県建築士会常任相談役	

東海支部	静岡支所 三重支所 岐阜支所	西尾靖男 畑中重光 加藤幸治	静岡県都市住宅部営繕企画室長 三重大学教授 一級建築士事務所加藤計画工房所長
北陸支部	新潟支所 富山支所 石川支所 福井支所 長野支所	地濃茂雄 秦正徳 久保猛志 松本芳紀 山下恭弘	新潟工科大学教授 高岡短期大学教授 金沢工業大学教授 福井大学教授 信州大学教授
中国支部	鳥取支所 島根支所 岡山支所 山口支所	森本博美 和美廣喜 須藤哲夫 田中充	鳥取県総務部管財課長 島根大学教授 岡山県土木部都市局建築指導課長 (社)山口県建築協会専務理事
四国支部	香川支所 徳島支所 高知支所 愛媛支所	波多等矩 亀井秀孝 前田直孝 多田英明	(社)香川県建築士会専務理事 徳島県県土整備部建築開発指導課長 高知県土木部建築指導課課長 愛媛県土木部道路都市局建築住宅課課長
九州支部	佐賀支所 長崎支所 熊本支所 大分支所 宮崎支所 鹿児島支所 沖縄支所	丹羽和彦 村田明久 牧野雄二 菊池健児 樋口栄作 友清貴和 山川哲雄	佐賀大学教授 長崎総合科学大学教授 熊本大学教授 大分大学教授 都城工業高等専門学校教授 鹿児島大学教授 琉球大学教授

18.5 職 員

2003年度末現在

職 務	氏 名	就任年月日	担任事務	備 考
事務局長	斎藤 賢吉	1988年6月1日	総 括	
主 幹	工藤 光悦	2002年4月1日	局長補佐・総務担当	
〃	嶋原 毅	2002年4月1日	局長補佐・事業担当	
部 長	奥津 昌哉	2000年4月1日	総 務	
主 幹	柴田 和広	2002年4月1日	〃	
〃	森山 一之	2001年4月1日	〃	
副主幹	浜田 政治	1997年4月1日	〃	
〃	山口 成人	2000年4月1日	〃	
〃	小野寺 篤	2001年4月1日	〃	
〃	芳沢ひとみ	2003年4月1日	〃	
〃	須藤 智宏	2003年4月1日	〃	
係主任	栗原いず美	2002年4月1日	〃	
部 長	春名 司雄	2000年4月1日	財 務	
副主幹	山口 英樹	2001年4月1日	〃	
〃	森脇 博	2002年4月1日	〃	
〃	鈴木 大介	2003年4月1日	〃	
係 員	江崎清一郎	2004年3月1日	〃	
部 長	真木 康守	2000年4月1日	研究事業	
副主幹	森田 進	1989年4月1日	〃	
〃	今井 浩	1997年4月1日	〃	
〃	鎌田 潤一	2001年4月1日	〃	
係主任	伏見 朋枝	2001年4月1日	〃	
〃	酒井 正純	2002年4月1日	〃	
〃	大野 智洋	2002年4月1日	〃	
〃	安 裕和	2002年4月1日	〃	
部 長	川田 昭朗	2000年4月1日	情報事業	
主 幹	斎藤 喜平	2002年4月1日	〃	
副主幹	中村 幹久	1987年4月1日	〃	
〃	峯浦 敏	1988年4月1日	〃	
〃	三島 隆	1997年4月1日	〃	
〃	米沢 香織	2003年4月1日	〃	
〃	三枝ゆりえ	2002年4月1日	〃	
〃	片寄 尚	2003年4月1日	〃	
係主任	榎本 和正	2002年4月1日	〃	